HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズメモリーナビコンポ

VXM-105CF

ナビゲーション・オーディオ編

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種は販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）するようにしてください。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては下記アドレスのホームページをご覧ください。

http://www.honda.co.jp/ACCESS/

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めの販売店へご相談ください。

● 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示に従わないと、 死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示に従わないと、 死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示に従わないと、 傷害を受ける可能性があるもの

● その他の表示

お知らせ

操作に関するお知らせです。

アドバイス

使いこなすためのアドバイスです。

お願い

お車のために守っていただきたいことです。

⚠ 警告

- テレビを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
  車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- SDメモリーカードは、幼児の手の届かないところに保管してください。
  万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
  そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。
- 実際の交通規制に従って走行してください。
  ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。
  必ず実際の交通規制、道路標識に従って走行してください。
- リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
  後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。
- フロントカメラ/コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。
  直接目視による安全確認をしながら運転してください。

⚠ 注意

- 安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。
  前方不注意となり事故の原因になりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因になることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ディスクやSDメモリーカード挿入口などに手や指を入れないでください。けがの原因になることがあります。

お願い

●目的地（自宅）への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
●安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
●停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
●エンジンが停止している状況で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
●機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
●ディスクやSDメモリーカード挿入口などやディスプレイ部開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
●本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。
●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
●システムの動作中に、ケーブルの抜き差しは絶対におやめください。故障の原因となります。必ず車のエンジンスイッチを切ってから行ってください。
●本機を分解したり改造しないでください。故障の原因となることがあります。
●画面が映らない、音が出ない、変な匂いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い上げの販売店にご相談ください。
●音が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因になることがあります。
●本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事等でも道路状況がかわります。実際の交通規則を必ず守って運転してください。
●ナビゲーションシステムは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度によりまれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。
●プログラム読み込みが終了するまで電源を切らないでください。
バッテリーとの接続が絶たれた場合や、電圧が下がった場合には本機に保存されているプログラムが消去されてしまいます。この場合には次回起動時の初期画面（オープニング画面）表示中に、再度プログラムの保存が行われます。プログラム読込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。プログラム読込み中に電源を断たれますと、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。
●万一異常が発生したときは、お買い求めの販売店へご相談ください。
●当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規制にしたがって廃棄してください。
●気温が低いときにヒーターをつけた直後では、ディスクの読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは１時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
●適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

お願い

●本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
●ラジオやTV、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
●長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
●表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
●本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。故障の原因になります。
●ディスプレイ部の開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
●操作ボタンやディスプレイ部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因となります。
●ディスプレイ部が閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。ディスプレイ部を再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
●ディスプレイ部を傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、ディスプレイ部に衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
●ディスプレイ部に小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
●ディスプレイ部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
●お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
●ディスプレイ部の角度を調整するときには、ディスプレイ部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
●寒冷時にエンジンスイッチをONにした後、バックライトの特性上、光ムラが発生したり、輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

お願い

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により、ご購入後、お客様が記録された情報内容が消失する場合があります。お客さまが本機に記録された情報内容につきましては、別にメモをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

①本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。

②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。

③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容等が変化・消失した場合。

※ 尚、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

お知らせ

●悪路走行中などの振動の激しい場合は、本機のデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。

●購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分～15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2～3分程度かかることがあります。

●GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。また下記のような場合には、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

・GPSアンテナの近くで、自動車電話や携帯電話・無線機を使っているとき

●GPSアンテナの取扱い

・アンテナに塗装しないでください。電波の受信感度の低下や、受信不良の原因になります。

・アンテナ上方を物でさえぎったり、また雪などが積もったりした場合にも受信感度が低下します。雪などは取り除いてください。

●提供されるVICS情報は、最新のものではない場合もあります。提供されるVICS情報は、あくまで参考情報としてご利用ください。

●ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。

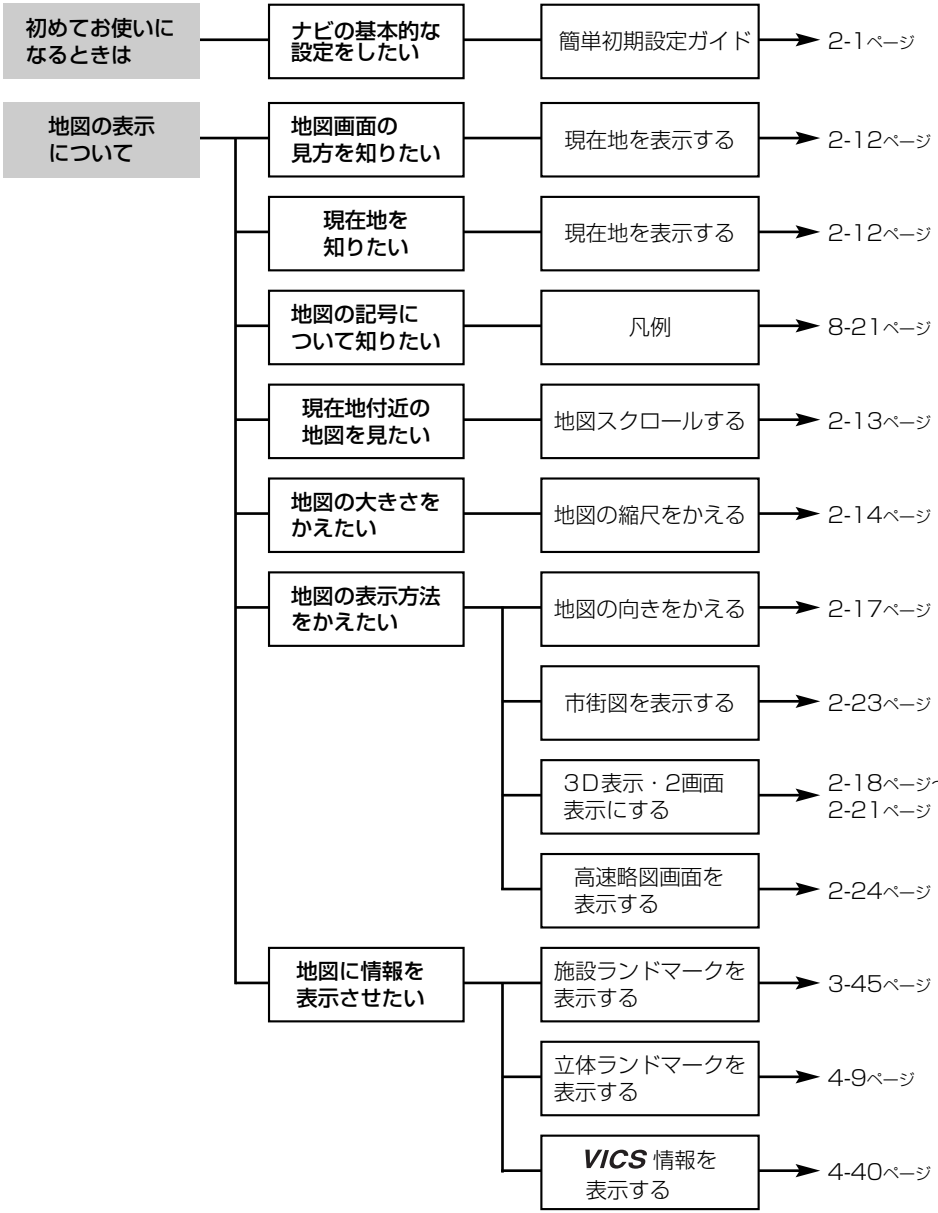
●本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。走行中は一部の細街路を消去します。

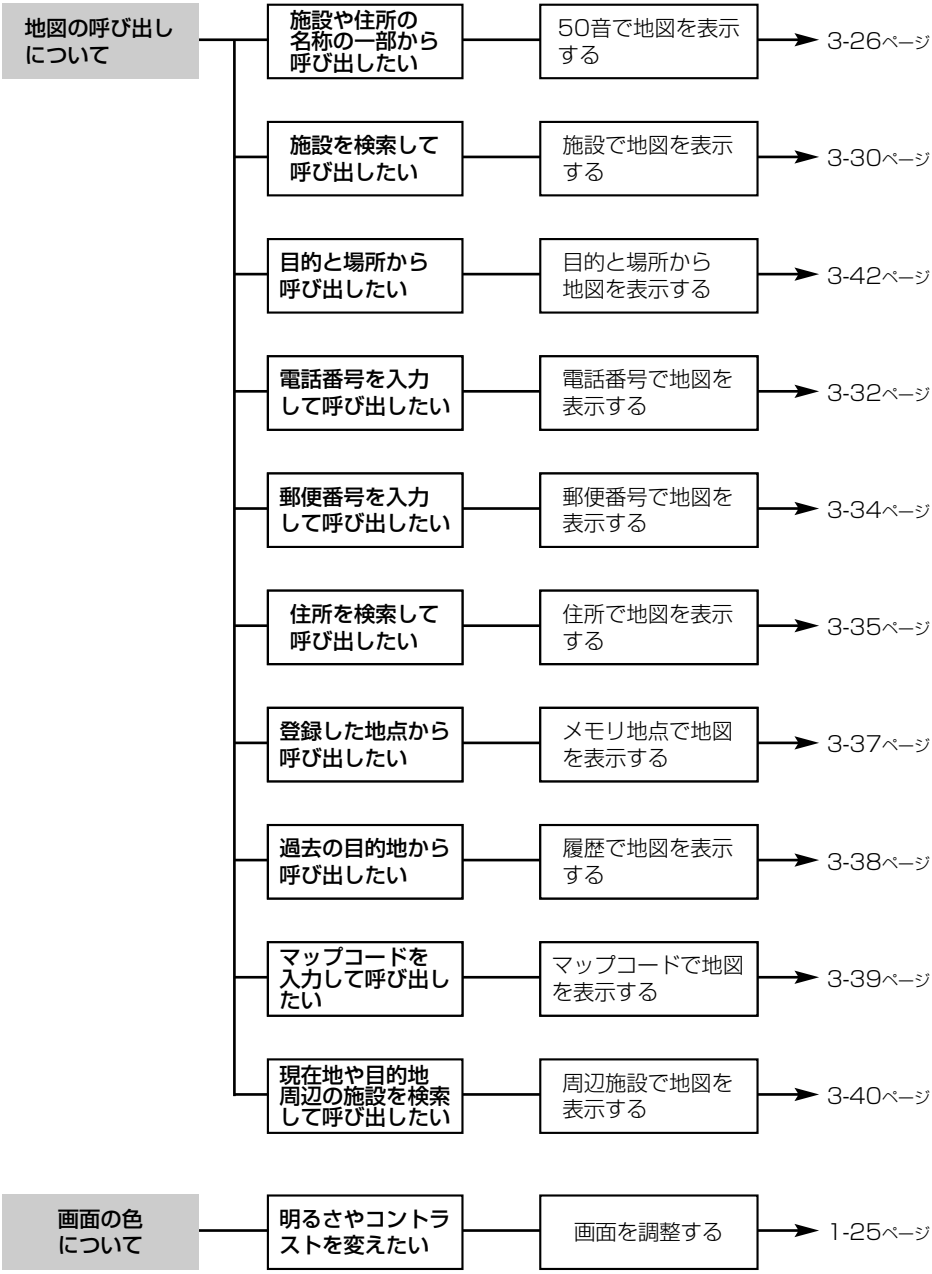
もくじ

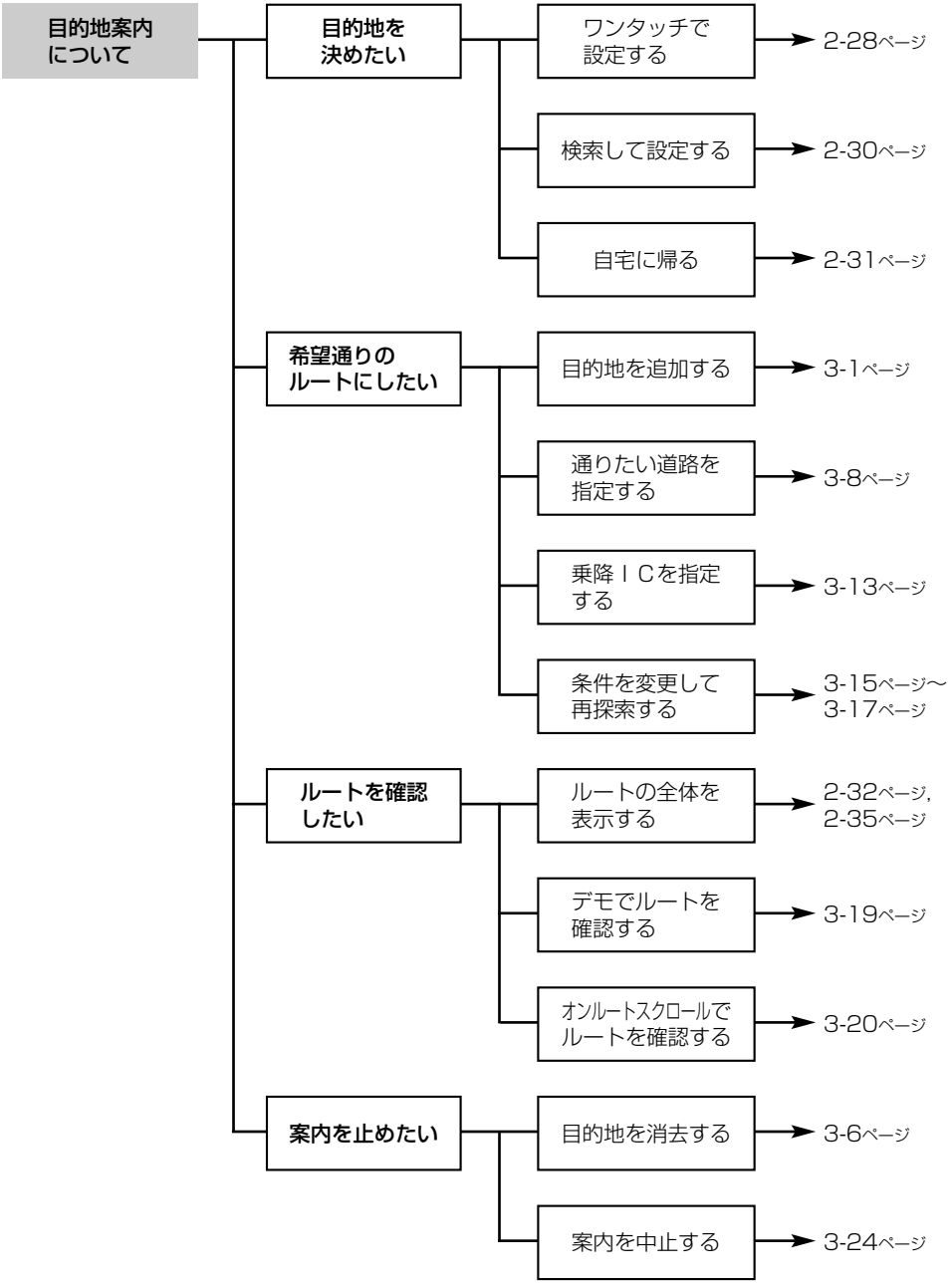
1.はじめに			目的別早見表……1-1 主な特長……1-7 お使いになる前に……1-9 電源を入れるには……1-12 地図ＳＤメモリーカードのパスワードを入力するには……1-13 各部の名称とはたらき……1-14 CD・SDメモリーカードの出し入れ……1-16 ディスプレイの角度を調整するには……1-22 ナビゲーション・オーディオの切り替え……1-23 画面の調整……1-25 画面の設定……1-29
ナビゲーション	2.基本編	初期設定	簡単初期設定ガイドについて……2-1
		メニュー	ナビメニューについて……2-7
		共通の操作	リスト画面の切り替え方……2-9 スイッチの意味がわからないときには……2-11
		地図の表示	現在地を表示するには……2-12 地図スクロールするには……2-13 地図の縮尺をかえるには……2-14 地図の向きをかえるには……2-17 ３D表示にするには……2-18 ２画面表示にするには……2-20 地図・文字を拡大表示するには……2-22 市街図を表示するには……2-23 高速略図画面を表示するには……2-24
		ルート案内	ルート案内について……2-26
		ルートを設定する	目的地を設定しルートを探索するには……2-28 5ルートを確認・選択するには……2-32
		ルート案内の種類	案内画面について……2-34 案内をもう一度聞きたいときは……2-41
	3.応用編	ルート設定の詳細操作	目的地を追加・並び替え・消去するには……3-1 通過道路を指定・修正・解除するには……3-8 乗降ＩＣを指定するには……3-13 ルートの再探索……3-15 区間ごとの探索条件を設定するには……3-17
		ルートを確認する	ルートの詳細情報を確認するには……3-18 デモでルートを確認するには……3-19 オンルートスクロールを使うには……3-20 走行軌跡について……3-23
		ルート案内の詳細操作	ルート案内を中止・再開するには……3-24 案内の音量を調節するには……3-25
		情報検索	50音で地図を表示するには……3-26 施設で地図を表示するには……3-30 電話番号で地図を表示するには……3-32 郵便番号で地図を表示するには……3-34 住所で地図を表示するには……3-35 メモリ地点で地図を表示するには……3-37 履歴で地図を表示するには……3-38 マップコードで地図を表示するには……3-39 周辺施設で地図を表示するには……3-40 目的と場所から地図を表示するには……3-42 施設ランドマークを地図に表示するには……3-45 近くの施設を検索するには……3-48 建物の情報を表示するには……3-50
	4.設定編	各種設定	ナビ設定を行うには……4-1

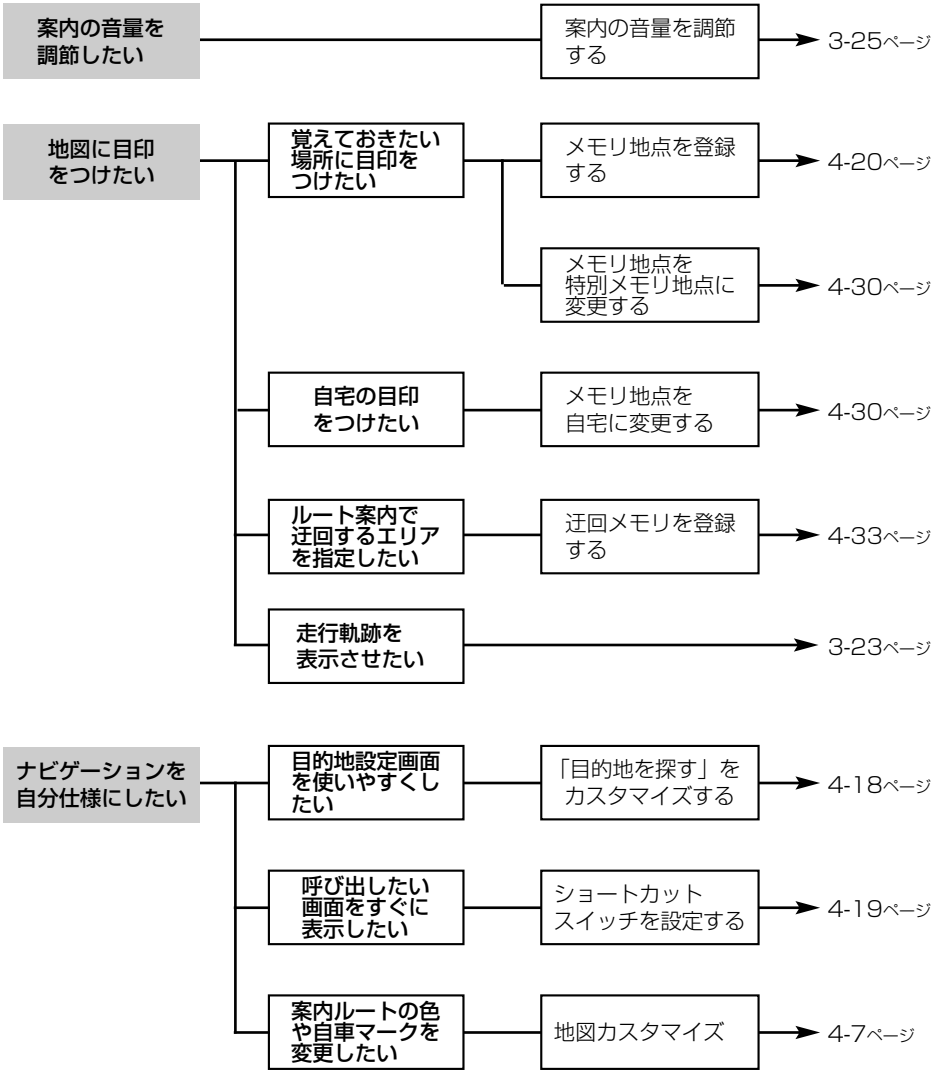
ナビゲーション	4.設定編	ナビゲーションのカスタマイズ	ナビメニュー「目的地を探す」をカスタマイズするには ……4-18 ショートカットスイッチを設定するには ……4-19
		メモリ地点	メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-20 迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-33
		ＶＩＣＳ	VICSを使うには ……4-39
		その他の機能	補正機能 ……4-52 地図SDメモリーカードについて ……4-54 ＱＱコールについて ……4-56
5.情報機能			情報画面について ……5-1 ＦＭ多重放送を見るには ……5-2 メンテナンスを使うには ……5-6 電話帳を見るには ……5-16 カレンダーを見るには ……5-17
6.オプション			ETCシステムの操作 ……6-1 フロントカメラからの映像を見るには ……6-4 コーナーカメラからの映像を見るには ……6-9 リアカメラからの映像を見るには ……6-16 後席ディスプレイの操作 ……6-20
7.テレビ・オーディオ		共通の操作	電源の入れ方・音量調整のしかた ……7-1 音の調整 ……7-2 テレビ・オーディオの切り替え ……7-3
		デジタルテレビ	地上デジタルテレビをお使いになる前に ……7-7 初回起動時の設定 ……7-13 地上デジタル放送を見るには ……7-16 チャンネルを設定するには ……7-20 受信モードを切り換えるには ……7-26 番組表を見るには ……7-27 番組内容を見るには ……7-29 データ放送を見るには ……7-31 信号を切り換えるには ……7-33 緊急警報放送（EWS）を見るには ……7-35 情報を見るには ……7-36 システムを設定するには ……7-39 アイコン一覧 ……7-42
		VTR	ビデオカメラ等のモニターとして使うには ……7-43
		FM/AM	ラジオを聞くには ……7-44
		交通情報	交通情報を聞くには ……7-47
		CD	ＣＤプレーヤーでＣＤを聞くには ……7-48
		MP3/WMA	MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには ……7-51
		ｉＰｏｄ	iPod®で音楽を聞くには ……7-62
		AUX	ポータブルオーディオ機器を接続して使う(AUX) ……7-72
8.知っておいてください			自車位置精度について ……8-1 ルート探索について ……8-3 ルート案内について ……8-5 情報の保持について ……8-7 こんなメッセージが表示されたとき ……8-8 故障とお考えになる前に ……8-11 商標について ……8-15 保証とアフターサービス ……8-16 仕様 ……8-17 用語さくいん ……8-19 凡例 ……8-21

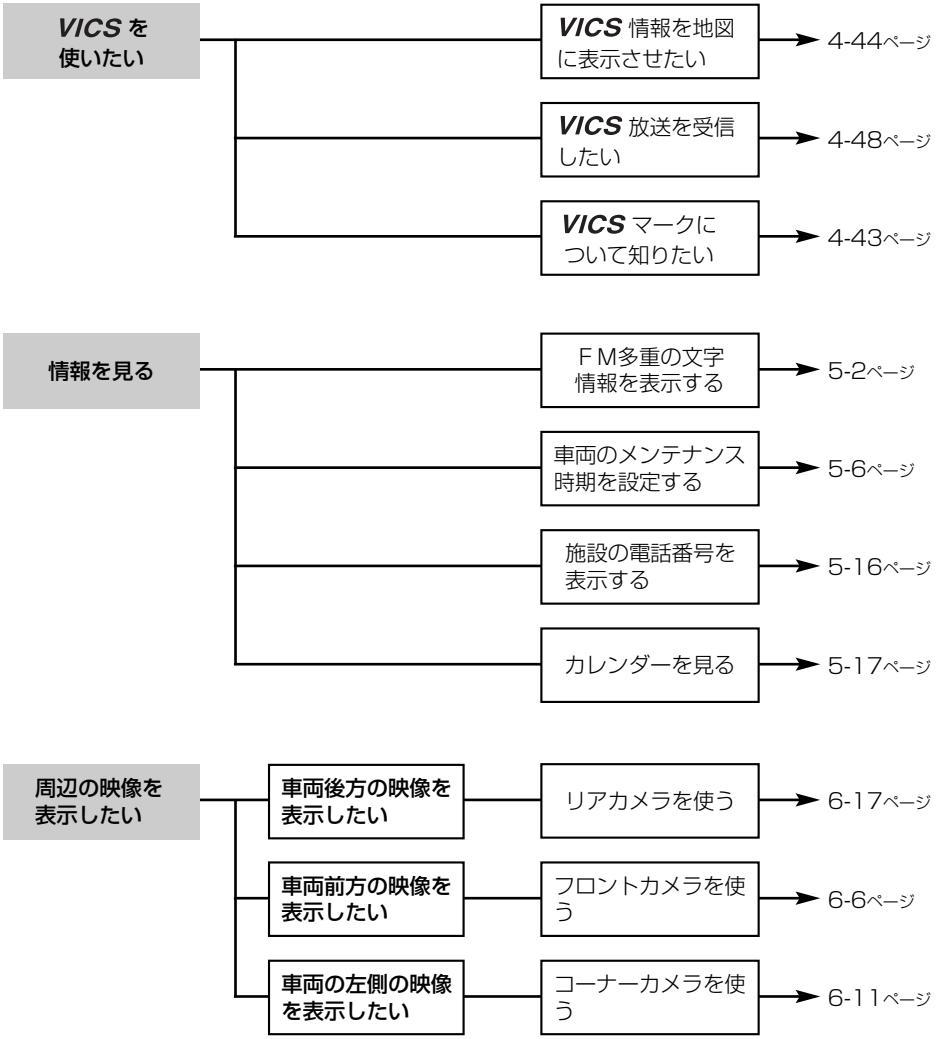
目的別早見表

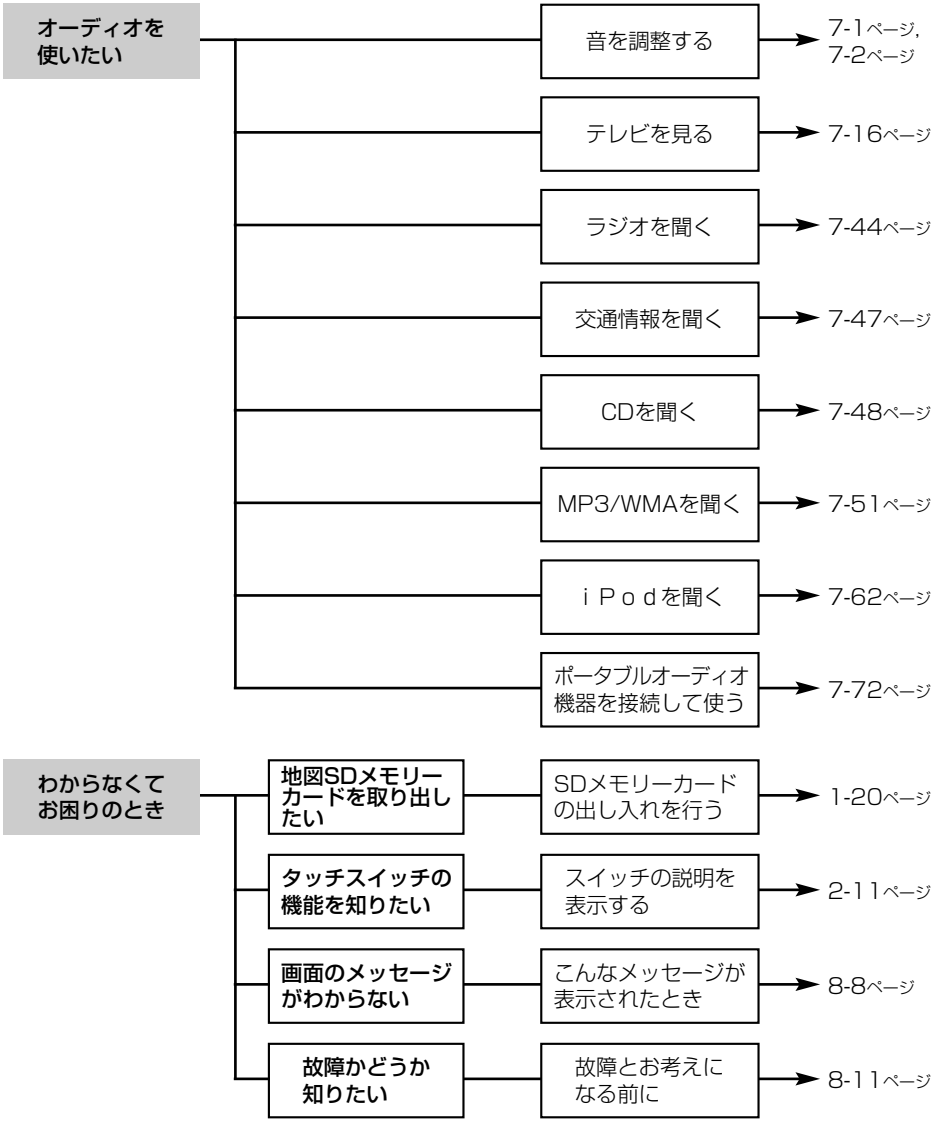

初めてお使いになるときは
ナビの基本的な設定をしたい
簡単初期設定ガイド
2-1ページ
地図の表示について
地図画面の見方を知りたい
現在地を表示する
2-12ページ
現在地を知りたい
現在地を表示する
2-12ページ
地図の記号について知りたい
凡例
8-21ページ
現在地付近の地図を見たい
地図スクロールする
2-13ページ
地図の大きさをかえたい
地図の縮尺をかえる
2-14ページ
地図の表示方法をかえたい
地図の向きをかえる
2-17ページ
市街図を表示する
2-23ページ
3D表示・2画面表示にする
2-18ページ〜2-21ページ
高速略図画面を表示する
2-24ページ
地図に情報を表示させたい
施設ランドマークを表示する
3-45ページ
立体ランドマークを表示する
4-9ページ
VICS 情報を表示する
4-40ページ


地図の呼び出しについて
施設や住所の名称の一部から呼び出したい
50音で地図を表示する
3-26ページ
施設を検索して呼び出したい
施設で地図を表示する
3-30ページ
目的と場所から呼び出したい
目的と場所から地図を表示する
3-42ページ
電話番号を入力して呼び出したい
電話番号で地図を表示する
3-32ページ
郵便番号を入力して呼び出したい
郵便番号で地図を表示する
3-34ページ
住所を検索して呼び出したい
住所で地図を表示する
3-35ページ
登録した地点から呼び出したい
メモリ地点で地図を表示する
3-37ページ
過去の目的地から呼び出したい
履歴で地図を表示する
3-38ページ
マップコードを入力して呼び出したい
マップコードで地図を表示する
3-39ページ
現在地や目的地周辺の施設を検索して呼び出したい
周辺施設で地図を表示する
3-40ページ
画面の色について
明るさやコントラストを変えたい
画面を調整する
1-25ページ


目的地案内について
目的地を決めたい
ワンタッチで設定する
2-28ページ
検索して設定する
2-30ページ
自宅に帰る
2-31ページ
希望通りのルートにしたい
目的地を追加する
3-1ページ
通りたい道路を指定する
3-8ページ
乗降ＩＣを指定する
3-13ページ
条件を変更して再探索する
3-15ページ～3-17ページ
ルートを確認したい
ルートの全体を表示する
2-32ページ, 2-35ページ
デモでルートを確認する
3-19ページ
オンルートスクロールでルートを確認する
3-20ページ
案内を止めたい
目的地を消去する
3-6ページ
案内を中止する
3-24ページ


案内の音量を調節したい
案内の音量を調節する
3-25ページ
地図に目印をつけたい
覚えておきたい場所に目印をつけたい
メモリ地点を登録する
4-20ページ
メモリ地点を特別メモリ地点に変更する
4-30ページ
自宅の目印をつけたい
メモリ地点を自宅に変更する
4-30ページ
ルート案内で迂回するエリアを指定したい
迂回メモリを登録する
4-33ページ
走行軌跡を表示させたい
3-23ページ
ナビゲーションを自分仕様にしたい
目的地設定画面を使いやすくしたい
「目的地を探す」をカスタマイズする
4-18ページ
呼び出したい画面をすぐに表示したい
ショートカットスイッチを設定する
4-19ページ
案内ルートの色や自車マークを変更したい
地図カスタマイズ
4-7ページ


VICS を使いたい
VICS 情報を地図に表示させたい
4-44ページ
VICS 放送を受信したい
4-48ページ
VICS マークについて知りたい
4-43ページ
情報を見る
FM多重の文字情報を表示する
5-2ページ
車両のメンテナンス時期を設定する
5-6ページ
施設の電話番号を表示する
5-16ページ
カレンダーを見る
5-17ページ
周辺の映像を表示したい
車両後方の映像を表示したい
リアカメラを使う
6-17ページ
車両前方の映像を表示したい
フロントカメラを使う
6-6ページ
車両の左側の映像を表示したい
コーナーカメラを使う
6-11ページ


オーディオを使いたい
音を調整する
7-1ページ, 7-2ページ
テレビを見る
7-16ページ
ラジオを聞く
7-44ページ
交通情報を聞く
7-47ページ
CDを聞く
7-48ページ
MP3/WMAを聞く
7-51ページ
ｉＰｏｄを聞く
7-62ページ
ポータブルオーディオ機器を接続して使う
7-72ページ
わからなくてお困りのとき
地図SDメモリーカードを取り出したい
SDメモリーカードの出し入れを行う
1-20ページ
タッチスイッチの機能を知りたい
スイッチの説明を表示する
2-11ページ
画面のメッセージがわからない
こんなメッセージが表示されたとき
8-8ページ
故障かどうか知りたい
故障とお考えになる前に
8-11ページ

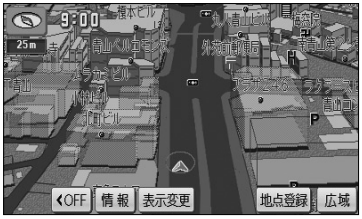
主な特長

簡単初期設定ガイド

初めて本機を起動したときに表示されます。案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報の設定ができます。
(P.2-1参照)

3D市街図ビル立体表示

建物の形状を立体的に表現し、道路と敷地もはっきりと区別した地図を表示します。
(P.2-23参照)

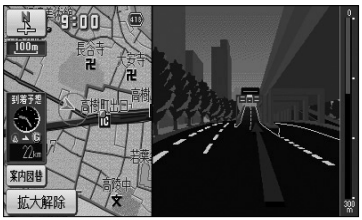


シンプルなナビメニュー

分かりやすいシンプルなメニュー画面で、簡単に操作ができます。(P.2-7参照)

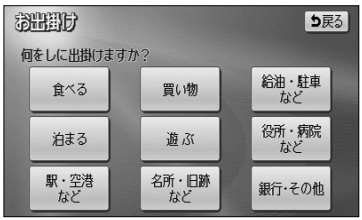
ハイウェイ入口案内

都市高速入口付近の複雑な道路も立体的なイラストでわかりやすく誘導します。
(P.2-37参照)



お出掛け目的地設定

お出掛けの目的は？行きたい場所は？
質問に答える感覚で目的と場所を選択するだけで、目的地を絞り込むことができます。
(P.3-42参照)

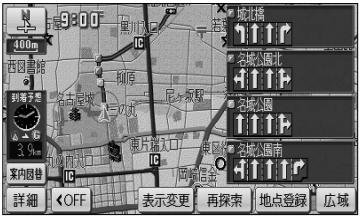


地図カスタマイズ

お好みにあった自車マークのデザイン、目的地までのルートの色などを設定することができます。(P.4-7参照)

レーンリスト図

分岐する交差点までに通過する交差点の走行車線情報を表示することができます。(P.2-37参照)



豊富なオプション機能

別売のETCユニット、フロントカメラ、コーナーカメラ、リアカメラ、iPodなど多数のオプション機器を接続することができます。(P.6-1、P.7-62参照)

VICSチューナー内蔵

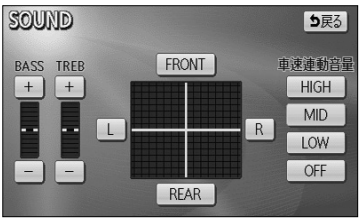
FM多重VICSチューナーを内蔵しており、渋滞情報を地図に表示することができます。(P.4-44参照)

ヒント表示

画面に表示されるタッチスイッチの使い方や説明をわかりやすく表示することができます。(P.2-11参照)

車速連動音量

オーディオの音量を自車の走行速度に応じて自動で調整することができます。(P.7-2参照)



デジタルテレビ機能

デジタルテレビ機能では受信した1セグ、12セグ放送を見ることができます。(P.7-7参照)

お使いになる前に

お願い

● 精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

● ディスクの取り扱いに注意

・ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。

・ラベル面に紙などを貼ったりしないでください。デッキ内部でラベルがはがれて故障の原因になります。

・ディスクは曲げたり、キズをつけたりしないでください。

● ディスクの保管上の注意

・長時間使用しないときは、汚れ、ゴミ、キズ、そりなどを避けるため、ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

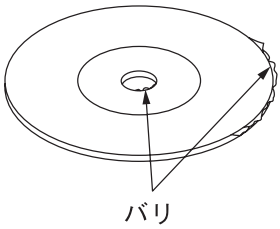
・ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあるため、次のような場所に置くことは避けてください。

1. 長時間直射日光のあたる場所。
2. 湿気やゴミ、ほこりの多い場所。
3. 暖房器具の熱が直接あたる場所。
4. 車のシート、ダッシュボードの上。

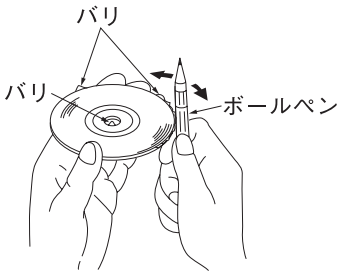
● 新しいディスクの使用上の注意

新しいディスクには、ときによりディスクのセンターホールや外周にバリが残っていることがあります。このようなディスクをご使用になるとディスクが正しくセットされず、動作しないことがあります。

このような場合には、あらかじめディスクのセンターホール内側や、外周のバリを細い棒状のもの（例えばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



バリについて

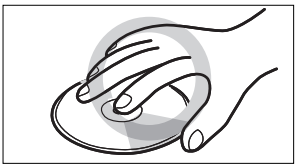


バリの取り除きかた

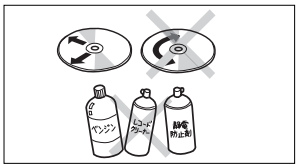
お願い

● ディスクのクリーニングについて

・ディスクに汚れやゴミがついたときは、水を含ませたやわらかい布でふいたあと、乾いた布でふいてください。
・ディスクをふきとる際には、ディスクの内側中心から外側方向へ軽くふきとってください。
・ベンジン、アナログ式レコード盤クリーナー、静電防止剤を使いますと、ディスクを傷めるので使用しないでください。



ディスクの持ち方



ディスクのクリーニング

● SDメモリーカードの取り扱いに注意

・濡れたり汚れたりした手で、SDメモリーカードに触れないでください。
故障の原因になります。
・SDスロットにはSDメモリーカード以外のものを入れないでください。
故障の原因になります。
・SDメモリーカードは次の場所で使用・保管をしないでください。
故障の原因になったり、本機に悪影響をおよぼすことがあります。
静電気が発生するところ
電気的ノイズが発生するところ
高温・多湿のところ
結露するところ
腐食性があるところ
・SDメモリーカードは精密電子機器です。次の事項を必ず守ってください。
故障の原因になります。
折り曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
ホコリ・ゴミが付着している状態で、SDスロットに挿入しないでください。
SDスロットに挿入するときは、正しい向きで、奥までしっかりと差し込んでください。
・保管するときや持ち運ぶときは、市販のケースに入れてください。
SDメモリーカードに大きな力が加わると、壊れるおそれがあります。

お願い

●お手入れの仕方

＜本機の清掃＞

・ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

＜ディスプレイ部の清掃＞

・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

●フィルムアンテナについて

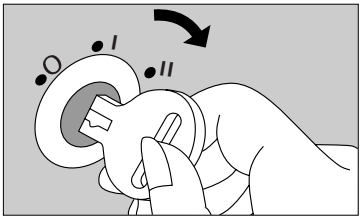
・一度貼り付けたアンテナははがさないようにしてください。機能が損なわれます。

＜お手入れについて＞

・フロントウィンドウ（室内側）のお手入れの際、アンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは水に薄めた中性洗剤に浸した布で乾拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
・アンテナ貼り付け後しばらくたってから、稀に気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

電源を入れるには

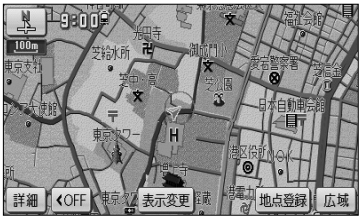
本機は車のエンジンをかけると自動的にナビゲーションの電源が入ります。
エンジンを切ると電源も切れます。



（1） 車のエンジンスイッチを I（ACC）または II（ON）にします。

●ナビゲーションの電源が入ります。

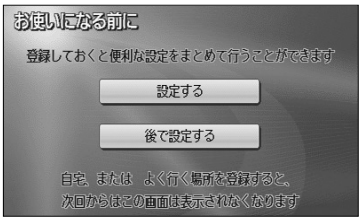
●初期画面（オープニング画面）が表示されます。
●パスワード認証画面が表示された場合はP.1-13を参照してください



● ナビゲーション画面が表示されます。

お知らせ

ナビゲーションの画面が表示されないときは、 Ⓐ を押してください。



● 初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。(P.2-1参照)

お願い

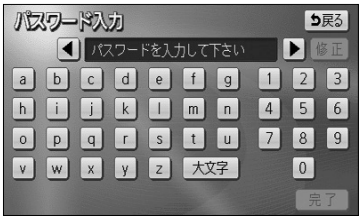
バッテリー交換や本機を別の車に付け替えるなど、バッテリー電源を遮断すると本機に保存されているプログラムが消去されます。この場合、次回本機の電源を入れたときにプログラムの読込みが開始されます。プログラム読込みが終了するまで、そのままお待ちください。

地図ＳＤメモリーカードのパスワードを入力するには

（1） 地図SDメモリーカードを挿入します。

- SDメモリーカードの挿入方法については、P.1-20を参照してください。
- パスワード認証画面が表示されます。

（2） パスワード入力 にタッチします。



（3） パスワードを入力します。

- 小文字 （または 大文字 ）にタッチすると、入力文字を小文字（または大文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると1文字ずつ消去されます。

お知らせ

パスワードについては、付属の〈地図ＳＤメモリーカード用パスワードラベル〉をご確認ください。
パスワードラベルは取扱説明書　ナビゲーション・オーディオ編の巻末ページ「パスワードラベル貼り付け欄」へ貼付のうえ、大切に保管してください。

（4） 完了 にタッチすると、（2）の画面に戻ります。

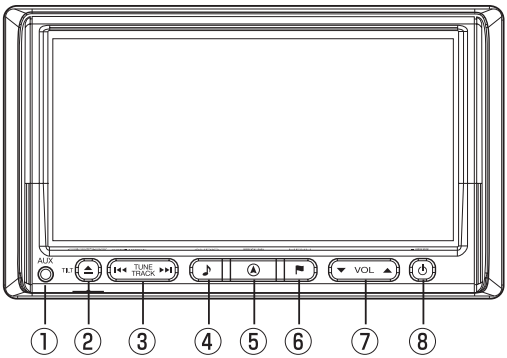
（5） （2）の画面で 完了 にタッチします。

- パスワード認証完了の画面が表示されます。

（6） OK にタッチします。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。



●操作ボタンについて

① AUX接続端子
別売のAUX接続コードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。

② TILTボタン
ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調節する画面を表示するときに押します。

③ TUNE・TRACKボタン
テレビ・ラジオの放送局の選局、またはディスクの選曲を行うときに押します。

④ AUDIOボタン
オーディオ操作画面を表示するときに押します。

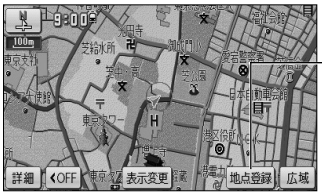
⑤ 現在地ボタン
ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。またルート案内中であれば再び音声案内を聞いたり、交差点拡大図を見ることができます。

⑥ ＭＥＮＵボタン
ナビメニューを表示するときに押します。

⑦ VOLボタン
テレビ、オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

⑧ AUDIO ON／OFFボタン
オーディオ機能の電源を入れるときや、切るときに押します。”ピッ”という音が鳴るまで押すと、画面の明るさや色の調整を行なう画面を表示することができます。

●タッチスイッチについて



タッチスイッチ
画面のスイッチにタッチして操作します

・ナビゲーションの画面では、タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
・１つ前の画面に戻すときは 戻る にタッチします。

<本書でのスイッチ表示>
・タッチスイッチにタッチするときは、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。

CD・SDメモリーカードの出し入れ

音楽をお聞きになるときは音楽CD、ナビゲーションをお使いになるときは専用の地図SDメモリーカード（P.4-54参照）を各差し込み口に入れてください。

1 CDの出し入れを行うには

CDの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。

（1） ⏏を押します。

● ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

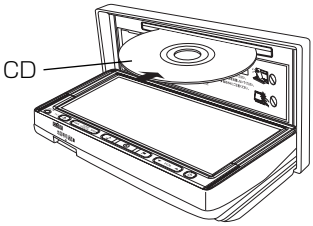
（2） DISPLAY OPEN にタッチします。

お知らせ

ディスクが差し込まれていない場合は、スイッチに「NO DISC」と表示されます。

● ディスプレイ部が開き、ディスクの差し込み口があらわれます。

CDを差し込む



（3） 差し込み口にCDを差し込みます。

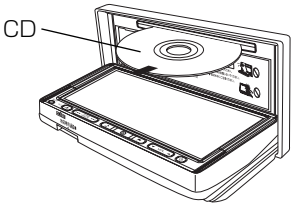
● CDはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。

● CDが完全に差し込まれるとディスプレイ部は自動的に閉まり、差し込まれたCDの再生が開始されます。

・CDの操作については、P.7-48を参照。

(4) CDを取り出す場合は、P.1-16の 1 の(2)の画面で DISC EJECT にタッチします。

CDを取り出す場合



- ディスプレイ部が開き、ディスクが押し出されます。
- ディスプレイ部が開いた状態でも DISC EJECT にタッチするとディスクが押し出されます。

(5) ⏏ を押すとディスプレイ部が閉じます。

注意

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。
  また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。
- 本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。
  ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- エンジンスイッチがOFF の場合でも、⏏ を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。
- ⏏ を10秒以上長く押し続けるとディスプレイが開き、ディスクが差し込まれているときは、ディスクが押し出されます。

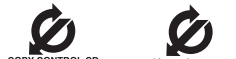
お願い

- CDを取り出すとき、CDが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。CDを傷つけるおそれがあります。
- 既にCDが挿入されている差し込み口にさらにCDを挿入しないでください。故障の原因になります。

お願い

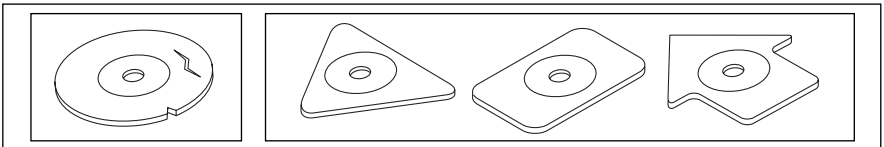
●CD差し込み口にはCD以外は入れないでください。
●本機のCDプレーヤーは、8cmディスクには対応しておりません。また、8cmディスクアダプターはご使用にならないでください。
本機に使用しますと、ディスクを取り出せなくなるおそれがあり、故障の原因になります。
●市販されているプロテクトフィルムやスタビライザーはご使用にならないでください。
本機に使用しますと故障の原因になります。
●画面保護のため、ディスプレイ部は必ずお閉めください。
●ディスクレーベル面に[CDロゴ]（下記のマーク）の入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証は致しかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証は致しかねます。
● 再生できるCDについて
下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）／CD-RW（CD-ReWritable）がご使用できます。

●記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますのでご使用にならないでください。
●CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。
ご使用になる前に必ずディスクに付属されている説明書などをお読みください。



●本機では、スーパーオーディオCD（SACD）には対応しておりません。右のロゴ表示のあるスーパーオーディオCD（SACD）は、通常のCDと構造が異なるため、再生できない場合があります。

●本機では、DTS-CDには対応しておりません。再生の保証は致しかねます。
●特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
三角形や四角形、矢印型など特殊形状のディスクや傷のついたディスクは再生できません。
本機に使用しますと故障の原因になります。

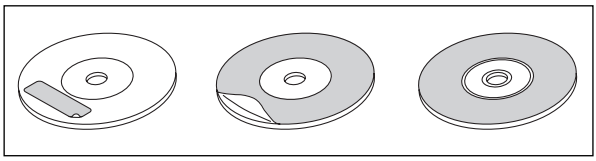


傷のあるディスク　　特殊形状のディスク

お願い

●ディスクのアクセサリーについて

音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（ディスクリング、保護シール）はご使用にならないでください。また、プリントラベル類や紙、ステッカーなどが貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わったり、内部でステッカーなどがはずれたり、ディスクがそり、取り出せなくなるなど、故障の原因になります。



シール、ステッカー、プリントラベルが貼られたディスク　　ディスクアクセサリー

●CD-R/RWディスクのご使用について

・市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたディスクはご使用にならないでください。
・CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
・CD-R/RWは、通常の音楽CDに比べて高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
・ディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
・ビデオCDは、再生できません。

●ご使用前にディスクをご確認ください

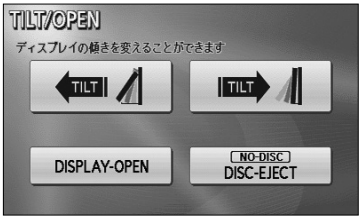
ディスクをご使用になる前に、表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。
また、異物が付着していないかご確認ください。

2 SDメモリーカードの出し入れを行うには

SDメモリーカードの出し入れは、ディスクの出し入れを行う画面を表示させてから行います。

(1) ⏏を押します。

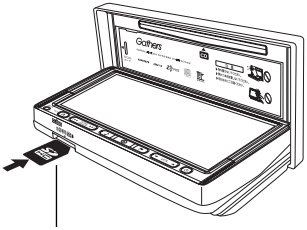
● ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。



(2) DISPLAY OPEN にタッチします。

● ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードの差し込み口があらわれます。

SDメモリーカードを差し込む



SDメモリーカード

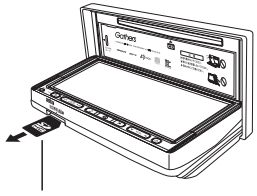
(3) 差し込み口にSDメモリーカードを差し込みます。

● SDメモリーカードはラベル面を上にして差し込み口に差し込みます。

● SDメモリーカードは差し込み口に奥まで挿入します。⏏を押すとディスプレイ部が閉じます。

(4) SDメモリーカードを取り出す場合は、2 の(2)の画面で DISPLAY OPEN にタッチします。

SDメモリーカードを取り出す



SDメモリーカード

● ディスプレイ部が開き、SDメモリーカードの差し込み口があらわれます。

(5) SDメモリーカードを押すと、SDメモリーカードが押し出されます。

● ⏏を押すとディスプレイ部が閉じます。

注意

●ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などにディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。

●ディスプレイ部を手で閉めないでください。
また、ディスプレイ部の開閉時に指がはさまれるおそれがあります。ご注意ください。

●本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。
ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。

アドバイス

エンジンスイッチがOFF の場合でも、⏏を押すと一度だけディスプレイを閉じることができます。

お願い

●SDメモリーカードを取り出すとき、SDメモリーカードが押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。SDメモリーカードを傷つけるおそれがあります。

●SDメモリーカードの詳細についてはP.4-54の**「地図ＳＤメモリーカードについて」**をご覧ください。

お知らせ

●SDメモリーカードについて
本機で使用できるSDメモリーカードは、付属の地図SDメモリーカードのみとなります。これ以外は動作しません。通常は取り出す必要はありません。

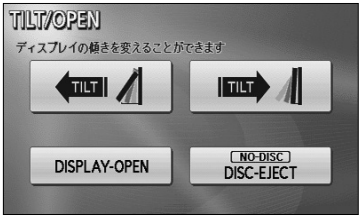
●本機では、SD AUDIOやデジタルカメラなどの音楽・動画再生機能には対応しておりません。

ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を3段階で調整することができます。

（1） ⏏を押します。

● ディスプレイの角度を調整する画面が表示されます。

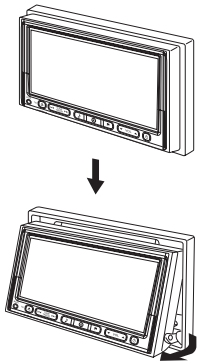


（2） TILT または TILT にタッチします。

● ディスプレイが斜め上方に1段階（7°）傾きます。

● TILT または TILT にタッチするごとに1段階ずつ傾きます。
傾きが3段階目のときは TILT が反転し、傾きが0段階目のときは TILT が反転します。

● ⏏を押すと、もとの画面に戻ります。



注意

ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。

お知らせ

●ディスプレイが傾いている状態でも、⏏を押してから TILT または TILT にタッチするとディスプレイは傾きます。

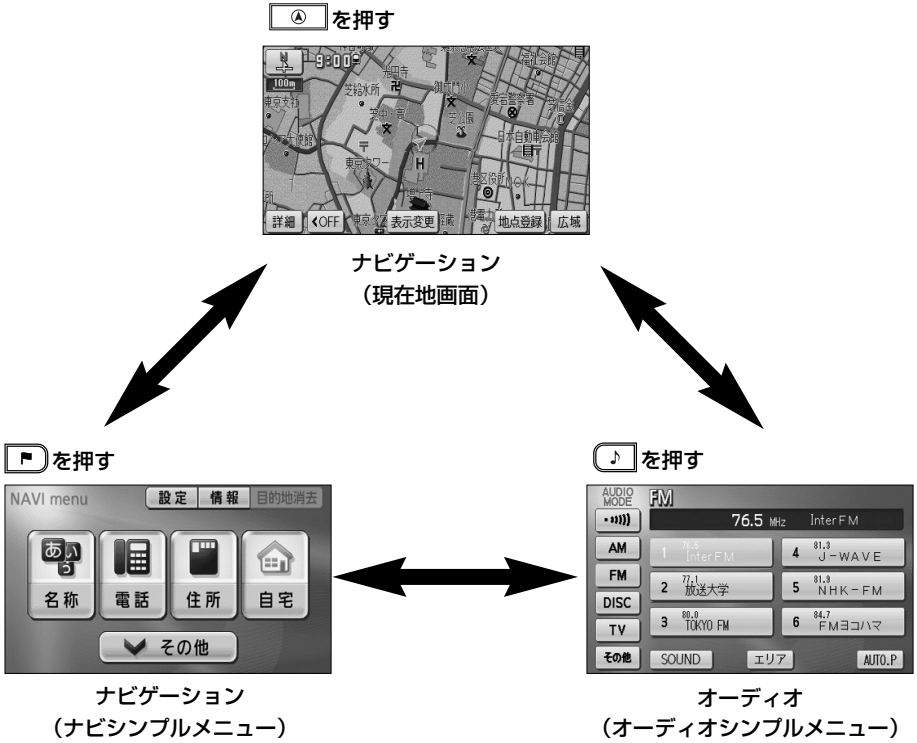
●ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを I（ACC）または II（ON）にしたときは、傾いた状態に戻ります。

お願い

ディスプレイが傾いている状態では、ディスクの差し込み口が見えることがありますがディスクを絶対に差し込まないでください。故障の原因になります。

ナビゲーション・オーディオの切り替え

ナビゲーション・オーディオの画面や音声は、下記のとおり切り替えられます。
（ナビゲーションの画面に切り替えたときは、それまでに聞いていた音声が継続して聞けます。）



画面	主な機能
ナビゲーション （現在地画面）	・現在地の表示 ・目的地への案内
ナビゲーション （ナビシンプルメニュー）	・目的地の設定 ・メモリ地点の登録、編集 ・FM多重放送の受信
オーディオ （オーディオシンプルメニュー）	・オーディオ（ラジオ、テレビ）の切り替え ・オーディオの操作（チャンネルの切り替えなど）

●本書の説明において、「ナビシンプルメニュー」を「ナビメニュー」、「オーディオシンプルメニュー」を「オーディオ操作画面」・「各モード(AM・CDなど)操作画面」と記載しています。

本機の機能はエンジンスイッチの位置など次の条件により操作できる場合とできない場合があります。

エンジンスイッチ	ナビゲーション・現在地画面	テレビ	オーディオ	FM多重文字情報
O（OFF）	×	×	×	×
I（ACC）	○	○	○	○
II（ON）停車中	○	○	○	○
II（ON）走行中	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	安全上の配慮から音声だけになります	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	一部の画面は安全上の配慮から表示しません

○：操作できます
×：操作できません

お願い

エンジンスイッチがI（ACC）またはII（ON）でエンジンを始動していない状態のときはバッテリーあがりにご注意ください。
エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動させることは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

アドバイス

走行中、操作できないタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

画面の調整

画面の明るさや色の調整、またテレビのワイド画面サイズの切り替えなどができます。

アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により<昼画表示>と<夜画表示>に切り替わります。

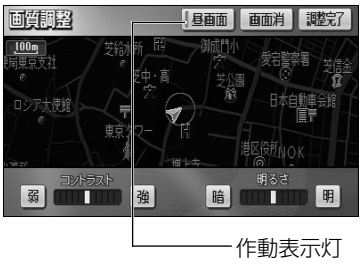
昼画表示

ライト点灯

ライト消灯

夜画表示

1 ライト点灯時に昼画表示にするには



（1） 夜画を表示しているときに ⏻ を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

（2） 昼画面 にタッチします。

- 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 昼画面 にタッチするごとに昼画面と夜画面が切り替わります。
- 画面を消したいときは 画面消 にタッチします。
  ⏻ を押すと再び画面が表示されます。

（3） 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには

（1） を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

■ **コントラスト（鮮明度）を調整する**
強くするときは 強 、弱くするときは 弱 にタッチします。

■ **明るさを調整する**
明るくするときは 明 、暗くするときは 暗 にタッチします。

（2） 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

アドバイス

コントラスト／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

3 色合い／色の濃さを調整するには

（1） テレビをご覧になっているときに を“ピッ”という音が鳴るまで押します。

■ **色合いを調整する**
緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

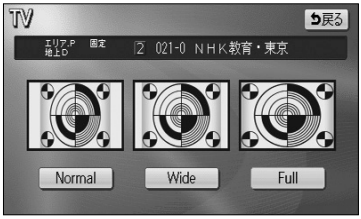
■ **色の濃さを調整する**
色を濃くするときは 濃 、色を淡くするときは 淡 にタッチします。

（2） 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ／リアカメラ／フロントカメラ／コーナーカメラの映像画面が表示されているときのみ調整できます。

4 テレビのワイド画面モードを切り替えるには



(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で WIDE MODE にタッチします。

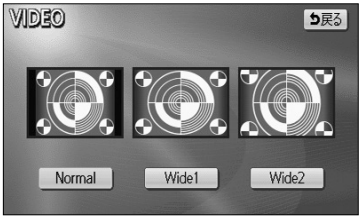
(2) 表示させたい画面モードにタッチします。

● Normal にタッチすると、たて3：よこ4の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。

● Wide にタッチすると、たて9：よこ16の割合の画面が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。

● Full にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて3：よこ4の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて9：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

5 VTRのワイド画面モードを切り替えるには



（1） ビデオ操作画面（P.7-43参照）、で WIDE MODE にタッチします。

（2） 表示させたい画面モードにタッチします。

● Normal にタッチすると、たて 3 ：よこ 4 の割合の画面で両端が黒く表示されます。
たて 3 ：よこ 4 の割合の映像は、オリジナルと同じ比率で表示されます。
たて 9 ：よこ16の割合の映像は、左右方向に圧縮されます。

● Wide 1 にタッチすると、画面を全て使用した映像が表示されます。
たて 3 ：よこ 4 の割合の映像は、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。
たて 9 ：よこ16の割合の映像も、左右方向に均等に引き伸ばして表示されます。

● Wide 2 にタッチすると、たて 3 ：よこ 4 の割合の映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。
この場合、上下方向も左右方向と同じように拡大するため上下の画面が切れて表示されます。

注 意

テレビ番組や映画などの映像比率と異なるモードを選択されますとオリジナル映像と見え方に差が出ることをご留意ください。また、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の（分割表示や）圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面の設定

アニメーションやキャラクターの設定、オーディオ操作画面（P.7-3参照）の設定を行うことができます。

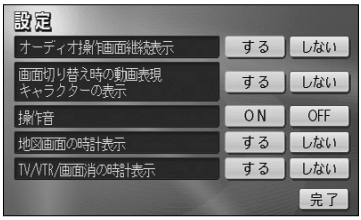
1 画面に動きを持たせるには

スイッチにタッチしたときに、アニメーションによって画面に動きを持たせることができます。また、キャラクターを表示することができます。

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）から、 情報 にタッチします。

● 情報のメニュー画面が表示されます。

（2） 設定 にタッチします。



● 設定画面が表示されます。

（3） 画面切り替え時の動画表現 キャラクターの表示の する にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（4） 完了 にタッチします。

＜動画表現の例＞

●画面切り替え時の動画表現 キャラクターの表示を「する」に設定すると、操作時に画面が以下のように切り替わります。また、キャラクターが表示されるようになります。

＜アニメーション＞

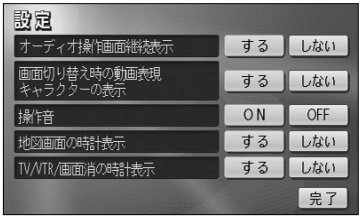
特定のスイッチにタッチしたときに行われます。

＜キャラクター＞

キャラクターは、現在の日付やナビゲーションの操作説明などの音声案内時に登場します。

2 画面の表示設定をするには

オーディオ操作画面（P.7-5参照）は、表示させて約6秒以上操作しなかったとき、自動的に表示を「解除する（もとの画面に戻る）」または「解除しない」に切り替えることができます。



（1） P.1-29の 1 の（3）の画面で、オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときはオーディオ操作画面継続表示の しない にタッチします。

- 継続して表示させたままにしたいときは する にタッチします。
- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

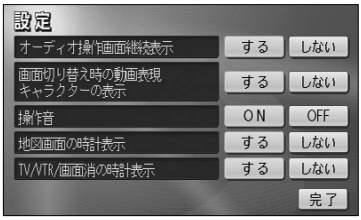
（2） 完了 にタッチします。

お知らせ

CD・SDメモリーカードの出し入れを行う画面（P.1-16参照）などを表示中にオーディオ操作画面を表示して自動解除が行われた場合は、CD・SDメモリーカードの出し入れを行う画面を表示する前に表示していた画面を表示します。

3 操作音を設定するには

操作ボタンやタッチスイッチ操作時の操作音のON（鳴らす）／OFF（鳴らさない）を設定することができます。



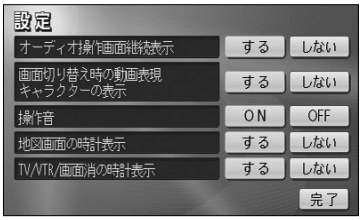
（1） P.1-29の 1 の（3）の画面で、操作音の ON にタッチします。

- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（2） 完了 にタッチします。

4 時計の表示設定をするには

画面に時計を表示することができます。



（1） P.1-29の 1 の（3）の画面で、画面ごとに設定します。

■ 地図画面に時計を表示する
地図画面の時計表示の する にタッチします。

■ オーディオ映像や画面消に時計を表示する
TV／VTR／画面消の時計表示の する にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（2） 完了 にタッチします。

時計表示

アドバイス

TV／VTR／画面消の時計表示を「する」に設定した場合は、以下の画面に時計が表示されます。
テレビ映像画面、VTR映像画面、画面消（P.1-25参照）

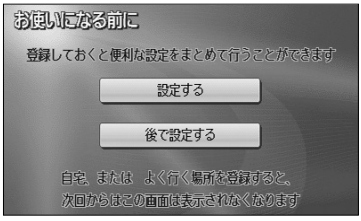
お知らせ

GPSが受信されるまで表示時間がずれる場合があります。また、時計が表示されるまで時間がかかる場合があります。

メモ

簡単初期設定ガイドについて

初めて本機を起動したときは、簡単初期設定ガイド画面が表示されます。
案内音量・自宅・よく行く場所・車両情報の設定ができます。



簡単初期設定ガイド画面

（1） 設定する にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面が表示されます。
- 後で設定する にタッチすると、簡単初期設定ガイドを終了します。

お知らせ

自宅またはよく行く場所のいずれかが登録されていない場合は、起動するたびに簡単初期設定ガイド画面が表示されます。

1 案内の音量を調節するには

（1） 簡単初期設定ガイド画面で 音量設定 にタッチします。

（2） 小、・、・、中、・、・、大 のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。

- 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
- タッチしたタッチスイッチが強調表示になります。
- 消音 にタッチすると、案内音量OFFになります。

（3） 完了 にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

お知らせ

案内音量を 消音 にタッチすると「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。

作動表示灯

（1） 簡単初期設定ガイド画面で 音量設定 にタッチします。

（2） 高速時の自動音量切替 にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。

● 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

（3） 完了 にタッチします。

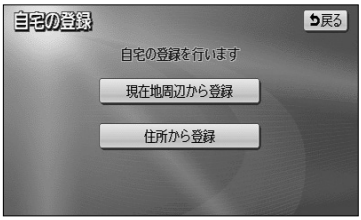
● 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

お知らせ

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が 消音 のとき、または案内音量が 大 に設定されているときは音量は切り替わりません。

3 自宅を登録するには

自宅を登録すると、簡単に自宅の地図を呼び出すことができます。(P.2-31参照)



（1） 簡単初期設定ガイド画面で 自宅 にタッチします。

● 自宅設定画面が表示されます。

（2） 地図の呼び出し方を選択します。

● 現在地周辺から登録 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。

● 住所から登録 にタッチすると、住所を入力して地図の場所を検索できます。（P.3-35参照）

（3） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（4） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

● 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

アドバイス

自宅が登録されていない状態でナビメニュー（P.2-7参照）の 自宅 にタッチしても自宅を登録できます。

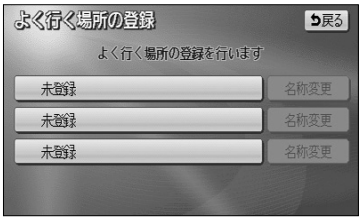
(1) ナビメニュー（P.2-7参照）の 自宅 にタッチします。

(2) はい にタッチします。
- いいえ にタッチするとナビメニューに戻ります。

(3) 音声ガイダンスをする場合は はい 、しない場合は いいえ にタッチします。
- 3 の(2)の画面が表示されます。

4 よく行く場所を登録するには

よく行く場所を登録すると、簡単にその地点の地図を呼び出すことができます。(P.2-31参照)



(1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で よく行く場所 にタッチします。
- よく行く場所設定画面が表示されます。

(2) 未登録 にタッチします。

(3) 地図の呼び出し方を選択します。

- 名称 P.3-26
- 住所 P.3-35
- ジャンル P.3-30
- 電話 P.3-32
- 登録リスト P.3-37
- 周辺検索 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

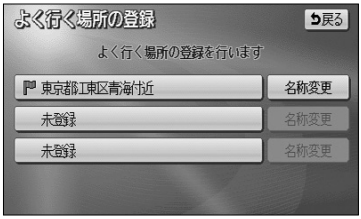
※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

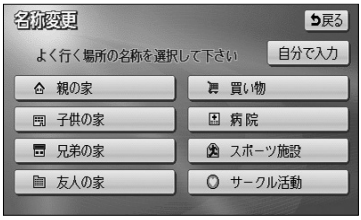
(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

- よく行く場所が登録されます。
- 手順 (2) で、すでに地点が登録されているリストを選んだ場合は、新しく選んだ地点が上書きされます。



(6) よく行く場所設定画面（P.2-3参照）で、名称を変更したい地点の右の 名称変更 にタッチします。



(7) 名称リストから変更したいスイッチをタッチします。

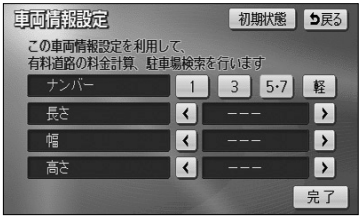
- タッチされたリストの名称とマークに変更されます。
- 自分で名称を変更するには、 自分で入力 にタッチすると、お好みの名称を入力できます。名称の入力方法は、P.4-27を参照してください。

(8) 登録が完了したら、 戻る （ナビメニューから登録した場合は 完了 ）にタッチします。

- 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

5 車両情報を設定するには

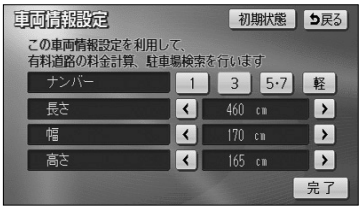
入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。



(1) 簡単初期設定ガイド画面（P.2-1参照）で 車両情報 にタッチします。

(2) 1 、 3 、 5・7 、 軽 にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

●初期設定は、 5・7 に設定されています。



(3) ◀ 、 ▶ にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

● 初期状態 にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。

(4) 完了 にタッチします。

● 簡単初期設定ガイド画面に戻ります。

お知らせ

車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。

・入庫可能な駐車場の検索（P.3-27参照）
・均一区間の料金表示（P.2-12参照）
・現在地画面の料金案内（P.4-11参照）
・ルート情報画面の料金表示（P.3-18参照）
・全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-32の 1 の画面、P.2-33の 2 の（4）の画面）

ナビメニューについて

1 ナビメニューについて

目的地を探す

（1） を押すと、ナビメニューが表示されます。

● ナビメニューから以下の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
設定	設定画面の表示	2-8
情報	情報画面の表示	5-1
目的地消去※1	目的地の消去	3-6
目的地を探す※2	目的地を設定する	3-26～3-44
自宅	自宅を登録する（未登録時）	2-2
	自宅を目的地に設定（登録済み時）	2-31
その他	地図索引機能を使って目的地を設定する	2-30

※1　目的地が設定されていないときは、色が反転して、タッチしても操作できません。

※2　「名称」「電話」など目的地を探すスイッチは、お好みのスイッチにカスタマイズすることができます。（P.4-18参照）

2 設定画面について

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で 設定 にタッチします。

● 設定画面が表示されます。
設定画面から、以下の操作を行うことができます。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
案内中止／案内再開※1	ルート案内の中止・再開	3-24
音量設定	音量設定	3-25
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	4-20～4-32
	迂回メモリの登録・修正・消去	4-33～4-38
QQコール※2	QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードの表示・表示解除	4-57
VICS	VICS文字情報・図形情報の表示	4-46～4-47
	割り込み情報の表示	4-47～4-48
	VICS提供放送局の選択	4-48～4-49
ナビ設定	ナビゲーションの各種設定	4-1～4-17
NAVImenuカスタマイズ	ナビメニューの目的地を探すスイッチの選択	4-18
ショートカット設定	ショートカットスイッチの選択	4-19

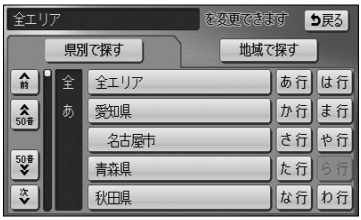
※1　目的地が設定されていないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。

※2　「QQコール」は、Honda販売店での入会登録手続きが必要です（P.4-56参照）。入会登録手続きをされていない場合は、タッチスイッチが表示されません。

リスト画面の切り替え方

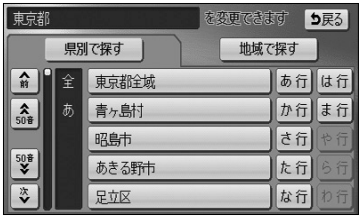
▲・▼の切り替え表示

▲、▼にタッチすると、１項目ずつリストが動きます。



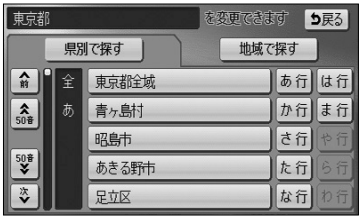
前・次の切り替え表示

▲前、▼次にタッチすると、１項目ずつリストが動きます。



50音順の切り替え表示

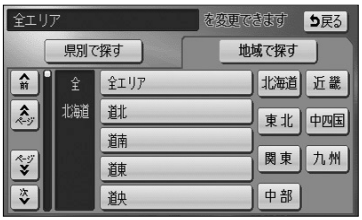
▲50音、▼50音にタッチすると、「あ→い」というように次の音に飛ばしてリストが動きます。



行の切り替え表示

あ行、か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、や行、ら行、わ行にタッチすると、「あ行→か行」というようにタッチした行に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

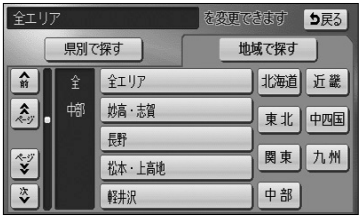


ページの切り替え表示

ページ 、 ページ にタッチすると、１ページずつリストが動きます。

マークの切り替え表示

マーク 、 マーク （ 種類 、 種類 ）にタッチすると、次のマークに飛ばしてリストが動きます。



地域の切り替え表示

北海道 、 東北 、 関東 、 中部 、 近畿 、 中四国 、 九州 にタッチすると、タッチした地域に飛ばしてリストが動きます。

施設項目切り替え表示

食事 、 店 、 車 、 宿泊 、 遊び 、 公共 、 交通 、 文化 、 他 にタッチすると、タッチした施設項目に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。
- ○○全て にタッチすると、その項目のすべての施設が選択されます。
- 全ジャンル にタッチすると、すべての施設が選択されます。

スイッチの意味がわからないときには

画面に表示されているスイッチの機能について、使い方や機能などのヒント（説明）を表示することができます。

(音量設定の場合の例)

（1） ヒント? が表示されている画面で、 ヒント? にタッチするとヒントモードになります。

お知らせ

画面によっては ヒント? が表示されないものもあります。

- ヒントが表示されるスイッチが黄色の枠で囲まれます。
- 黄色の枠で囲まれるスイッチのみヒントを表示することができます。

（2） 音量設定 にタッチします。

- 音量設定 のヒントが表示されます。
- ヒント表示中のスイッチは強調表示されます。
- ヒントが表示されるスイッチが反転している場合もヒントは表示されます。

（3） 解除? にタッチします。

- ヒントモードが解除され、（1）の画面に戻ります。
- 解除? はヒントモード中のみ表示されます。

お知らせ

- ヒントモード中に他の画面を表示した場合、ヒントモードは解除されます。
- ヒント表示中に走行を開始するとヒントは消去されます。

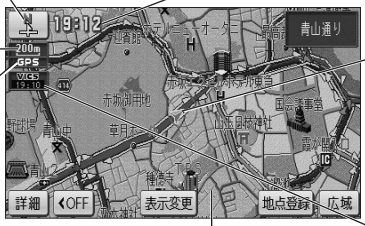
現在地を表示するには

現在地（自車位置）周辺の地図を表示します。
[◉] を押すと、現在地画面が表示されます。

①方位マーク
表示している地図の向きを表示します。

②スケール表示
表示している地図の縮尺を表示します。

③ＧＰＳマーク
ＧＰＳ衛星からの電波を受信し、測位可能な場合に表示します。



④地図
市区町村別で色が分かれて表示されます。

⑤VICSタイムスタンプ
VICS情報が提供された時刻を表示します。

⑥自車マーク
自分の車の位置を表示します。

⑦時計表示
現在の時刻を表示します。

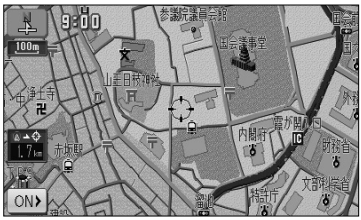
お知らせ

- 納車時および長時間バッテリーをはずしておいた場合、現在地が異なった場所を表示することがあります。この場合、手動で現在地の修正を行う（P.4-52参照）か、ＧＰＳが受信され自動で位置の修正（10分程度かかる場合があります）が行われるまでお待ちください。
- 地図の色分けは、リアルワイドマップ（P.4-7参照）が「する」に設定されているときのみ表示されます。800m より広域な縮尺で地図を表示中は、色分けの表示はされません。
- 50m から 1.6k までの地図縮尺で均一区間の有料道路（都市高速を除く）の料金（¥250）が表示されます。

アドバイス

- 現在地画面で [◉] を押すと現在地付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。
- 地図を表示させているときに、画面のタッチスイッチを表示させないようにすることができます。
  - ・ OFF にタッチすると、タッチスイッチのない表示になります。
  - ・ ON にタッチすると、タッチスイッチが再び表示されます。

OFF にタッチしたときの表示



ON にタッチしたときの表示

地図スクロールするには

現在地画面または地図画面から地図をスクロール（地図移動）させ、見たい場所の地図を探します。

（1）現在地画面で地図にタッチします。

- タッチした地点が画面の中心となり、地図が移動します。移動後は地図画面となります。
- ナビ設定で「地図スクロール時の地名表示」を「する」に設定（P.4-1参照）しているときは、地図の移動後に画面中心付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。

お知らせ

スクロール時に表示される地名は、 50m から 6k までの地図縮尺で表示されます。

（2） 地図にタッチしてそのまま押しつづけると、画面中央のマーク ✛ の色が黄色に切り替わり、タッチした地点の方向に地図が移動します（連続スクロール）。

- 地図の中央付近にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が低速で移動します。
- 地図の端にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が高速で移動します。

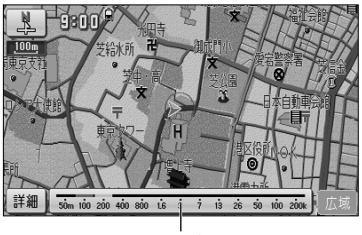
お知らせ

- ●画面上のタッチスイッチがある場所にタッチしても地図は移動しません。
- ●地図スクロール後は地図が固定され、車が移動しても地図は移動しません。 Ⓐ を押してください。
- ●地図画面とは地図を表示している画面で、画面中央に ✛ マークが表示されます。
- ●走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- ●走行中は道路の表示量が制限されます。

地図の縮尺をかえるには

現在地画面（P.2-12参照）または地図画面（P.2-13参照）において、地図を1/5000から1/2048万までの希望の縮尺に切り替えることができます。

1 地図の縮尺をかえるには



縮尺バー

（1） 地図が表示されている画面で 広域 または 詳細 にタッチして希望する縮尺を選択します。

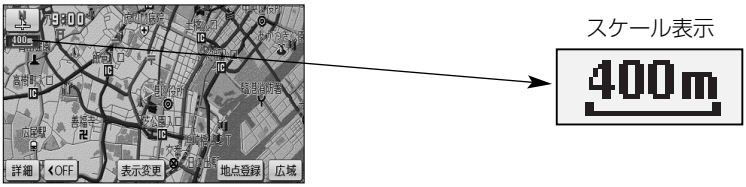
- 広域の地図に切り替えるには 広域 にタッチします。
- 詳細の地図に切り替えるには 詳細 にタッチします。
- 縮尺バーが表示され、選択された縮尺が━（黄色）で表示されます。

お知らせ

●スケール表示と地図縮尺について

現在地画面、または地図画面の左上に表示される 400m の ⎯ の長さが約400mであり、表示されている地図縮尺が1／4万図縮尺であることを示しています。

mはメートル、kはキロメートルのことを示します。



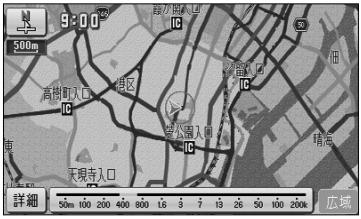
●スケール表示 25m は市街図（P.2-23参照）で表示されます。

スケール表示	地図縮尺	スケール表示	地図縮尺
25m	1／2500図	3k	1／32万図
50m	1／5000図	7k	1／64万図
100m	1／1万図	13k	1／128万図
200m	1／2万図	26k	1／256万図
400m	1／4万図	50k	1／512万図
800m	1／8万図	100k	1／1024万図
1.6k	1／16万図	200k	1／2048万図

●地図を3D表示（P.2-18参照）にしているときに ⎯ は表示されません。

2 フリーズーム機能を使うには

表示されているスケール表示以外の地図縮尺で地図を表示することができます。



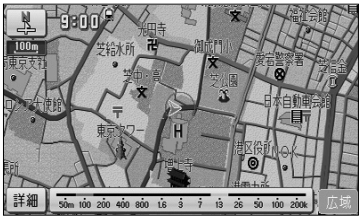
（1） 広域 または 詳細 をタッチし続けます。

- 広域 をタッチし続けると広域な地図に、詳細 をタッチし続けると詳細な地図に縮尺をかえていきます。
- タッチするのをやめると、そのときの地図縮尺が選択されます。

お知らせ

- 走行中は安全のため、フリーズーム機能は動作しません。
- 市街図（P.2-23参照）のフリーズームはできません。

3 ダイレクト縮尺切り替え機能を使うには



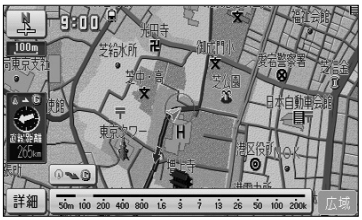
（1） 広域 または 詳細 にタッチしたあと、縮尺バーの目盛りにタッチすると、タッチした目盛りの縮尺の地図に切り替わります。

お知らせ

走行中は安全のため、ダイレクト縮尺切り替え機能は動作しません。

4 目的地表示縮尺切り替え機能を使うには

目的地を設定しているときに現在地から目的地までの地図を適切な地図縮尺で表示することができます。



（1） 広域 または 詳細 にタッチしたあと、縮尺バーの左上に表示される にタッチします。

お知らせ

目的地を設定（P.2-28）しているときのみ が表示されます。

● 現在地から目的地までの地図が表示されます。

お知らせ

●市街図（P.2-23参照）や3Dの地図（P.2-18参照）を表示しているときは、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
●走行中は安全のため、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。
●2画面表示のときは左画面のみ目的地表示縮尺切り替えを行います。

地図の向きをかえるには

現在地画面（P.2-12参照）や地図画面（P.2-13参照）の地図の向きをかえることができます。

(1) N（または ）が表示されているときに、N（または ）にタッチすると、ヘディングアップ表示（またはノースアップ表示）に切り替えることができます。

- ノースアップ表示は画面の上方向を北に固定して地図を表示します。
- ヘディングアップ表示は、画面の上方向が自車の進行方向になるように地図を自動的に回転して表示します。

お知らせ

●方位マークは次のように表示されます。

ノースアップ表示　N

ヘディングアップ表示　　赤色が北向き、白色が南を示します。

●地図画面ではヘディングアップ表示の時のみノースアップ表示に切り替えることができます。

●以下のような場合、地図画面でヘディングアップ表示になります。

・ヘディングアップの現在地画面で地図スクロールした場合。

・ヘディングアップの現在地画面や地図画面を表示しているとき、目的地を探す画面（P.2-30参照）などから 先程の地図 にタッチした場合。

3D表示にするには

地図に遠近感をもたせて表示することができます。また、地図を見る視点をある範囲内でかえることもできます。

1 3D表示にするには

（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

（2） 2D・3D・ツイン にタッチします。

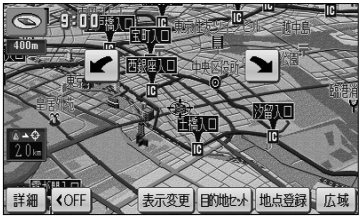
- 強調表示されているタッチスイッチが現在の画面状態です。

（3） 3D にタッチすると3D表示に切り替わります。
また、3Dツイン にタッチすると2画面表示（P.2-20参照）に切り替わり、左画面が3D表示となります。

お知らせ

- ●代表的な地点（交差点、IC）の名称が吹き出しで表示されます。地図の縮尺によって表示される代表地点は異なります。
- ●3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。

2 オールラウンドスクロールを使うには



（1） 3D表示時に、地図にタッチします。

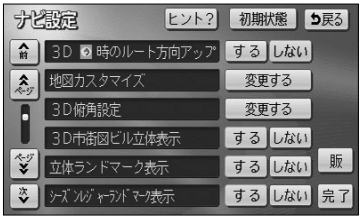
（2） または により、地図を回転させることができます。

- にタッチすると、地図が時計まわりに回転します。
- にタッチすると、地図が反時計まわりに回転します。
- を押して現在地画面にすると、回転前の状態に戻ります。

お知らせ

走行中は安全のため、オールラウンドスクロールを行うことはできません。

3 3D表示の視点角度を変更するには



(1) 設定画面（P.2-8参照）で ナビ設定 にタッチします。

(2) 3D俯角設定の 変更する にタッチします。

(3) または により視点角度を変更できます。

- にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
- にタッチすると、視点の角度を下げることができます。
- 視点角度は10段階に調整できます。
- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

(4) セット にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

4 3D表示を解除するには

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 2D・3D・ツイン にタッチします。

(3) 2D にタッチすると2D表示に切り替わります。

また 2Dツイン にタッチすると2画面表示(P.2-20参照)に切り替わり、左画面が2D表示となります。

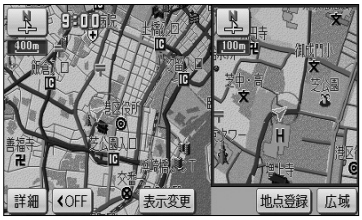
2画面表示にするには

現在地画面（P.2-12参照）のときに異なる縮尺の地図を同時に表示させるなど、画面を左右に2分割して地図を表示させることができます。

1 2画面表示にするには

（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

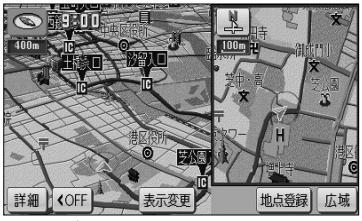
（2） 2D・3D・ツイン にタッチします。



2Dツイン

（3） 2Dツイン または 3Dツイン にタッチすると2画面表示に切り替わります。

- 左画面は1画面の時と同じ方法で操作できます。
- 1画面表示に戻すには（2）の画面で 2D （2D表示）または 3D （3D表示）にタッチします。

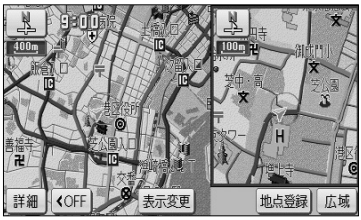


3Dツイン

アドバイス

再度2画面表示にしたときは、前回2画面表示にしていたときの縮尺で地図が表示されます。

2 右画面の操作



（1） 右画面内の地図にタッチします。

作動表示灯

（2） 次に表示された画面で、以下のことができます。

- 広域 または 詳細 にタッチすると、右画面の縮尺を切り替えることができます（P.2-14参照）。
- N または にタッチすると、右画面の地図向きを切り替えることができます（P.2-17参照）。
- 3D表示 にタッチするごとに、右画面を3D表示、または2D表示に切り替えることができます。（P.2-18参照）
  右画面が3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 周辺施設表示 にタッチするごとに、右画面の施設ランドマークを表示、または消去することができます（P.3-46参照）。
  右画面の施設ランドマークが表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- VICS表示 にタッチするごとに、右画面のVICS情報を表示、または消去することができます（P.4-44参照）。
  右画面のVICS情報が表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- 2画面表示のときは、左画面のみ地図スクロールすることができます。
- 右画面の 周辺施設表示 および VICS表示 は、左画面の施設表示、およびVICS表示が表示状態となっているときに操作することができます。

地図・文字を拡大表示するには

地図や文字、施設マークを拡大して表示することができます。

（1） 地図画面を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

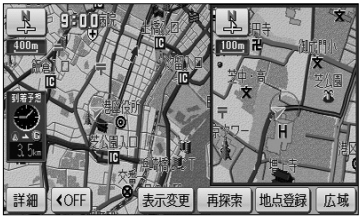
（2） 拡大表示 にタッチすると地図・文字が拡大表示されます。

- 拡大表示しているときは、スケール表示と地図の大きさは異なります。
- 2画面表示しているときに拡大表示を行うと左右の画面の地図・文字がともに拡大して表示されます。

お知らせ

- 拡大表示したときは、地図・文字が通常表示のおよそ2倍に拡大して表示されます。
- 市街図（P.2-23参照）、全ルート表示画面（P.2-32参照）、乗降IC指定画面（P.3-13参照）など、画面によって拡大表示が行われない画面もあります。

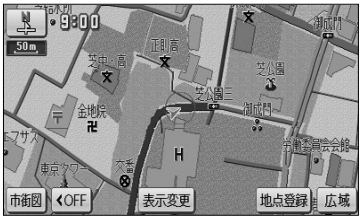
（3） （1）の画面で、 拡大解除 にタッチすると地図・文字の拡大表示が解除されます。

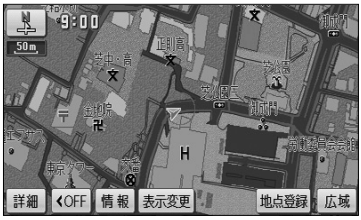


市街図を表示するには

市街図がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

1 市街図を表示するには





（1） 2D表示時で、50m の縮尺の地図を表示しているときに 市街図 にタッチします。

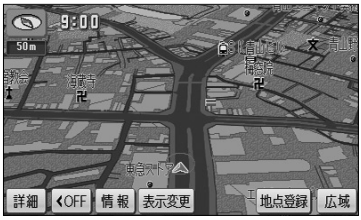
- 50m の縮尺の市街図が表示されます。
- 通常の地図に戻すには 広域 にタッチします。

お知らせ

- 市街図 は地図データ（市街図）が存在する場所でのみ表示されます。
- 50m の縮尺の市街図を表示しているときに 詳細 にタッチすると 25m の縮尺の市街図を表示できます。
- 地域によっては、道路などへの色表現ができない場合があります。

2 3D市街図ビル立体表示に切り替えるには

建物の形状が立体的に表現された地図を表示することができます。



（1） 3D表示時で、50m の縮尺の市街図を表示しているときに 詳細 にタッチします。

- 3D市街図ビル立体表示に切り替わります。
- 広域 にタッチすると、50m の縮尺の市街図に戻ります。

お知らせ

- 3D市街図ビル立体表示（P.4-1参照）が「する」に設定されているときのみ表示されます。
- 3D市街図ビル立体表示では、視界の遮りを防ぐため手前のビルは半透明で表示されます。
- 地域によっては、道路などへの色表現ができない場合があります。

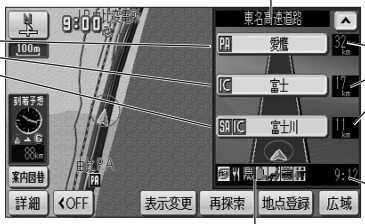
高速略図画面を表示するには

自車が高速道路や有料道路に進入すると、自動的に高速略図画面が表示されます。

1 高速略図画面について

①道路名称
選択した施設の存在する道路名称を表示します。

②施設名称
未通過の施設を表示します。



⑤施設までの距離
現在地からの距離を表示します。

④通過予想時刻
選択した施設への到着予想時刻を表示します。

③設備マーク
選択した施設（ＳＡ・ＰＡのみ）に設置されている設備をマークで表示します。

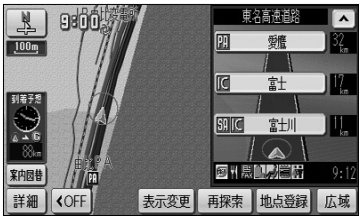
表示される設備マーク		
レストラン	ドラッグストア	仮眠施設
お風呂	キャッシュコーナー	ハイウェイ情報ターミナル
郵便局・ポスト	ＦＡＸ	ショッピングコーナー
休憩所	スナックコーナー	トイレ
ガソリンスタンド（企業マークを表示）		

お知らせ

高速略図画面の表示は常に2画面表示になります。（高速略図画面解除後は表示前の画面状態に戻ります）

2 高速略図画面の表示と解除

自車が高速道路や有料道路の本線上にあるときは、高速略図画面の解除と表示が行えます。



（1） 自車が高速道路の本線上にあるとき、 案内図替 にタッチします。

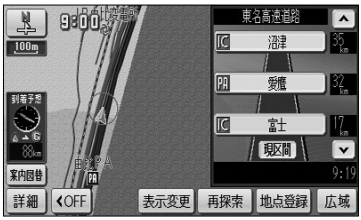
- 高速略図画面が解除されます。
- 高速略図画面を表示するには 案内図替 にタッチします。

お知らせ

- 案内図替 の詳細については、P.2-39を参照してください。
- 自車が出口ICに到達すると高速略図画面は自動的に解除されます。
- ルート案内中でないときは、都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）や有料道路では高速略図画面を表示することはできません。

3 高速略図画面を使いこなす

未通過の施設の情報を確認することができます。



（1） 施設名称、または ▲ や ▼ にタッチすると、選択される施設が切り替わります。

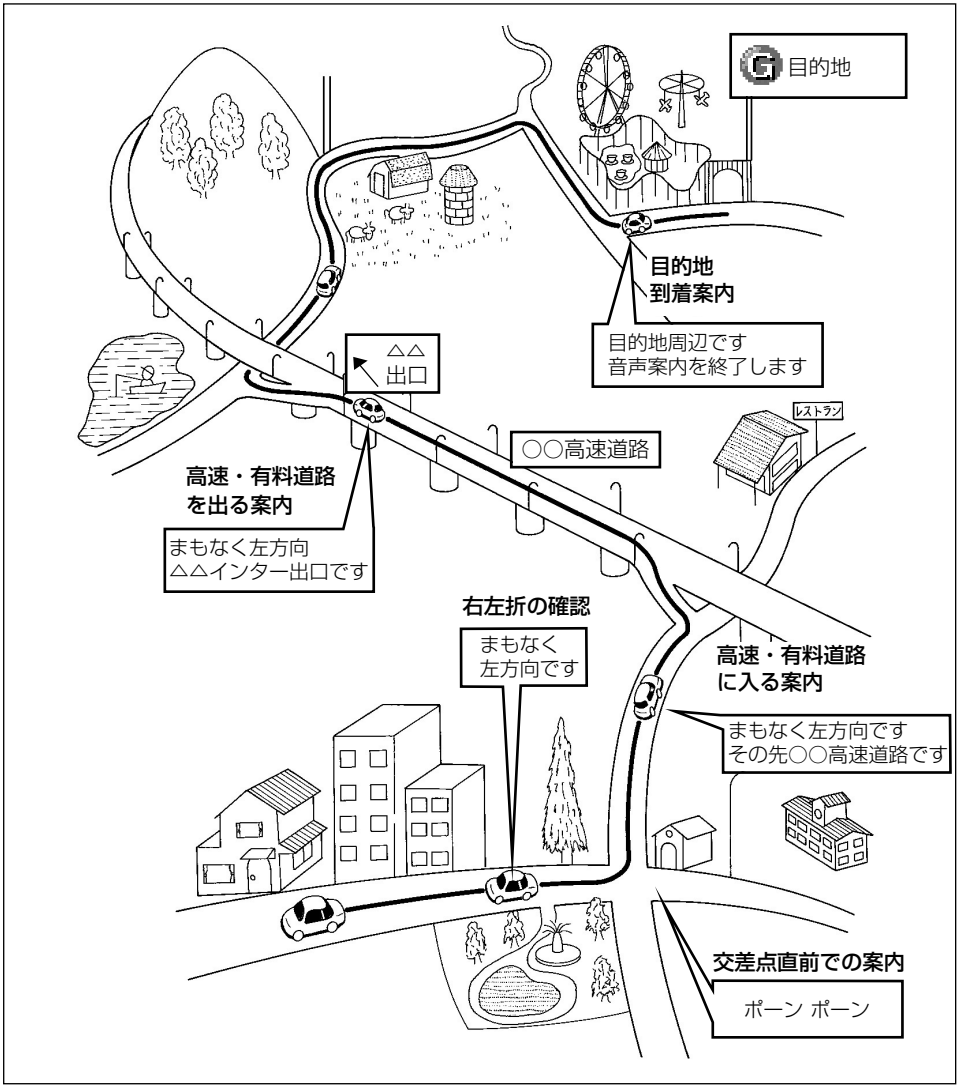
- 選択された施設が強調表示されます。
- 施設を選択したときに 現区間 にタッチすると現在地から最寄りの施設が選択されます。

お知らせ

- 自車が都市間高速道路（東名高速や名神高速など）の本線上にあるときは、ルート案内中でなくても、未通過の施設を最大10施設まで表示します。
- ルート案内中は出口ＩＣまでの施設を表示します。

ルート案内について

●目的地を設定することによって、自動的に推奨ルートを表示します。
●ルートに沿って走行し、分岐点に接近すると音声と案内拡大図（交差点拡大図、3D高速分岐案内など）によりルート案内を行います。
音声案内は聞きたいときに聞くこともできます。



ルート案内は次の手順で案内され、目的地付近に到着すると終了します。

●以下に示す手順は基本的な流れです。

1. 目的地を設定する（P.2-28　目的地を設定しルートを探索するには）

●行きたい場所の地図上に目的地を設定します。

地図画面

目的地を探す画面

ルートが探索されます。

2. ルートを選択する（P.2-32　5ルートを確認・選択するには）

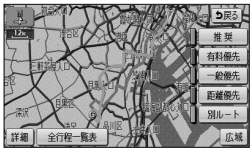
●探索されたルートを確認します。

● 5ルート にタッチすると5ルート選択画面を表示します。

●5本あるルートから案内ルートを選びます。

全ルート表示画面

5ルート選択画面



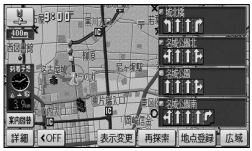
ルート上を走行すると案内が開始されます。

3. ルートを案内する（P.2-34　案内画面について）

●様々な画面と音声による案内で目的地まで誘導します。

交差点拡大図

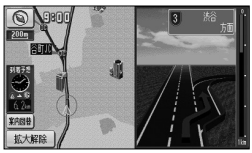
レーンリスト図画面



都市高マップ

ハイウェイ入口案内

3D高速分岐案内



目的地まで案内にしたがって走行します。

目的地に到着すると案内が終了します。

目的地を設定しルートを探索するには

目的地を設定するとルートを探索することができます。

1 目的地を任意地点にワンタッチで設定する

（1） 地図スクロール、 詳細 または 広域 操作により目的地を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 目的地セット にタッチします。

（2） ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

（3） 目的地セット にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

（4） すでに目的地が設定されている場合は、 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。

- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-3を参照してください。

アドバイス

- 目的地設定ができるのは、自車から5000km以内の 800m および 800m より詳細な地図のときです。
- 800m より広域な地図で設定動作を行った場合は、自動的に 800m の地図に切り替わります。

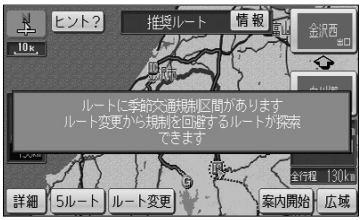
(5) 高速道路や橋、トンネルが目的地付近に存在する場合は、 設定する または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する場所を選択します。

(6) 案内開始 にタッチすると、音声と画面で案内します。

- 青色で表示されているのが案内対象ルートです。ルートの種類は画面上部に表示されます。
- 案内開始 にタッチしなくても、走行を開始してから約3秒後に自動的にルート案内を始めます。

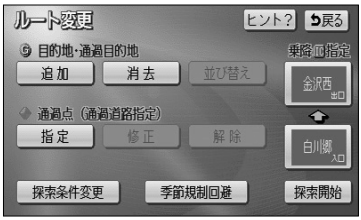
お知らせ

ルートの種類は最大で5種類表示されます。それぞれのルートの特徴については、P.2-33を参照してください。
ルートの表示色は変更することができます（P.4-7参照）。



(7) ルート上に季節規制区間が存在するときは、規制区間の道路が橙色で表示されます。規制を回避したい場合は、 ルート変更 にタッチします。

- メッセージはナビ設定（P.4-1参照）で「季節規制メッセージ表示」が「する」に設定されているときのみ表示されます。



(8) 季節規制回避 にタッチすると、季節規制を回避する探索を行います。

- 季節規制回避後は、 季節規制通過 になります。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は、 季節規制通過 にタッチします。

お知らせ

規制区間を含む道路以外に推奨できる道路がないときは、規制を回避できないことがあります。
規制区間の道路表示色は、地図カスタマイズ（P.4-7参照）で設定しているルート色により異なります。

2 地図索引機能を使って目的地を設定する

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

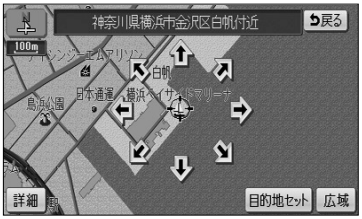
- **名称** P.3-26
- **住所** P.3-35
- **ジャンル** P.3-30
- **電話** P.3-32
- **登録リスト** P.3-37
- **お出掛け** P.3-42
- **郵便番号** P.3-34
- **履歴** P.3-38
- **マップコード** P.3-39

※ それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- **先程の地図** にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- **自宅** にタッチすると、自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。（P.2-31参照）
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。（P.2-31参照）

お知らせ

ナビメニューの「目的地を探す」（P.2-7参照）に表示されているスイッチに、使用頻度の高いスイッチを表示して使いやすくすることができます（P.4-18参照）。



（3） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（4） **目的地セット** にタッチします。

(5) すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-29の 1 の(6)の操作を行ってください。

- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。
  P.3-4を参照してください。

(6) ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

3 自宅に帰る

(1) ナビメニュー（P.2-7参照）、または目的地を探す画面（P.2-30参照）で 自宅 にタッチします。

- そのまま自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、 2 の(5)の操作を行ってください。

お知らせ

自宅が登録（P.4-30参照）されていない場合、ナビメニューの 自宅 をタッチすると自宅登録画面が表示されます。(P.2-2参照)

4 よく行く場所に設定する

(1) 目的地を探す画面（P.2-30参照）で、登録済みのよく行く場所のいずれかにタッチします。

- そのままよく行く場所を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、 2 の(5)の操作を行ってください。

お知らせ

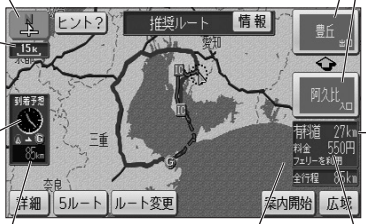
ナビメニュー（P.2-7参照）の「目的地を探す」スイッチに、よく行く場所のスイッチを表示することができます。(P.4-18参照)
よく行く場所が登録（P.4-30参照）されていない場合は、ナビメニューのよく行く場所をタッチするとよく行く場所を登録する画面が表示されます。(P.2-3参照)

5ルートを確認・選択するには

案内を開始する前に、複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。

1 全ルート表示画面の表示

ルート探索が終了すると、自動的に全ルート表示画面が表示されます。



①地図向き
ノースアップで表示されます。

②地図縮尺
現在地と目的地の両方が表示される縮尺で表示します。

③到着予想時刻
目的地に到着する予想時刻を表示します。

④目的地までの距離表示
自車から目的地までの道のり距離を表示します。

⑤フェリー利用
目的地までのルートでフェリー航路を利用する場合に表示します。

⑥合計料金表示
最終目的地までにかかる有料道路の料金の合計額を表示します。

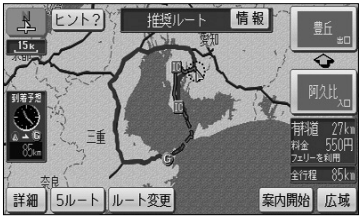
⑦主要利用道路情報
ルートにおいて主に利用する道路種別とその利用距離を表示します。

⑧乗降ＩＣ
最初に利用する入口ＩＣと最後に利用する出口ＩＣ名称を表示します。
入口ＩＣと出口ＩＣは変更することができます（P.3-13参照）

お知らせ

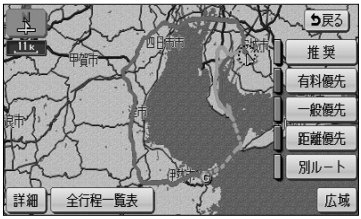
- 5ルート は案内開始前のみ表示され、案内を開始すると表示されません。
  また、目的地が2つ以上設定されている場合や、通過道路（P.3-8参照）や乗降ＩＣ（P.3-13参照）が指定されている場合も表示されません。
- 高速道路、有料道路を利用しない場合は、乗降ＩＣは表示されません。
- 目的地が2つ設定されているときは、目的地までの距離表示に、タッチされるごとに設定されている目的地までの距離に切り替わります。3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示にタッチして表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの距離の表示に切り替わります（P.2-36参照）。
- 案内開始後も、全ルート表示画面を表示することができます（P.2-35参照）。

2 複数の全ルート表示を確認し案内するルートを選択する



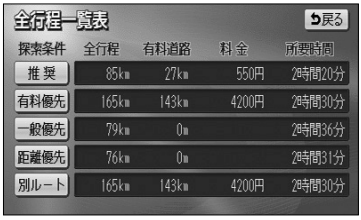
(1) 全ルート表示画面で **5ルート** にタッチします。

● 5つのルートを色分けして表示します。
各ルートは約1秒おきに順次一番上に表示が切り替わります。



(2) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

(3) (2)の画面で **全行程一覧表** にタッチすると、5つのルートの距離、料金、所要時間が表示されます。



(4) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

お知らせ

●案内するルートが同じ場合もあります。
●5ルートを表示している画面では、地図のスクロールはできません。
●料金は実際と異なる場合があります。
●5つのルートの特徴
- **推奨** 最も推奨できるルート
- **有料優先** できるだけ有料道路を多く利用するルート
- **一般優先** 有料道路の利用をかぎりなく少なくするルート
- **距離優先** できるだけ道のり距離が短くなるようにしているルート
- **別ルート** 最初に選ばれたルートとは別の道を利用するルート

案内画面について

ルート案内中は状況に応じて様々な案内画面が表示されます。

1 案内中の現在地画面

①案内ポイントマーク
車線案内、通過交差点名称、案内拡大図が表示される地点にマークを表示します。

⑥車線案内
交差点における各車線の分岐方向を矢印で表示します。車線情報のある一部の交差点で表示されます。

②到着予想時刻
目的地に到着する予想時刻を表示します。

⑤道路名称、通過交差点名称表示
現在走行中の道路名称、またはルート上で次に通過する交差点の名称を表示します。

③目的地までの距離表示
自車位置から目的地までの道のり距離を表示します。

④案内ルート
目的地までの案内ルートを青色で表示します。
（目的地が複数設定されているときは、次の目的地までの案内ルートを青色で表示し、それ以降の案内ルートは白色の線が入った青色で表示します。）

お知らせ

- ●案内ポイントマークは、案内されるポイントの種類によって異なるマークを表示します。
  - ・ 通過交差点名称、または車線案内が表示されている交差点
  - ・（灰色） 通過交差点名称、または車線案内が表示されていて、信号機がない交差点
  - ・（赤色） 案内拡大図が表示される交差点
- ●車線案内は案内ルートの方向によって色分けして表示します。
  ルート案内上、走行を推奨する車線は、青色で表示します。それ以外の車線は、灰色で表示します。
- ●車線案内、および料金案内は実際と異なる場合があります。
- ●細街路（道幅が3m以上5.5m未満の細い道路）における案内ルートは水色で表示します。細街路ルート走行中は音声分岐案内および案内拡大図表示は行いません。
- ●ナビ設定の「目的地直線表示」を「する」に設定すると、現在地画面で目的地への方向を直線で表示します（P.4-1参照）。
- ●案内ルート（細街路を含む）の表示色は変更することができます。（P.4-7参照）。

2 全ルート表示画面

案内開始後に目的地までの全行程ルートを表示することができます。

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

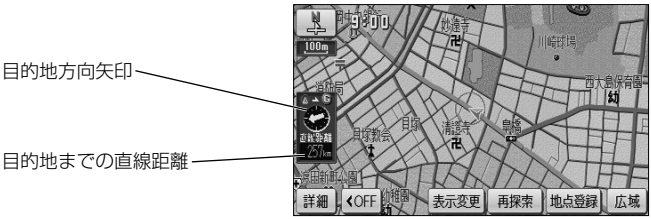
(2) 全ルート にタッチします。

● 全ルート表示画面が表示されます。
全ルート表示画面の詳細については、P.2-32を参照してください。

お知らせ

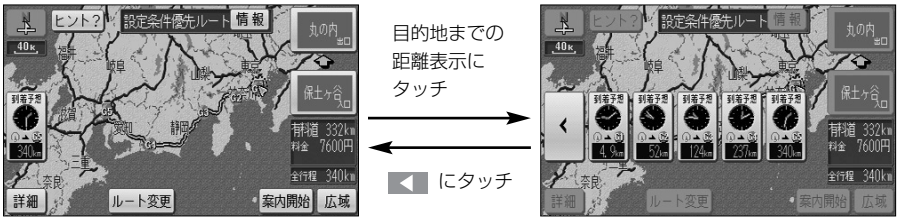
●案内開始後は 案内開始 、 5ルート は表示されません。
●表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面は、案内開始前の全ルート表示画面（P.2-32参照）と違い、走行を開始してから3秒を経過しても表示は解除されません。
●到着予想時刻と目的地までの距離表示は、自車がルート上に存在しないときは表示されません。
この場合は目的地の方向を示す矢印と、目的地までの直線距離を表示します。

自車がルート上にないときの地図



お知らせ

目的地が3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示（自車がルート上に存在しないときは目的地までの直線距離）にタッチすると、それぞれの目的地までの到着予想時刻と距離が一覧表示されます。表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの到着予想時刻と距離の表示に切り替わります。 ◀ にタッチすると一覧表示は解除されます。



3 案内拡大図表示

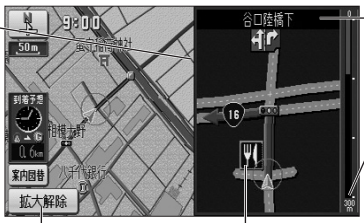
分岐点に接近すると自動的に案内分岐点の拡大図が表示されます。また、解除したあとも再表示することができます。

●交差点拡大図

ルート案内中、一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ300mまで接近すると、交差点周辺の地図を拡大表示します。

①交差点の拡大図
交差点付近の地図を拡大表示します。拡大図は3Dまたは2Dに切り替えることができます（P.4-1参照）。
また、一部の交差点では立体描画した立体交差点拡大図を表示します。

②拡大解除スイッチ
拡大解除 にタッチすると、交差点拡大図の表示を解除します。
再表示するには [A] を押します。



⑤交差点名称
案内する交差点に名称を表示します。

④分岐点までの距離
自車から分岐点までの残距離を表示します。

③施設マーク
分岐点周辺に存在する施設のマークを表示します。

お知らせ

- ●交差点拡大図の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- ●拡大図の再表示は、分岐点を通過する前に行うことができます。
- ●名称のない交差点では、交差点名称は表示されません。

●立体交差点拡大図

ルート案内中、立体交差点情報のある交差点では、立体交差点拡大図を表示します。

●ハイウェイ入口案内画面

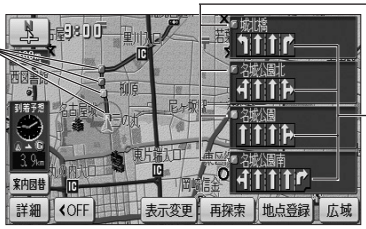
ルート案内中、都市高速道路の入口付近に接近するとハイウェイ入口案内画面を表示します。

①料金案内
料金所（入口、出口、本線上）に接近すると通行料金を表示します。

●レーンリスト図画面

ルート案内中、一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ700mまで接近すると、案内分岐点までに存在する交差点の車線情報をリスト形式で表示します。

①案内ポイントマーク
車線情報を表示している交差点にマークを表示します。



②通過交差点名称
車線情報を表示している交差点の名称を表示します。

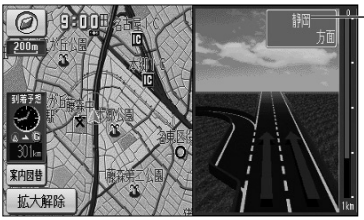
③車線案内
ルート上で、案内分岐点までに通過する交差点の車線情報を表示します。

お知らせ

- ●料金案内の表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- ●案内する料金は、ETCなどの割引前の料金です。
- ●レーンリスト図画面の自動表示は、ナビ設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- ●案内分岐点に300mまで接近したあとに Ⓐ を押した場合は、交差点拡大図が再表示されます。
- ●案内ポイントマークは、車線情報を表示する交差点ごとに色分けして表示されます。
  - ・■（赤色） 案内拡大図が表示される交差点 ・■（橙色／桃色／緑色） 車線案内される交差点

●3D高速分岐案内画面

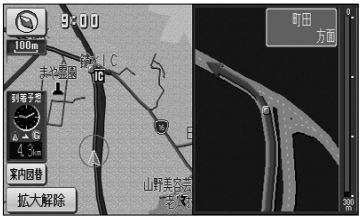
ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると3Dの案内拡大図を表示し、走行する車線を案内します。



①方面名称案内

ＩＣの出口名称やＪＣＴでの進行方向、進行方向の路線番号を表示します。
ＳＡ・ＰＡに接近した場合は施設の名称を表示します。

有料道路、および高速道路の一部のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点で簡易的な拡大図が表示されます。



お知らせ

- ●方面名称案内は、高速道路上の看板の表示とは必ずしも一致しない場合があります。
- ●3D高速分岐案内画面は、ナビ設定の「高速分岐模式図自動表示」で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。

●料金所レーン拡大図

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。

お知らせ

- ●料金所レーン拡大図の自動表示は、ナビ設定の「料金所レーン案内」で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-1参照）。
- ●画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。
- ●レーンの種類によって表示されるマークは異なります。
  - ・E ETC専用レーン
  - ・混 ETC/一般混在レーン
  - ・般 一般レーン
  - ・? 種類が不明なレーン
  - ・同じ種類のレーンが4つ以上続くため、省略して表示することを表します。
  - ・表示されているレーンの他に、続きのレーンがあることを表します。

●案内図の切り替え

ルート案内中、一般道路を走行中に交差点拡大図とレーンリスト図の表示の切り替えや、高速道路を走行中に高速分岐案内画面と高速略図画面（P.2-24参照）の表示の切り替えを行うことができます。また、料金所の手前で料金所レーン拡大図を表示できます。

（1） 案内図が表示されているときに 案内図替 にタッチします。

- 案内図を切り替える画面が表示されます。

お知らせ

案内図が表示されないときは、 案内図替 は表示されません。また、表示される案内図が1つのみの場合は、 案内図替 にタッチするごとに案内図の表示・解除を行うことができます。

（2） 表示したい案内図のスイッチにタッチします。

■一般道路を走行しているとき

- 拡大図 にタッチすると交差点拡大図を表示します。
- レーンリスト にタッチするとレーンリスト図を表示します。
- 料金所レーン をタッチすると料金所レーン拡大図が表示されます。

■高速道路を走行しているとき

- 分岐図 にタッチすると高速分岐案内画面を表示します。
- 高速略図 にタッチすると高速略図画面を表示します。
- 料金所レーン をタッチすると料金所レーン拡大図が表示されます。
- 案内図を解除して、地図を表示する場合は、 地図 にタッチします。

お知らせ

表示することが可能な場合にのみ、（2）の画面に案内図のスイッチが表示されます。

4 都市高マップ

ルート案内中、自車が都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）の本線上を走行すると都市高マップを表示することができます。一般道路を表示しないため、複雑な都市高速道路をわかりやすく表示します。

（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

（2） 都市高マップ表示 にタッチします。

- ナビ設定で都市高マップ自動表示を「する」に設定（P.4-1参照）している場合、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップが表示されます。（ 200m から 1.6k の地図表示時）
  ただし、案内ルート上を走行していない場合は表示されません。
- 都市高マップ解除 にタッチすると、都市高マップが解除されます。

お知らせ

- ●都市高マップが表示されるのは、地図縮尺が 200m から 1.6k までの間のみです。
  それ以外の地図縮尺を表示している場合や、縮尺切り替えにより 200m より詳細な縮尺、
  または 1.6k より広域な縮尺に切り替えた場合は通常の地図が表示されます。
- ●一般道路、都市間高速道路、有料道路に進入した場合、都市高マップは自動的に解除され、通常の地図を表示します。
- ●ジャンクション、出入口ランプ全ての名称が表示されるわけではありません。
- ●都市高マップの表示設定は、次回のルート案内でも前回と同じ設定になります。
- ●都市高マップが自動で解除されても、設定は変更されません。

案内をもう一度聞きたいときは

ルート案内中に案内がよく聞きとれなかった場合や、次の分岐点までの情報を聞きたい場合、再び音声案内を聞くことができます。
また、交差点拡大図などの案内拡大図を解除したあとに再び案内拡大図を見たい場合、再表示することができます。

（1） 現在地画面（P.2-12参照）から [▲] を押します。

- 現在の自車位置に相当した距離で音声案内を行います。
- 案内分岐点の手前約300m以内で [▲] を押すと音声案内とともに案内拡大図（P.2-36参照）が表示されます。

お知らせ

- ルート上を走行していないときは、音声・案内拡大図は表示されません。
- 案内音量が 消音 では [▲] を押しても音声は発声されません。
  「案内の音量を調節するには」（P.3-25参照）を参考に、聞きやすい音量に調節してください。
- 案内拡大図は、案内分岐点を通過すると再表示できません。
- 自動的に行われる音声案内と [▲] 押下による音声案内では、距離の案内が一致しない場合があります。

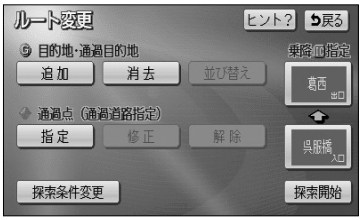
メモ

目的地を追加・並び替え・消去するには

目的地を設定したあとに、さらに目的地を追加することができます。また、目的地の順序を並び替えたり、消去することができます。

1 目的地を追加するには

(1) 現在地画面で 再探索 にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で ルート変更 にタッチします。



(2) 目的地・通過目的地の 追加 にタッチします。

(3) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

- 名称 P.3-26
- 住所 P.3-35
- ジャンル P.3-30
- 電話 P.3-32
- 登録リスト P.3-37
- お出掛け P.3-42
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

● 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。

● 自宅 にタッチすると、自宅周辺の地図が表示されます。

● 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

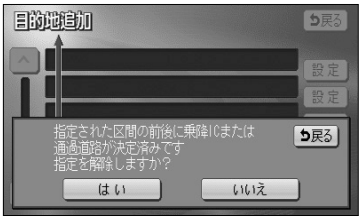
(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) 目的地セット にタッチすると の位置に目的地が設定されます。

● 目的地は最大5ヵ所まで設定することができます。

● すでに目的地が5ヵ所設定されている場合は、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください（P.3-6参照）。

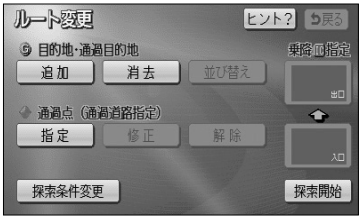
(6) 追加する区間の 設定 にタッチすると、ルート探索が開始されます。



(7) 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

● はい にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。

● いいえ にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。



(8) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。目的地をさらに追加する場合はP.3-4の(2)の操作を行ってください。

● 設定した目的地が G1 ～ G5 の記号で表示されます。

お知らせ

複数の目的地を設定した場合の全ルート表示画面に 5ルート は表示されません。

2 目的地を任意地点にワンタッチで追加する

(1) 目的地が設定されているときに、地図スクロール、広域 または 詳細 操作により目的地を設定したい位置に ✛ を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 目的地セット にタッチします。

(2) ⇧ にタッチすると、地図が移動して ✛ の位置を変更することができます。

(3) 追加目的地 にタッチすると ✛ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

● 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。

● 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-28を参照してください。

お知らせ

●ワンタッチで追加した目的地は、G1 として（一番手前の目的地）設定されます。
目的地の順番を変更したい場合は、P.3-5の**「目的地の順序を並び替えるには」**を参照してください。

●乗降ＩＣが指定されているときは（P.3-13参照）、適正なルートを探索するため、指定されているＩＣが自動的に解除される場合があります。

3 地図索引機能を使って目的地を追加する

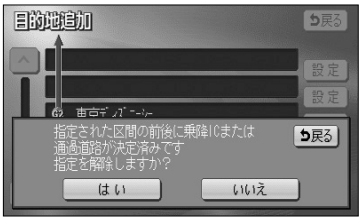
（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） P.3-1の **1** の（3）～（4）の操作を行います。

（3） **追加目的地** にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- **新規目的地** にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。P.2-31を参照してください。

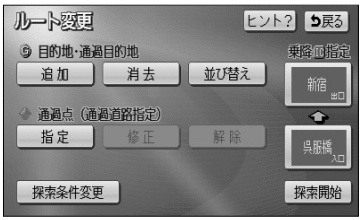
（4） 追加する区間の **設定** にタッチすると、ルート探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。



（5） 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- **いいえ** にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。

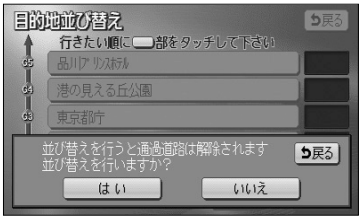
4 目的地の順序を並び替えるには



（1） 目的地を追加後、P.3-1の **1** の（2）の画面で目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチします。

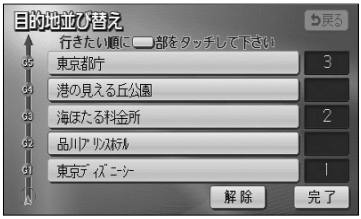
お知らせ

目的地が複数設定されていないと使用できません。



（2） 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の並び替えを行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の並び替えを中止して、前の画面に戻ります。



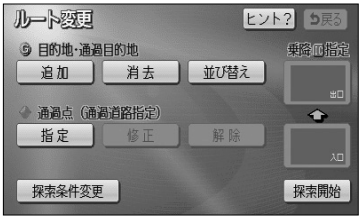
（3） 目的地の名称を通過したい順にタッチします。

- タッチした目的地の名称が強調表示され、通過順序が番号で表示されます。
- 設定を解除するには、 **解除** にタッチするか、解除したい目的地の名称にタッチします。

（4） 設定が良ければ **完了** にタッチします

お知らせ

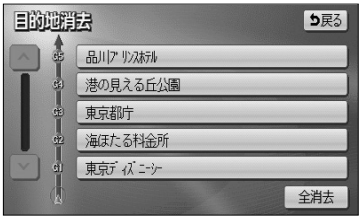
目的地の通過順序が確定してから3秒間無操作状態が続いたときは、自動的にP.3-6の（5）の画面が表示されます。



(5) 探索開始 にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

5 目的地を指定して消去するには

(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で 目的地消去 にタッチします。
あるいは、P.3-1の 1 の（2）の画面で、目的地・通過目的地の 消去 にタッチします。



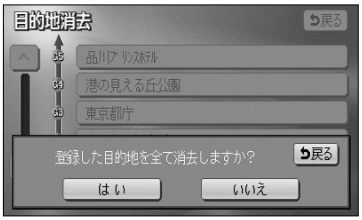
(2) 消去したい目的地の名称にタッチします。

- 全ての目的地を消去するときは 全消去 にタッチします。

お知らせ

目的地が複数設定されていないと、目的地を選択する（2）の画面は表示されません。

(3) はい にタッチすると目的地が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。



(4) 乗降ＩＣ（P.3-13参照）または通過道路（P.3-8参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- **はい** にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の消去を行います。
- **いいえ** にタッチすると、目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。

6 次に通過する予定の目的地をワンタッチで消去するには

(1) 現在地画面(P.2-34参照)で **再探索** にタッチします。

(2) **次の G 消去** にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

お知らせ

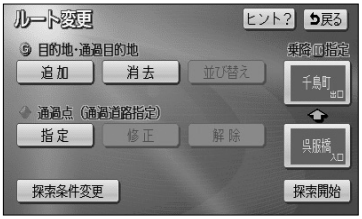
目的地が複数設定されていないときは使用できません。

通過道路を指定・修正・解除するには

目的地が設定されているときに、通りたい道路を指定することができます。
また、指定した通過道路の位置を修正したり、解除することができます。

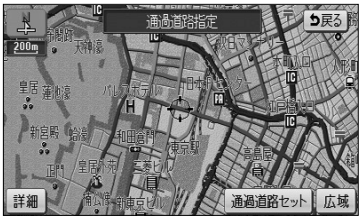
1 通過道路を指定するには

(1) 現在地画面で 再探索 にタッチしたあとの画面、または全ルート表示画面で ルート変更 にタッチします。



(2) 通過点（通過道路指定）の 指定 にタッチします。

- 通過道路は2ヵ所まで設定することができます。
- すでに通過道路が2ヵ所設定されている場合は、設定されている通過道路を解除してから設定しなおしてください（P.3-11参照）。

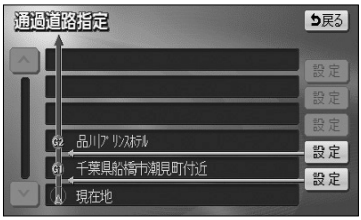


(3) 地図スクロール、 広域 または 詳細 操作により通過道路を設定したい位置に ✛ を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 通過道路セット にタッチします。

(4) 次候補 にタッチして◆マークの位置を切り替え、通過したい道路上に◆マークが移動したら セット にタッチします。

お知らせ

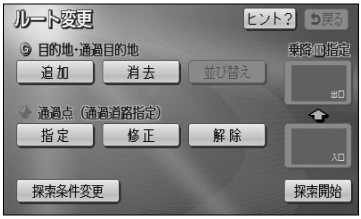
表示されている地図に道路の表示が少ない場合は、 次候補 にタッチしても◆マークの位置が切り替わらないことがあります。



(5) 設定したい区間の 設定 にタッチします。

お知らせ

- 1ヵ所目の通過道路で、複数の目的地および乗降ＩＣが設定されていない場合は、区間を設定する画面は表示されません。
- 乗降ＩＣが指定されているときに（P.3-13参照）、乗降ＩＣの直前または直後の 設定 にタッチすると、適切なルートを探索するため、指定されているＩＣは自動的に解除されます。



(6) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。2ヵ所設定する場合は（1）の操作を行ってください。

- 設定した通過道路が❶または❷の記号で表示されます。

2 全ルート表示画面から通過道路を指定するには

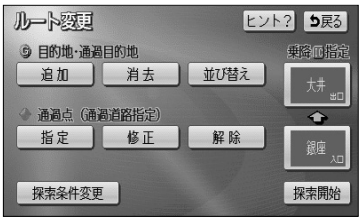
全ルート表示画面からも通過道路を指定することができます。

（1）全ルート表示画面(P.2-32参照)で地図スクロール、広域 または 詳細 操作により通過道路を設定したい位置に を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 通過道路指定 にタッチします。

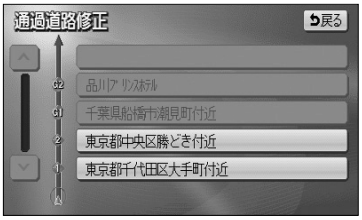
（2）P.3-9の 1 の（4）、（5）の操作を行います。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。2ヵ所設定する場合は（1）の操作を行ってください。

3 通過道路の位置を修正するには



（1） 通過道路指定後、P.3-8の 1 の（2）の画面で、通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチします。



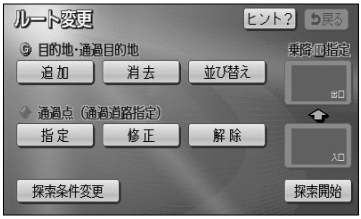
（2） 修正したい通過道路の名称にタッチします。

お知らせ

通過道路が2ヵ所設定されていないときは、通過道路を選択する画面は表示されません。

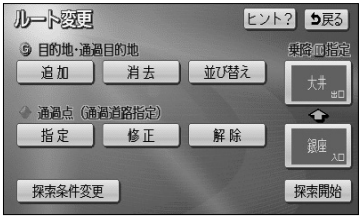
（3） 修正したい位置に を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 通過道路セット にタッチします。

（4） P.3-9の 1 の（4）の操作を行います。

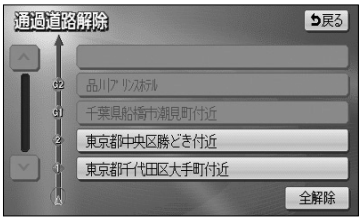


(5) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

4 通過道路を解除するには



(1) 通過道路指定後、P.3-8の 1 の（2）の画面で、通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチします。



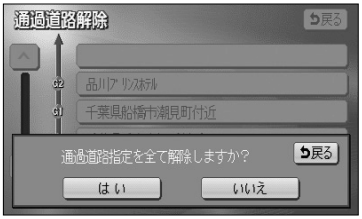
(2) 解除したい通過道路の名称にタッチします。

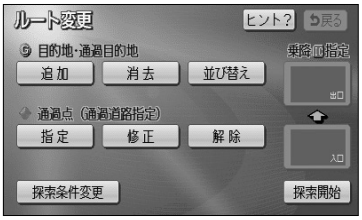
- 全ての通過道路を解除するときは 全解除 にタッチします。

お知らせ

通過道路が2ヵ所設定されていないときは、通過道路を選択する（2）の画面は表示されません。

(3) はい にタッチすると通過道路が解除されます。
いいえ にタッチすると通過道路の解除を中止して、前の画面に戻ります。





(4) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

5 次に通過する予定の通過道路をワンタッチで解除するには

(1) 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。

(2) 次の◆解除 にタッチします。

● 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

アドバイス

●次に通過するのがP.3-13で設定した乗降ＩＣの場合は IC指定解除 が表示され、次に通過するＩＣを解除することができます。

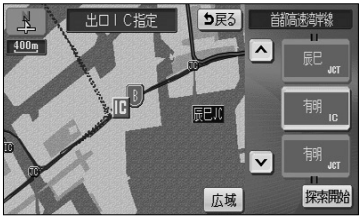
●目的地が複数設定されているときは 次のＧ消去 が表示され、次の目的地を消去することができます。

乗降ＩＣを指定するには

全ルート表示画面に表示されている乗降ＩＣを変更することができます。

（1） 全ルート表示画面(P.2-32参照)またはP.3-1の**1**の（2）画面で、変更する乗降ＩＣ名称にタッチします。

● ＩＣを指定する画面が表示されます。現在指定されているＩＣ付近の地図が左画面に表示され、IC名称のスイッチが右画面に表示されます。



（2） 右画面に表示されているＩＣの路線から指定したいＩＣ名称にタッチします。

● ▲ ・ ▼ 、 次路線 にタッチすると現在設定されているＩＣ付近のＩＣを検索することができます。

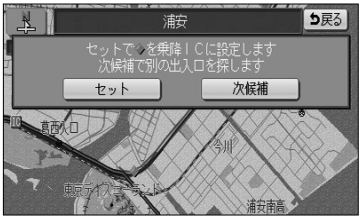
● ＩＣ名称にタッチすると、タッチしたＩＣ名称付近の地図が左画面に表示されます。

● 左画面の地図にタッチして地図を移動すると、地図の中心付近のＩＣ名称が右画面に表示されます。

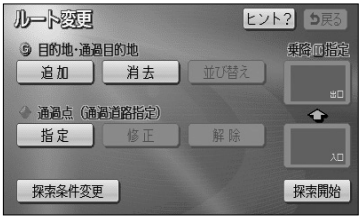
（3） 探索開始 にタッチします。

● すでに乗降ＩＣを設定している場合は、 入口解除 または 出口解除 にタッチすると設定が解除されます。

●（1）で全ルート表示画面の乗降ＩＣ名称にタッチして設定を行ったときは、探索完了後に全ルート表示画面が表示されます。



(4) 指定したＩＣに複数の出入り口が存在する場合は、出入り口を選択する画面が表示されます。
次候補 にタッチして ◆ マークの位置を切り替え、指定したい出入口に ◆ マークが移動したら セット にタッチします。



(5) ルート変更画面から設定した場合には、 探索開始 にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

● 指定した乗降ＩＣ名称が表示されます。

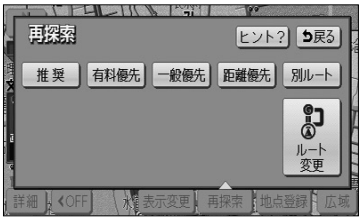
ルートの再探索

ルート案内中（ルートからはずれたときも含む）現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索を行うことができます。

1 案内ルートの種類を変更するには

現在、案内されているルート種類と違うルート種類に変更して次の地点（目的地、通過道路）まで探索することができます。

（1） 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。



（2） 変更したい探索条件にタッチします。

- 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

アドバイス

別ルート は、表示されているルートと異なるルートを、探索条件を変えずに探索したいときにタッチします。

2 迂回するルートを探索するには

自車前方のルートを迂回したルートを探索することができます。

（1） 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。

（2） 周辺迂回 にタッチします。

お知らせ

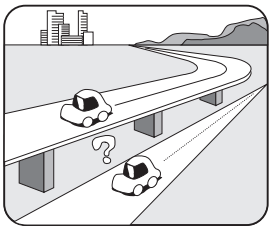
ルート上を走行しているときのみ利用可能です。迂回しないルートが表示されるときもあります。

3 案内される道路種別が違ったら

高速道路と一般道路が上下あるいは並行のまましばらく続くような道路を走行中に、高速道路を走行しているのに一般道路の方が案内ルートになっている、またはその逆の場合は次の方法で探索をやり直してください。

（1） 現在地画面(P.2-34参照)で 再探索 にタッチします。

（2） 一般道から探索 にタッチすると、一般道路からルートが探索されます。
有料道から探索 にタッチすると、高速道路からルートが探索されます。

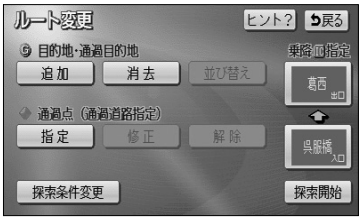


お知らせ

道路形状により、機能しない場合もあります。

区間ごとの探索条件を設定するには

目的地、通過道路、乗降ＩＣ の区間ごとに、探索条件を設定することができます。



（1） P.3-1の **1** の（2）画面で、 探索条件変更 にタッチします。

（2） それぞれの区間の探索条件にタッチします。

● 設定された探索条件が強調表示されます。

（3） 探索開始 にタッチすると探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。

ルートの詳細情報を確認するには

目的地までのルートで使用する道路の名称、高速道路のＩＣ、料金所などの一覧を表示させることができます。

（1） 全ルート表示画面(P.2-32参照)で 情報 にタッチします。

（2） ルート情報画面が表示されます。

- 道路種別の変わり目、目的地、料金所などでルートを分割し、それぞれの地点で通過予想時刻、料金などが表示されます。
- 各区間のルートには、道路名称、区間距離が表示されます。
- 地図 にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

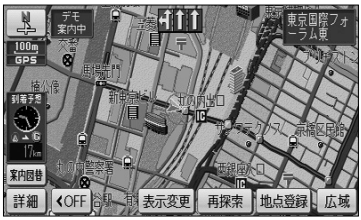
お知らせ

●ルート情報画面のまま走行を開始しても、自車マークの位置は更新されません。
●料金所の種類によって表示されるマークは異なります。
- ¥ 料金所
- 検 検札所
- 発券所

デモでルートを確認するには

目的地に到着するまでのルート案内デモを行うことができます。

(1) 目的地を設定し、ルート探索終了後に表示される全ルート表示画面(P.2-32参照)で 案内開始 をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
目的地に到着するまでのルート案内のデモを行います。



(2) [▲] を押すとデモを終了します。

● 以下のボタンを押した場合にもデモを終了します。

[⚑]、[♪]

お知らせ

- ●表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面(P.2-35参照)からはデモは行えません。
- ●ルート案内デモ中に走行を開始した場合、デモは終了しルート案内を開始します。

オンルートスクロールを使うには

ルート案内中に、画面に表示されているルートに沿って目的地や出発地までの連続地図スクロールを行ってルートを確認することができます。また、ルート沿いに存在する施設を検索し情報を見ることができます。

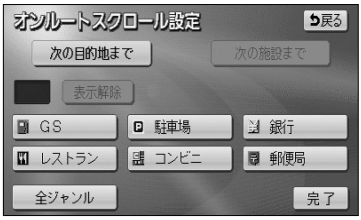
1 目的地または出発地までのオンルートスクロールを行うには

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) オンルートスクロール にタッチします。

● オンルートスクロール画面が表示されます。

(3) 設定 にタッチしてオンルートスクロール設定画面を表示します。



(4) 次の目的地まで にタッチし、 完了 にタッチします。

● 初期設定は、「次の目的地まで」に設定されています。

● 一度設定すると次回設定が変更されるまで保持されます。

(5) ● ▶G にタッチすると、目的地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。

● S◀ にタッチすると、出発地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶▶G にタッチすると、目的地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。

● S◀◀ にタッチすると、出発地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶|G にタッチすると、次の目的地へスクロールがジャンプします。

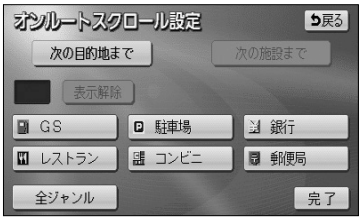
● S|◀ にタッチすると、出発地または出発地方向に存在する目的地（目的地を複数設定している場合）へスクロールがジャンプします。

● ❚❚ にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。

お知らせ

- ●画面内に案内ルートが表示されていない場合は連続地図スクロールできません。
- ●走行中はスクロールジャンプのみ行うことができます。
- ●地図縮尺、地図向きを切り替えた場合は連続地図スクロールが停止します。

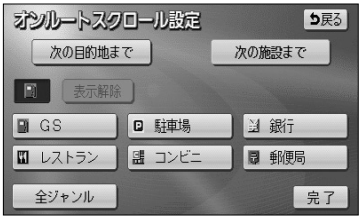
2 次の施設までのルートを確認するには



(1) P.3-20の 1 の（4）の画面で希望の施設にタッチします。

● 全ジャンル にタッチすると施設ジャンルのリスト画面が表示されます。

● 施設にタッチすると 次の施設まで のタッチスイッチが選択できるようになります。



(2) 次の施設まで にタッチし、 完了 にタッチします。

- ▶G にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。
- S◀ にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。
- ▶▶G にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。
- S◀◀ にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。
- ▶|G にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。
- S|◀ にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。
- ❚❚ にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。
- 次の施設までのスクロールが行われ、施設に到着すると施設名称が表示されます。

お知らせ

●P.3-20の 1 の(4)の画面に表示される6つの施設ジャンルは変更することができます（P.4-3参照）。

●次の施設までのオンルートスクロール、およびジャンプスクロールは、 800m および 800m より詳細の地図表示のときに行うことができます。

走行軌跡について

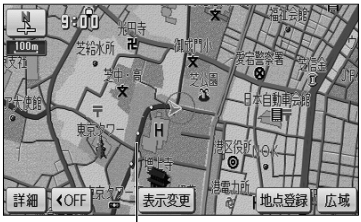
1 走行軌跡の表示

走行した道路を約200 km分保存し、軌跡を表示することができます。

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 走行軌跡表示 にタッチします。

- 走行軌跡が表示されます。
- 初期設定はOFF(非表示)になっています。



走行軌跡

お知らせ

- 保存できる距離を越えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存しなおします。
- 25 m～50 kの縮尺で表示させることができます。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

2 走行軌跡の消去

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 走行軌跡解除 にタッチします。

- はい にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡と保存されている軌跡の情報が消去されます。
- いいえ にタッチすると、地図に表示されている走行軌跡は消去されますが、保存されている軌跡の情報は消去されません。
  保存されている軌跡の情報を再表示するには、「1 走行軌跡の表示」をご覧ください。

ルート案内を中止・再開するには

設定されているルートの案内が不要の場合、ルート案内を一時中断することができます。
再びルート案内を必要とする場合は、案内を再開することができます。

（1） 設定画面（P.2-8参照）を表示します。

- 案内中は **案内中止** が表示され、案内中止状態のときは **案内再開** が表示されます。

（2） **案内中止** にタッチすると案内を中止します。

- 案内を再開するときは **案内再開** にタッチします。

アドバイス

- 案内中止状態のときはルート表示は行われません。
- 設定した目的地や通過道路は消去されないので、裏道を使うときや道に詳しい地域を走行するときに利用すると便利です。
- 音声による案内のみが不要の場合は、ナビ設定（P.4-1参照）の「自動音声案内」を「しない」に設定してください。

案内の音量を調節するには

音声案内の音量を7段階に調節することができます。案内音声を一時的に消すこともできます。

1 案内の音量を調節するには

(1) 設定画面（P.2-8参照）で 音量設定 にタッチします。

(2) 小、・、・、中、・、・、大 のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。

- 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
- タッチしたタッチスイッチが強調表示されます。
- 消音 にタッチすると、案内音量ＯＦＦになります。

お知らせ

案内音量を 消音 にタッチすると、「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。

作動表示灯

(1) 設定画面（P.2-8参照）で 音量設定 にタッチします。

(2) 高速時の自動音量切替 にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。

- 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯し、設定ONになります。

お知らせ

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が 消音 のとき、または案内音量が 大 に設定されているときは音量は切り替わりません。

50音で地図を表示するには

施設名称の読み仮名を入力して位置を検索し、該当の地図を表示します。
読み仮名入力で検索したあとに、さらにジャンル別、都道府県別、地域別に検索することもできます。

▼ 以下に目的地設定を50音で地図を表示して行う場合について説明します。

1 50音で地図を表示するには

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）を表示します。

● または、ナビメニューで **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **名称** にタッチします。

（3） 施設名称を1文字ずつタッチして入力します。

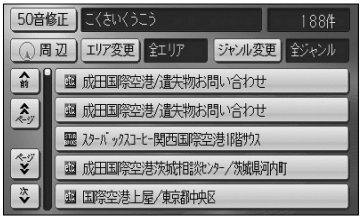
● 修正するときは **修正** にタッチすると1文字ずつ消去されます。

● 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力することができません。

● 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。

（4） **完了** にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称がリストで表示されます。

● **完了** にタッチしなくても、検索される施設の件数が5件以下で、10秒間無操作状態が続いたときは自動的に施設名称のリストを表示します。



(5) 表示したい施設名称にタッチします。

- 50音修正 にタッチすると、(2) の画面に戻ります。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携P が表示されます。

(6) 施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示するには 提携P にタッチします。

アドバイス

情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。

(7) 入庫可能な駐車場が存在すると、駐車場名称がリスト表示されます。

- 施設の専用駐車場には P (青色) で、提携駐車場には P (緑色) の記号で表示します。
- 駐車場名称にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。
- 各駐車場の 地図 にタッチすると、駐車場周辺の地図を表示します。

アドバイス

●入庫可能な駐車場の検索は、P.4-16で設定した車両情報に基づいて行われます。
●車両の長さ、幅、高さを設定することで、入庫可能な駐車場を検索することができます。

2 ジャンル別検索をするには

（1） P.3-27の 1 の（5）の画面で ジャンル変更 にタッチします。

（2） 表示したい施設のジャンルにタッチします。

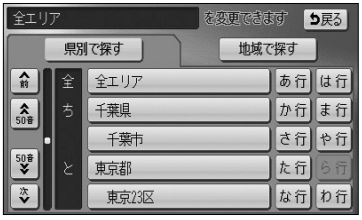
- 全ジャンル にタッチすると、P.3-27の 1 の（5）の画面を表示します。この場合、ジャンルの指定は行われていません。

アドバイス

表示したいジャンルとして 住所 を選択して周辺の地図を表示すると 住所一覧 が表示されます。 住所一覧 にタッチすると周辺の住所から地図を表示することができます。P.3-33を参照してください。

3 エリア別検索をするには

（1） P.3-27の 1 の（5）の画面で エリア変更 にタッチします。



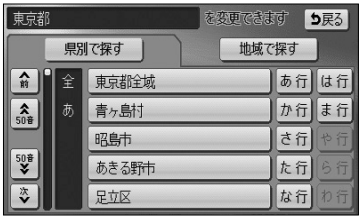
（2） 県別で探す または 地域で探す により、検索する種類を選択できます。

- 選択されている種類のタッチスイッチは強調表示されます。

（3） 都道府県から検索するには 県別で探す にタッチします。

（4） 施設のある都道府県名にタッチします。

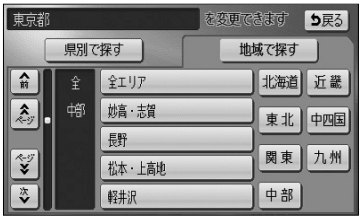
- 全エリア にタッチすると、P.3-27の 1 の（5）の画面を表示します。この場合、都道府県の指定は行われていません。



(5) 施設のある市区町村名にタッチします。

● ○○全域 にタッチすると、P.3-27の 1 の (5) の画面を表示します。この場合、都道府県レベルで検索することができます。

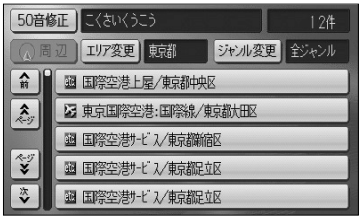
(6) 主な地域から検索するにはP.3-28の 3 の (2)の画面で 地域で探す にタッチします。



(7) 施設のある地域名にタッチします。

● 全エリア にタッチすると、P.3-27の 1 の (5) の画面を表示します。この場合、地域の指定は行われていません。

4 自車周辺の施設に絞り込むには



(1) P.3-27の 1 の (5) の画面で 周辺 にタッチします。

● 自車位置の都道府県のエリアに存在する施設名称がリスト表示されます。

施設で地図を表示するには

ゴルフ場、スキー場、キャンプ場などの施設名称から周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を施設（空港）から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **ジャンル** にタッチします。

- ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **ジャンル** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)。

（3） 表示したい施設のジャンルにタッチします。
（ここでは **空港** にタッチします）

- 表示されている施設以外のジャンルは **その他** にタッチすると表示され、表示したい施設ジャンルを選択することができます。

（4） 施設のある都道府県名にタッチします。

- 選択したジャンルによっては、**全国の○○** が表示されます。
  全国の○○ にタッチすると全国の施設名称を50音順でリスト表示することができます。

(5) 表示したい施設にタッチします。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

- 情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携 P が表示されます。 提携 P にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-27を参照してください。

電話番号で地図を表示するには

市外局番とそれに続く加入者番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を電話番号（0561-39-＊＊＊＊）から地図を表示して行う場合について説明します。

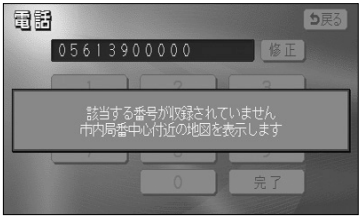
（1） ナビメニュー（P.2-7参照）を表示します。

- または、ナビメニューで **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **電話** にタッチします。

（3） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。
- 市外局番と市内局番を入力しただけでも周辺の地図を表示できます。



（4） **完了** にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると地図を表示します。
  入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
  入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

- 情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.3-47を参照してください。
- 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携 P が表示されます。 提携 P にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-27を参照してください。

- 該当地点が存在しない場合（市内局番周辺の地図が表示されたとき）は 住所一覧 が表示されます。

(5) 周辺の住所から地図を表示するには 住所一覧 にタッチします。

(6) 表示させたい地名にタッチします。

- ○○主要部 にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 番地指定 にタッチすると番地を指定することができます（P.3-36参照）。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。

郵便番号で地図を表示するには

郵便番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を郵便番号（460-0000）から地図を表示して行う場合について説明します。

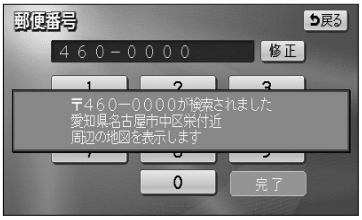
（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **郵便番号** にタッチします。

- ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **郵便番号** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)

（3） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 7桁全ての郵便番号を入力します。
- 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。



（4） **完了** にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると周辺の地図を表示します。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 周辺の住所から地図を表示するには **住所一覧** にタッチします。P.3-33を参照してください。

お知らせ

超高層ビル、事業所などの個別に割りあてられた郵便番号から地図を表示した場合は、**住所一覧** は表示されません。

住所で地図を表示するには

住所から周辺の地図を表示することができます。番地を指定することにより、詳細な住所の検索ができます。

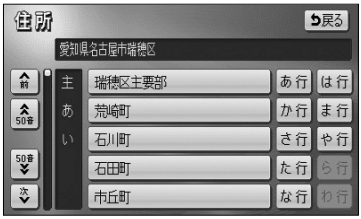
▼ 以下に目的地設定を住所から地図を表示して行う場合について説明します。

1 住所で地図を表示するには

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）を表示します。

● または、ナビメニューで **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **住所** にタッチします。



（3） 都道府県名、市区町村名、大字名、小字名の順で表示させたい地名をタッチします。

● **○○主要部** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

2 番地を指定して地図を表示する

（1） P.3-35の 1 の（3）で、小字名にタッチしたあと、 番地指定 にタッチすると番地を指定することができます。

（2） 数字と－を１つずつタッチして番地を入力します。

- 123番地45号を入力する場合、「123－45」と入力してください。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１つずつ消去されます。

（3） 完了 にタッチすると周辺の地図を表示します。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 複数の番地が存在する場合は 周辺住所 が表示されます。

（4） 周辺住所 にタッチすると番地の候補がリスト表示されます。

- リスト最上部の番地（矢印で表示）の位置が、右画面の地図上に のマークで表示されます。
- 表示したい番地にタッチすると、周辺の地図を表示します。

メモリ地点で地図を表示するには

すでに登録済みのメモリ地点から、周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をメモリ地点から地図を表示して行う場合について説明します。

(1) ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

(2) **登録リスト** にタッチします。

● ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **登録リスト** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)

お知らせ

メモリ地点が登録されていないときは使用できません。

(3) 表示したいメモリ地点にタッチします。

● メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。

- **種別順** にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並びかわります。
- **マーク順** にタッチすると記号の種類別に並びかわります。
- **登録順** にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

履歴で地図を表示するには

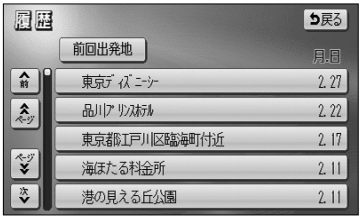
一度設定した目的地は20件分まで自動的に記憶され、その履歴から地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を履歴から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **履歴** にタッチします。

● ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **履歴** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



（3） 過去の目的地から、表示したい目的地の名称をタッチします。

● **前回出発地** にタッチすると、前回出発地の地図が表示されます。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

お知らせ

●履歴は最近設定した目的地を20件まで記憶しています。
20件を超えると古い順に消去されます。必要な地点はメモリ地点に登録（P.4-20参照）してください。
●履歴で地図を表示したあと、同一地点に目的地を設定した場合は、設定した日付のみが更新されます。
●履歴を消去する場合はP.4-17を参照してください。

マップコードで地図を表示するには

最大13桁（＊を含む）のマップコードから地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をマップコード（6151454＊＃＃）から地図を表示して行う場合について説明します。

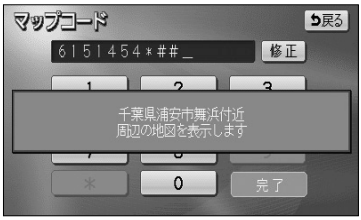
（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **マップコード** にタッチします。

● ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **マップコード** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)

（3） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 修正するときは **修正** にタッチすると1番号ずつ消去されます。



（4） **完了** にタッチすると検索を開始します。

● 検索が成功すると周辺の地図を表示します。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

マップコードは、メモリ地点修正画面（P.4-22参照）の位置名称の下にも表示されます。

お知らせ

●マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定しにくいところも特定することができるようになります。

●標準マップコード（6～10桁）のあとに＊を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。

●マップコードについては、http://www.e-mapcode.comで紹介されています。そちらをご覧ください。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

周辺施設で地図を表示するには

現在地や目的地周辺に存在する施設の地図を表示することができます。

●メモリ地点登録（P.4-21参照）、迂回メモリ登録（P.4-33参照）、販売店設定（P.5-13参照）で行うことができます。

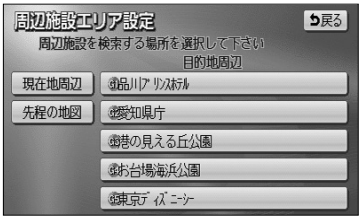
▼以下にメモリ地点登録を周辺施設から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） メモリ地点登録画面（P.4-21参照）で 周辺検索 にタッチします。

（2） 検索したい施設のジャンルにタッチします。

- 施設のジャンルは5つまで選択することができます。
- 間違えたときは 選択解除 にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。
- 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

（3） エリア にタッチすると、周辺施設を検索するエリアを選択する画面が表示されます。



- すでに設定している目的地の周辺施設を検索したい場合は、リストの中から検索したい目的地にタッチします。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。

お知らせ

目的地を設定している場合にのみ、目的地のタッチスイッチが表示されます。

(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) セット にタッチします。

● 周辺施設のジャンル選択画面が表示されます。

(6) 完了 にタッチすると、検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。

● 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、 距離順 にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。

● ルート沿い考慮 にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます（P.3-49参照）。

(7) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。

● 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます（P.3-47参照）。

目的と場所から地図を表示するには

お出掛けの目的と場所から施設を絞り込み、該当の地図を表示します。

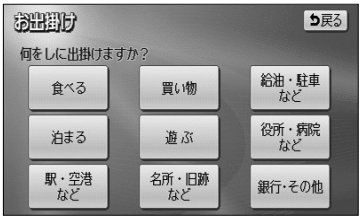
●目的地を設定するときのみ使用できます。

▼以下に目的地設定をお出掛け（東京駅周辺に食事をするため出掛ける）から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で **その他** にタッチして目的地を探す画面を表示します。

（2） **お出掛け** にタッチします。

● ナビメニューの「目的地を探す」をカスタマイズして **お出掛け** を表示する設定にした場合は、ナビメニューから直接選択できます。(P.4-18参照)



（3） まず、お出掛けの目的を選択します。
（ここでは **食べる** にタッチします）

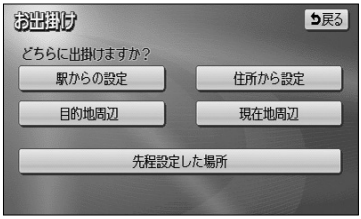
（4） 検索したい施設のジャンルにタッチします。
（ここでは **和食** と **中華** にタッチします）

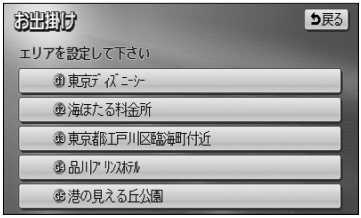
● 施設のジャンルは 1 つの目的の中から 5 つまで選択することができます。目的を選択しなおすと、選択したジャンルは解除されます。

● 間違えたときは **選択解除** にタッチすると、1 ジャンルずつ解除されます。

● 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

（5） **完了** にタッチします。





(6) 次に、お出掛けしたい場所を設定します。

- 住所から設定 にタッチすると、住所から周辺の地図を表示することができます（P.3-35の（3）参照）。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- すでに設定している目的地の周辺にお出掛けしたい場合は、 目的地周辺 にタッチすると、設定している目的地のリストが表示されます。
- リストの中からお出掛けしたい目的地にタッチします。
- お出掛けしたい場所を設定した後に目的を選択しなおしたときは、 先程設定した場所 にタッチすると、前回設定した場所に設定されます。
- ここでは、駅から場所を設定する場合について説明します。

  駅からの設定 にタッチします。

(7) 都道府県名にタッチします。

（ここでは 東京都 にタッチします）

(8) 路線名にタッチします。

（ここでは JR全線 にタッチします）

(9) 駅名にタッチします。

（ここでは 東京駅 にタッチします）

(10) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(11) セット にタッチします。

(12) 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、選択したエリアから施設までの方角と直線距離が表示されます。

- 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、 距離順 にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。
- ルート沿い考慮 にタッチするとルートの進行方向に向かって存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます（P.3-49参照）。
- 目的変更 にタッチするとP.3-42の（3）の画面に戻ります。
- 場所変更 にタッチするとP.3-43の（5）の画面に戻ります。

(13) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。

(14) 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます（P.3-47参照）。

施設ランドマークを地図に表示するには

地図上にGS（ガソリンスタンド）やレストランなどの施設のランドマークを表示することができます。また、表示している施設ランドマークの詳細情報を表示することもできます。

1 施設ランドマークを表示するには

表示させたい施設ランドマークを簡易操作で表示することができます。

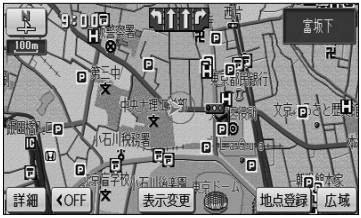
(1) 現在地画面(P.2-12参照)、または地図画面(P.2-13参照)から 表示変更 にタッチします。

(2) 周辺施設 にタッチします。

- 6つの施設ジャンルが表示されます。

(3) 表示させたい施設にタッチすると、タッチした施設ランドマークが表示されます。

- 表示されている6つの施設ジャンルは、走行中に選択（解除）・追加することができます。
- 6つの施設ジャンルを変更することができます。変更方法の詳細については、P.4-3を参照してください。
- 6つの施設ジャンル以外の施設ランドマークを表示する場合は、 全ジャンル にタッチして、次に表示された画面で複数ジャンルの施設の表示を設定することができます。
- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。
- 間違えたときは 選択解除 にタッチすると、1施設ずつ消去されます。
- 選択されている施設にタッチすると、選択されていた施設が消去されます。
- 完了 にタッチすると、選択した施設ランドマークが表示されます。

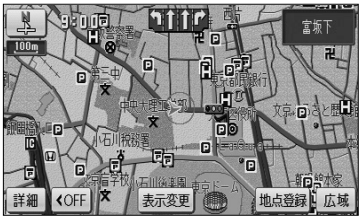


お知らせ

施設ランドマークは、 800m よりも広域な地図には表示されません。

2 施設ランドマークを消去するには

地図上に表示されている施設ランドマークを消去します。



（1） 現在地画面(P.2-12参照)、または地図画面(P.2-13参照)から 表示変更 にタッチします。

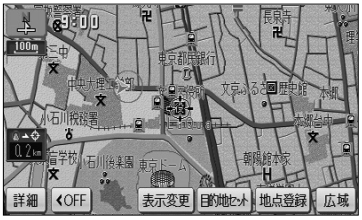
（2） 周辺施設 にタッチします。

（3） 現在選択している施設ジャンルにタッチにします。

- 走行中は、P.3-45の 1 の（3）の画面に表示されている6つの施設ジャンルのみ解除（消去）できます。
- 複数ジャンルの施設ランドマークを選択しているときに 表示解除 にタッチすると、すべて解除（消去）されます。

3 施設ランドマークの詳細情報を表示するには

地図上に表示されている施設ランドマークの名称や施設情報を表示します。



（1） 現在地画面(P.2-12参照)、または地図画面(P.2-13参照)で表示されている施設ランドマークにタッチします。

- 枠が点滅している施設ランドマークの施設名称が表示されます。

(2) 情報 にタッチすると、施設情報画面が表示されます。

- 施設の個別情報（名称、電話番号など）が表示されます。

(3) 目的地セット にタッチすると施設に目的地を設定することができます。

- 地点登録 にタッチすると、施設にメモリ地点を登録することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-31を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、施設を現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-3を参照してください。

お知らせ

- ●施設名称の表示は、約6秒間表示されると自動的に消去されます。
- ●同一の建物に複数の施設が存在し、地図上の施設ランドマークが重なることがあります。
  その場合、施設ランドマークにタッチするごとに順番に施設名称が表示されます。
- ●同一施設の部署・部門が別の施設として、個別にランドマーク表示されることがあります。
- ● Ⓐ を押して現在地画面を表示した場合、P.3-45の 1 の（3）で選択した施設ジャンルすべての施設ランドマークが地図上に表示されます。

アドバイス

メモリ地点設定、販売店設定で表示した地図より（2）の操作を行ったときの施設情報画面には セット が表示されます。 セット にタッチすると、それぞれの地点の設定を行うことができます。

近くの施設を検索するには

選択したジャンルの施設位置を検索し、表示することができます。また、案内中のルート沿いに存在する施設のみを検索し、表示することができます。

1 近くの施設を検索するには

（1） 施設ランドマークが選択されている（P.3-45参照）とき、現在地(P.2-12参照)または地図画面(P.2-13参照)で 表示変更 にタッチします。

（2） 周辺施設 にタッチします。

（3） 施設検索 にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、現在地または ⊕ マークから施設までの直線距離が表示されます。
- 現在地から表示した場合は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを表示します。
- 種類順 にタッチするとリストが記号別に表示され、 距離順 にタッチすると現在地または ⊕ マークから近い順に表示されます。

（4） 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます。(P.3-47参照)

お知らせ

- ●距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から近くの施設を検索した場合）または ⊕ マークからの直線距離（地図画面から近くの施設を検索した場合）です。
- ●検索可能なのは、現在地または ⊕ マークから半径10km以内に存在する施設で、現在地または ⊕ マークから近い順に200件までです。
- ●同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

2 ルート沿いの施設を検索するには

（1） P.3-48の 1 の（2）で 施設検索 にタッチして検索されたリスト画面で、 ルート沿い考慮 にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、ルートの進行方向に向かって存在する施設の位置および現在地からの道なり距離が表示されます。
- 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、 距離順 にタッチすると現在地から近い順に表示されます。

（2） 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの道なり距離が表示されます。

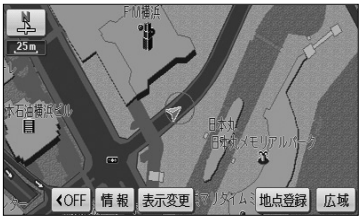
- 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます。（P.3-47参照）

お知らせ

- ●現在地画面、または地図画面上にルートが表示されていないときは、ルート沿いの施設検索は行われません。
- ●ルート沿いを考慮した施設リストに表示されるマークは、ルートの進行方向に向かった位置を示しています。
  - ・・・ルートの進行方向に向かって右側に施設が位置していることを示しています。
  - ・・・ルートの進行方向に向かって左側に施設が位置していることを示しています。
  - ・・・ルートの進行方向に向かって後ろに施設が位置していることを示しています。

建物の情報を表示するには

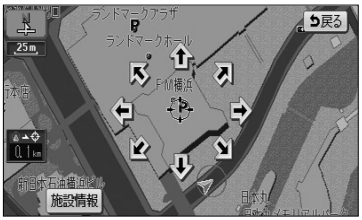
市街図を表示させたとき、建物単位での施設情報を見ることができます。



（1） 市街図を表示させます。

- 詳細は、P.2-23の「市街図を表示するには」を参照してください。

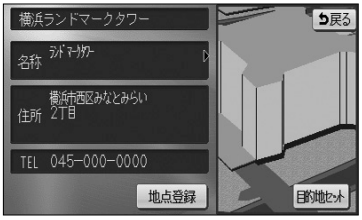
（2） 建物に⊕を合わせて **情報** にタッチします。



（3） **施設情報** にタッチします。

- 施設情報が表示されない場合や別の施設情報を表示させる場合は、⇧にタッチして⊕を移動させます。

- 右画面の市街図上に建物が立体的に表示され、施設情報が左画面に表示されます。
- 施設件数が複数存在する場合は、建物の名称や階数、建物に存在する施設件数が表示され、施設がリスト表示されます。
- 建物に複数階数がある場合は、建物内に存在するリスト最上部の施設（矢印で表示）の位置を、右画面の建物に青色で表示します。



（4） リスト表示されている施設にタッチすると左画面に施設情報画面が表示されます。施設情報画面の詳細はP.3-47の（3）を参照してください。

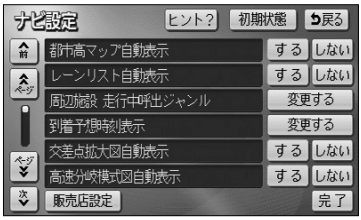
お知らせ

- 建物の情報は、市街図を表示させているときのみご覧になれます。
- 同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

ナビ設定を行うには

利用状況に応じてナビゲーションの各種の設定を変えることができます。
よく使う機能を設定しておくと便利です。

1 ナビ設定を行うには



(1) 設定画面（P.2-8参照）で ナビ設定 にタッチします。

(2) リストの項目を動かして（P.2-9参照）各機能の設定を行います。

- 各項目の設定内容については、P.4-2の 2 を参照してください。
- 初期状態 にタッチすると、全ての項目が初期設定値に戻ります（P.4-2の 2 参照）。

(3) 全ての設定が良ければ 完了 にタッチします。

お願い

販売店設定 にタッチしないでください。このスイッチは、本機をお車に取り付ける際に使用する販売店専用のスイッチです。販売店以外では操作しないでください。

2 ナビ設定の項目について（＿＿は初期値を示します）

機能名	選択項目	機能名	選択項目
都市高マップ自動表示	する／しない	料金案内	する／しない
レーンリスト自動表示	する／しない	料金所レーン案内	する／しない
周辺施設 走行中呼出ジャンル	変更する	VICS渋滞・規制音声自動発声	する／しない
到着予想時刻表示	変更する	自動音声案内	する／しない
交差点拡大図自動表示	する／しない	県境案内	する／しない
高速分岐模式図自動表示	する／しない	踏切警告	する／しない
3D交差点拡大図	する／しない	合流警告	する／しない
2D 時フロントワイド	する／しない	カーブ警告	する／しない
2D 時フロントワイド	する／しない	他モード時の案内	する／しない
右画面の地図で表示	する／しない	操作説明音声	する／しない
3D 時のルート方向アップ	する／しない	ハートフル音声	する／しない
地図カスタマイズ	変更する	居眠り防止案内	する／しない
3D俯角設定	変更する	自動再探索	する／しない
3D市街図ビル立体表示	する／しない	季節規制メッセージ表示	する／しない
立体ランドマーク表示	する／しない	車両情報設定	変更する
シーズンレジャーランドマーク表示	する／しない	目的地履歴の消去	消去する
地図スクロール時の地名表示	する／しない	ナビ補正	補正する
目的地直線表示	する／しない	フロント・コーナーカメラ設定※1	
交通事故多発地点マーク表示	する／しない		

※1 別売のフロントカメラ（P.6-4参照）またはコーナーカメラ（P.6-9参照）を装着している場合に操作できます。選択項目の詳細については、P.6-5またはP.6-10を参照してください。

●都市高マップ自動表示

ルート案内中、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップ（P.2-40参照）を表示することができます。

都市高マップ

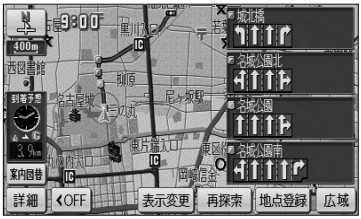
お知らせ

都市高マップは、 200m から 1.6k までの地図縮尺で表示されます。

●レーンリスト自動表示

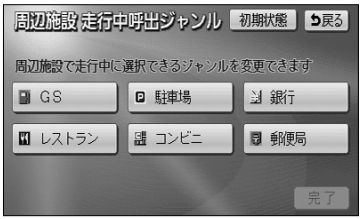
ルート案内中、案内分岐点に接近するとレーンリスト（P.2-37参照）を自動で表示することができます。

レーンリスト



●周辺施設　走行中呼出ジャンル

周辺施設（P.3-40参照）で走行中に選択できるジャンルを変更することができます。



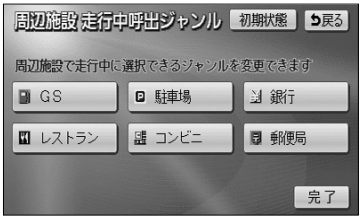
（1） ジャンルを変更する場合は、P.4-1の**1**の（2）の画面で　変更する　にタッチします。

● 現在設定中のジャンルスイッチが表示されます。

（2） 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。

● ジャンルリストが表示されます。

● 現在設定中のジャンルスイッチは、強調表示されます。



● 初期状態 にタッチすると走行中に選択できるジャンルの設定が初期状態に戻ります。

（3） 設定が良ければ 完了 にタッチします。

●到着予想時刻表示

ルート上を走行しているときに、目的地への到着予想時刻（P.2-34参照）を表示することができます。この到着予想時刻を計算する基準として、高速道路、有料道路（都市高速含む）、一般道路の各平均車速を設定することができます。

（1） 平均車速を設定するには、P.4-1の 1 の（2）の画面で 変更する にタッチします。

（2）設定したい道路種別の ◀ または ▶ にタッチすると平均車速を変更できます。

- ◀ にタッチすると設定速度が遅くなります。
- ▶ にタッチすると設定速度が速くなります。
- 初期状態 にタッチすると、全ての平均車速設定が初期設定値（一般道30km/h、有料道路60km/h、高速道80km/h）に戻ります。

（3） 設定が良ければ 完了 にタッチします。

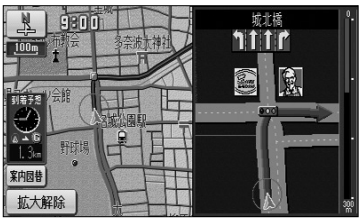
お知らせ

- ●案内ルート上を走行していないときは、到着予想時刻の表示は行われません。
- ●到着予想時刻の表示は自車の走行と時間の経過により随時更新されます。

●交差点拡大図自動表示

ルート案内中、分岐点に接近すると案内分岐点の拡大図（P.2-36参照）を自動で表示することができます。

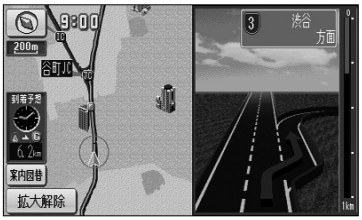
交差点拡大図



●高速分岐模式図自動表示

ルート案内中、高速道路のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると高速分岐案内図（P.2-38参照）を自動で表示することができます。

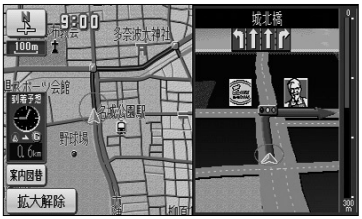
高速分岐模式図



●3D交差点拡大図

交差点拡大図の表示を2Dまたは3Dに切り替えることができます。

3Dの交差点拡大図



2Dの交差点拡大図

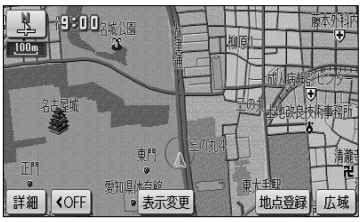
お知らせ

立体交差点拡大図、3D高速分岐拡大画面、ハイウェイ入口案内画面は、交差点拡大図の表示設定に関わらず常に3Dで表示されます。

●2D 時フロントワイド

ノースアップ（P.2-17参照）のとき、自車マークをフロントワイド（進行方向の地図を広く）表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する

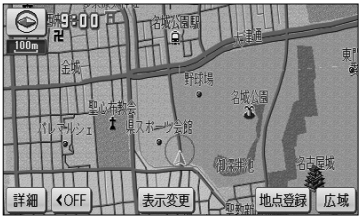


しない

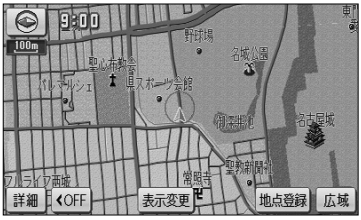
●2D 時フロントワイド

ヘディングアップ（P.2-17参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



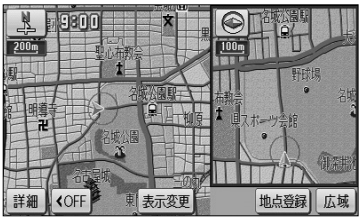
しない



●2D 時フロントワイド　右画面の地図で表示

2画面表示で右画面がヘディングアップ（P.2-21参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する

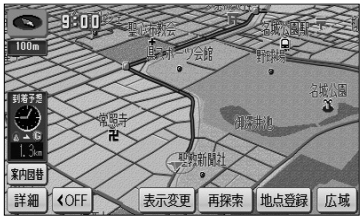


しない

●3D 時のルート方向アップ

3D表示で案内ルート上を走行中に、地図向きをルート方向アップ（ルートの進行方向が画面上方となるような地図）表示に切り替えることができます。

ルート方向アップ表示



●地図カスタマイズ

昼画面（P.1-25参照）または夜画面（P.1-25参照）の地図色、案内ルートのルート色、自車マークの種類の変更、リアルワイドマップ（道幅を考慮した地図）を表示するか、しないかの設定を行うことができます。

地図カスタマイズ画面

（1） P.4-1の 1 の（2）の画面で 変更する にタッチします。

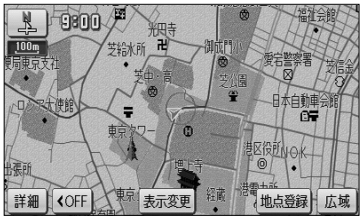
（2） 変更したい地図色、ルート色、自車マークの種類、リアルワイドマップの設定スイッチにタッチします。

- 変更した内容に合わせ確認画面が切り替わります。
- 現在設定中のスイッチは強調表示されます。
- 初期状態 にタッチすると、地図カスタマイズの設定が初期状態に戻ります。

（3） 設定がよければ 完了 にタッチします。

リアルワイドマップ表示する

リアルワイドマップ表示しない



お知らせ

●確認画面について

・確認画面は現在地画面（P.2-12参照）とは異なります。地図の縮尺切り替え（P.2-14参照）、地図スクロール（P.2-13参照）、3D表示切り替え（P.2-18参照）などの操作は行えません。

・地図色（昼）または地図色（夜）のいずれかのスイッチにタッチするとライトの点灯・消灯（P.1-25参照）にかかわらず、確認画面が昼画面または夜画面に切り替わります。

・確認画面では常にルートが表示されています。実際に案内ルートを設定していない場合でも変更したルート色を確認することができます。

●リアルワイドマップについて

・リアルワイドマップを表示しているときは、市区町村別で地図の色が分かれて表示されます。（P.2-12参照）

お知らせ

●ルート色について
・案内ルートの色により、季節規制区間道路（P.2-29参照）のルート色が異なります。
　ルート色を青に設定した場合、オレンジ色の線の入った青色でルートを表示します。
　ルート色を緑に設定した場合、オレンジ色の線の入った緑色でルートを表示します。
　ルート色をオレンジに設定した場合、青色の線の入ったオレンジ色でルートを表示します。
　ルート色を赤に設定した場合、オレンジ色の線の入った赤色でルートを表示します。

●自車マークについて
・自車の方位修正画面（P.4-52参照）を表示しているときは、自車マークが ▲ で表示されます。

●3D俯角設定

3D表示（P.2-18参照）の視点角度を変更することができます。

（1） 3D表示の視点角度を変更するには、P.4-1の **1** の（2）の画面で **変更する** にタッチします。

（2） ▲ または ▼ により視点角度を変更できます。

- ▲ にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
- ▼ にタッチすると、視点の角度を下げることができます。
- 視点角度は10段階に調整できます。
- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

（3） **セット** にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

●3D市街図ビル立体表示

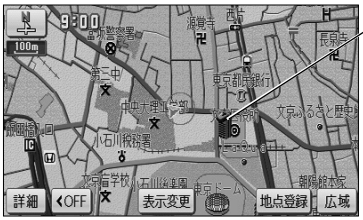
3D表示で、25m の縮尺の市街図（P.2-23参照）を表示しているとき、建物の形状が立体的に表現された地図を表示することができます。

する

しない

●立体ランドマーク表示

地図上に特定施設の立体ランドマークを表示することができます。



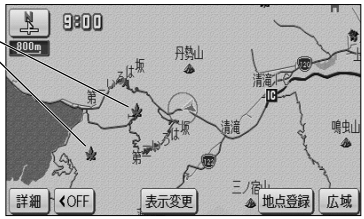
立体ランドマーク

- 800m および 800m より詳細の地図に立体ランドマークを表示します。
- 表示された立体ランドマークにタッチすると、施設が赤枠で強調され施設名称が表示されます。

●シーズンレジャーランドマーク表示

季節的に観光スポットとなる場所をマークで表示することができます。

シーズンレジャーランドマーク



お知らせ

- ●季節によっては表示されないマークがあります。
- ●地域によって季節に誤差があるため、マークが表示される時期と観光スポットの実際の観光シーズンが異なる場合があります。
- ●地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●地図スクロール時の地名表示

地図にタッチして地図を移動（スクロール）したときに、画面の中心付近の地名や道路名称、道路番号を表示することができます。

お知らせ

地名表示は、 50m から 6k までの地図縮尺で表示されます。

●目的地直線表示

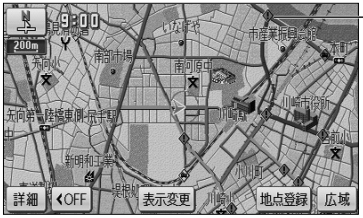
ルート案内中に現在地画面で、目的地方向への直線を表示します。

お知らせ

- ●直線表示は、すべての地図縮尺で表示されます。
- ●目的地が複数設定されている場合は、次の目的地の方向への直線を表示します。

●交通事故多発地点マーク表示

交通事故が多発する地点を地図上にマークで表示することができます。



お知らせ

地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●料金案内

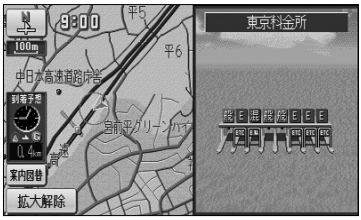
ルート案内中、料金所に接近すると料金案内（P.2-37参照）を表示することができます。

お知らせ

案内する料金は、ETCなどの割引前の料金です。

●料金所レーン案内

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。
ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。（P.2-38参照）

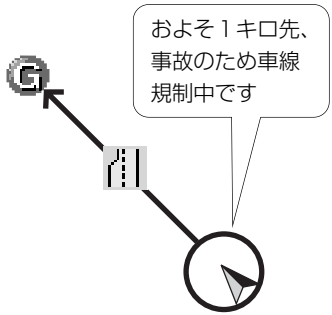


お知らせ

画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。

●*VICS* 渋滞・規制音声自動発声

案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した***VICS***情報の音声案内を自動で行うことができます。

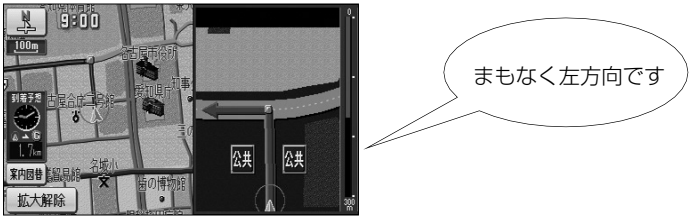


お知らせ

- ***VICS*** 情報の音声案内は、 ***VICS*** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10ｋｍまでの情報です。
- ***VICS*** の表示設定（P.4-44参照）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も案内されます（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が案内されます）。

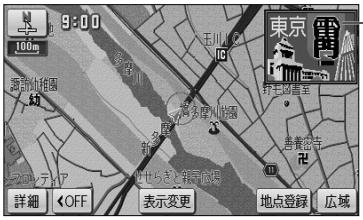
●自動音声案内

ルート案内中、分岐点に接近したときなどに音声案内を自動で行うことができます。



●県境案内

自車が県境にさしかかると、音声とその県をイメージさせた絵でお知らせすることができます。
他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。



●踏切警告

踏み切りにさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

●合流警告

合流地点にさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。
他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

お知らせ

- ●合流地点の形状により以下のマークが表示されます。
- ●合流警告の案内は一般道路では行われません。

●カーブ警告

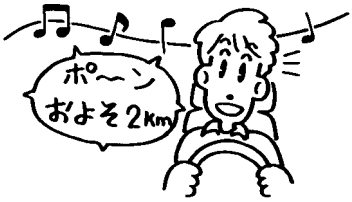
急なカーブにさしかかると、危険を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。
他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

お知らせ

- ●カーブの形状により以下のマークが表示されます。
- ●県境お知らせ、踏切、合流、カーブ警告で案内された音声は、もう一度聞くことはできません。

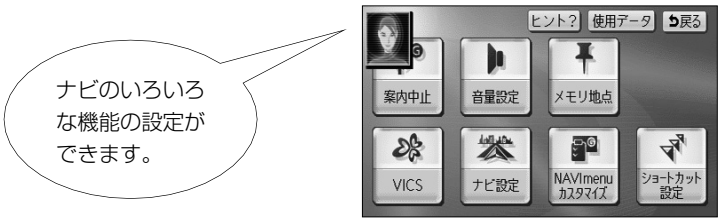
●他モード時の案内

ラジオやテレビ画面を表示し、その音声を聞いているときにもナビゲーションの音声案内を聞くことができます。



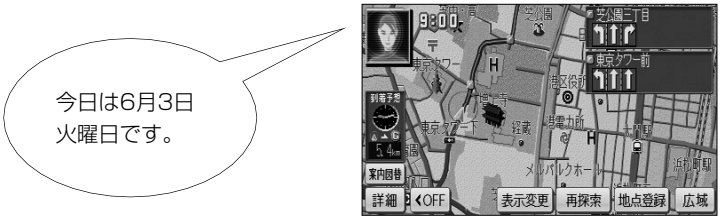
●操作説明音声

画面の説明や誤った操作を行ったときの説明音声を音声案内させることができます。



●ハートフル音声

その日初めてナビゲーションが立ち上がったときに「今日は6月3日火曜日です」、目的地に到着したときに「お疲れさまでした」などの気のきいた音声案内をさせることができます。

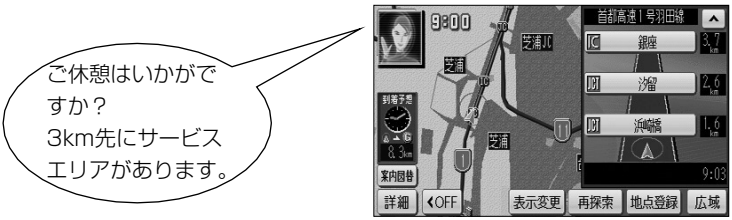


お知らせ

上記のハートフル音声は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されない場合があります。

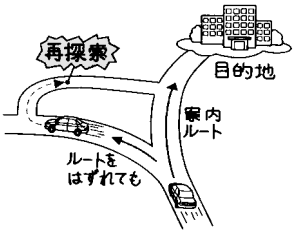
●居眠り防止案内

長時間のドライブ時などに音声案内を行い、注意を促します。



●自動再探索

案内ルートから自車が外れてしまった場合でも、自動で再探索を行い現在地から新しいルートを表示することができます。



お知らせ

自動再探索は、公園の敷地など探索対象の道路がないところでは動作しません。探索対象の道を自車が走行していると判断されたときのみ自動再探索を開始します。

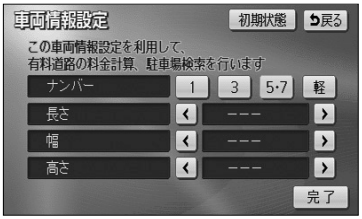
●季節規制メッセージ表示

探索されたルートに季節規制区間（冬季通行止めなど）が含まれる場合、メッセージを表示することができます。規制区間を回避するルートを探索する方法については、P.2-29を参照してください。

季節規制メッセージ表示

●車両情報設定

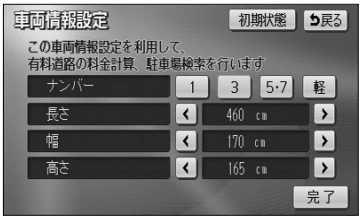
入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。**目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。**



（1） 車両情報を設定するには、P.4-1の 1 の（2）の画面で 変更する にタッチします。

（2） 1 、 3 、 5・7 、 軽 にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

- 初期設定は、 5・7 に設定されています。



（3） ◀ 、 ▶ にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

- 初期状態 にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。

（4） 完了 にタッチします。

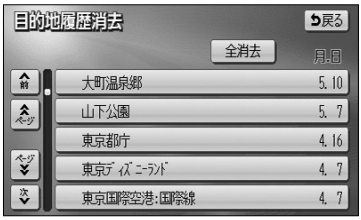
お知らせ

車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。

- 入庫可能な駐車場の検索（P.3-27参照）
- 均一区間の料金表示（P.2-12参照）
- 現在地画面の料金案内（P.4-11参照）
- ルート情報画面の料金表示（P.3-18参照）
- 全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-32の 1 の画面、P.2-32の 2 の（4）の画面）

●目的地履歴の消去

過去に設定した目的地の履歴（P.3-38参照）を消去することができます。

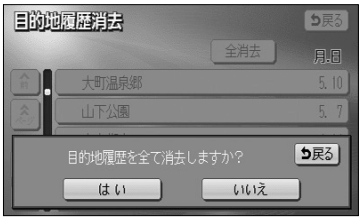


（1）目的地履歴を消去するには、P.4-1の 1 の（2）の画面で 消去する にタッチします。

（2）消去したい目的地履歴の名称にタッチします。

- すべての目的地履歴を消去するときは 全消去 にタッチします。

（3） はい にタッチすると目的地履歴が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地履歴の消去を中止して、（2）の画面に戻ります。

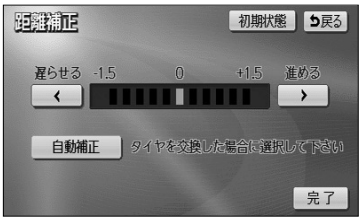


●ナビ補正

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているときや、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときに、これらのズレを修正することができます。

現在地の修正（P.4-52参照）

距離の補正（P.4-53参照）



ナビメニュー「目的地を探す」をカスタマイズするには

ナビメニューの「目的地を探す」（P.2-7参照）に表示されている、地図を呼び出すスイッチを、3種類選んで表示させることができます。使用頻度の高いスイッチを設定しておくと、ナビメニューから簡単に検索方法を選べます。

（1） 設定画面（P.2-8参照）で
NAVI menuカスタマイズ にタッチします。

（2） ナビメニューに表示させたいスイッチにタッチします。

- 表示させたいスイッチを3つ選んでください。
- 選択されたスイッチに再びタッチすると選択を解除することができます。
- 設定済みのときに 初期設定 にタッチすると選択されたスイッチが初期状態（「名称」「電話」「住所」が選択された状態）に戻ります。

（3） 設定がよければ 完了 にタッチします。

（4） 戻る にタッチします。

- ナビメニューに選択したスイッチが表示されます。

（5） その他 にタッチすると、地図を呼び出す全てのスイッチを表示した画面（目的地を探す画面 P.2-30参照）を表示します。

- （2）、（3）で選択したスイッチ以外でも目的地の設定を行うことができます。

ショートカットスイッチを設定するには

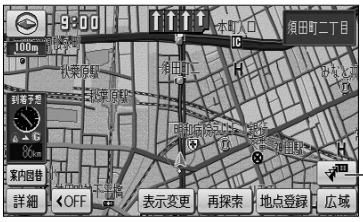
複数の操作によって表示される画面をショートカットスイッチとして設定することができます。ショートカットスイッチに設定しておくと、地図上にスイッチが表示されワンタッチで表示したい画面を呼び出すことができます。

(1) 設定画面（P.2-8参照）で **ショートカット設定** にタッチします。

(2) ショートカットに設定したいスイッチにタッチします。ここでは **音量設定** にタッチします。

- 設定済みのときに **設定解除** にタッチするとショートカットの設定が解除されます。

- **音量設定** がショートカットに設定されました。



- 地図画面上にショートカットスイッチが表示されます。

ショートカットスイッチ

お知らせ

全ルート をショートカットに設定したときは、ルート案内中のときのみ動作します。

メモリ地点を登録・修正・消去するには

忘れたくない地点を地図帳にマークするように、最大106ヵ所までマーキングできる機能です。
メモリ地点を登録しておくと、登録地点周辺の地図を簡単に表示できます。
また、登録したメモリ地点は位置変更したり消去することができます。

1 現在地を登録する

（1） 現在地画面(P.2-12参照)で 地点登録 にタッチします。

- その時点での自車マークの位置がそのまま登録されます。
- この場合は地点記号が 🏁 となります。

お知らせ

高速道路上のルートを案内中にメモリ地点を現在地に登録した場合は、地点記号が （方向付き登録記号）となります。

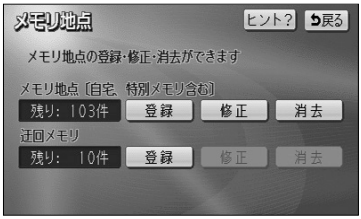
2 地図画面から登録する

（1） 地図スクロール、 詳細 または 広域 操作によりメモリ地点を登録したい位置に を合わせ、スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で 地点登録 にタッチします。

- この場合は地点記号が 🏁 となります。

3 地図索引機能を使ってメモリ地点を登録する

(1) 設定画面（P.2-8参照）で メモリ地点 にタッチします。



(2) メモリ地点の 登録 にタッチします。

(3) 地図の呼び出し方を選択します。

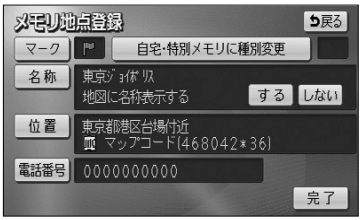
- 名称 P.3-26
- 住所 P.3-35
- ジャンル P.3-30
- 電話 P.3-32
- 登録リスト P.3-37
- 周辺検索 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。



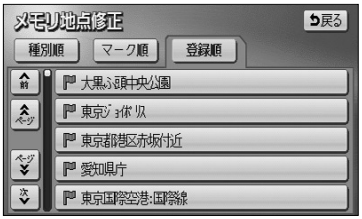
(6) 完了 にタッチします。

- 修正・入力をするときは、それぞれの項目にタッチします。

- マーク P.4-23
- 名称 P.4-26
- する ／ しない （地図上の名称表示） P.4-29
- 位置 P.4-25
- 電話番号 P.4-25

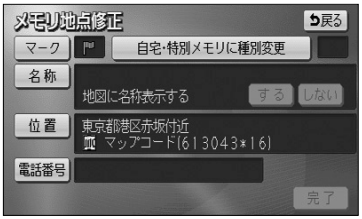
4 メモリ地点を修正するには

(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の**3**の(2)の画面でメモリ地点の 修正 にタッチします。



(2) メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
  - マーク順 にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。



(3) 修正・入力する項目にタッチします。

- マーク P.4-23
- 名称 P.4-26
- する ／ しない （地図上の名称表示） P.4-29
- 位置 P.4-25
- 電話番号 P.4-25

5 地図画面からメモリ地点を修正するには

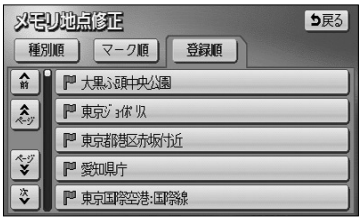
(1) 地図上に表示されているメモリ地点マークにタッチして 情報 にタッチします。

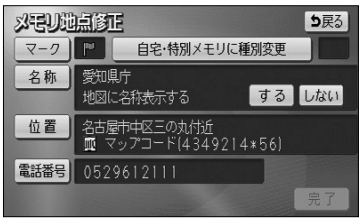
(2) 修正 にタッチすると、P.4-22の 4 の（3）を表示します。

- 目的地セット にタッチすると、目的地に設定することができます。
- すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され新たな目的地として設定されます。
  P.2-31を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。P.3-3を参照してください。

6 メモリ地点の記号を変更するには

登録したメモリ地点の記号を、お好みの記号に変更することができます。





(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の 3 の（2）の画面でメモリ地点の 修正 にタッチします。

(2) メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、よく行く場所、メモリ地点の順に並び替わります。
  - マーク順 にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

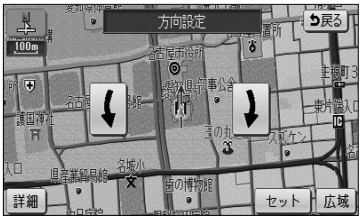
(3) マーク にタッチします。

(4) お好きな登録記号にタッチすると、メモリ地点の記号が変更されます。

- マーク2 にタッチすると、別の記号の画面に切り替わり、お好きな記号を選択することができます。
- マーク2の マーク無し にタッチすると、記号の登録をしないでメモリ地点が登録されます。

(5) 音声付き にタッチして 方向付きメモリ にタッチすると、自車が指定した方向からメモリ地点に約500mまで接近したときのみ音が鳴るようにすることができます。

- 音確認 にタッチすると、音声付き登録記号の音を確認することができます。

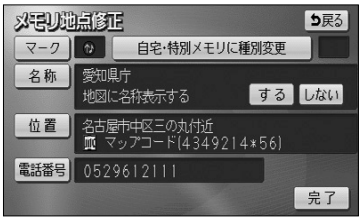


- または にタッチして を設定する方向に合せます。
- セット にタッチすると、 の位置にメモリ地点が の記号で登録されます。

7 メモリ地点の位置を修正するには

登録したメモリ地点の位置を変更することができます。

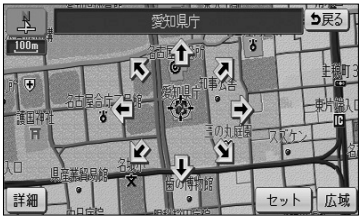
（1） P.4-22の**4**の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2） 位置 にタッチします。

お知らせ

メモリ地点を登録すると、登録した地点のマップコードがメモリ地点の位置に表示されます。



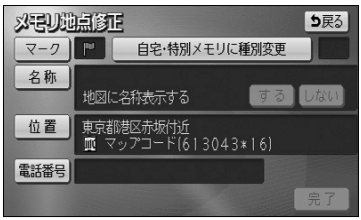
（3） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（4） スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチすると の位置にメモリ地点が登録されます。

8 メモリ地点に電話番号を登録するには

登録したメモリ地点に電話番号を登録することができます。電話番号を登録すると、電話番号で地図を表示する（P.3-32参照）ことができます。

（1） P.4-22の**4**の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2） 電話番号 にタッチします。

（3） 数字を１番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１番号ずつ消去されます。

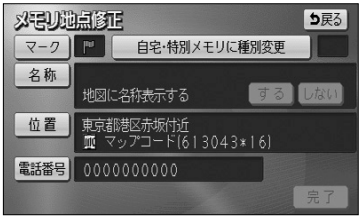
（4） 完了 にタッチします。

お知らせ

P.4-21の 3 の（3）で 名称 、 ジャンル 、 電話 から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の電話番号がメモリ地点の電話番号として自動的に登録されます。

9 メモリ地点に名称を付けるには

（1） P.4-22の 4 の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2） 名称 にタッチします。

（3） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法はP.4-27～4-28を参照してください。

（4） 文字を入力したあと 完了 にタッチします。

お知らせ

- メモリ地点の名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。
- P.4-21の 3 の（3）で 名称 、 ジャンル 、 電話 、 郵便番号 から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の名称がメモリ地点の名称として自動的に登録されます。

ひらがな、漢字を入力するとき

(1) かな にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。
- 文字を入力したあと、 変換 にタッチすると文字を漢字変換することができます。漢字変換しないときは 無変換 にタッチします。

(3) 変換 にタッチすると、変換する漢字の候補がリスト表示されます。

(4) ◀ または ▶ にタッチすると、漢字変換する文字の範囲を変更することができます。現在変換されている文字で設定するには 全確定 にタッチします。

(5) 変換したい漢字にタッチします。

カタカナを入力するとき

(1) カナ （カタカナ）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

英字、数字を入力するとき

（1） 英数字 （英字、数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

（2） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 小文字 （または 大文字 ）にタッチすると、入力文字を小文字（または大文字）に切り替えることができます。
- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

数字、記号を入力するとき

（1） 数記号 （数字・記号）にタッチして入力画面を切り替えます。

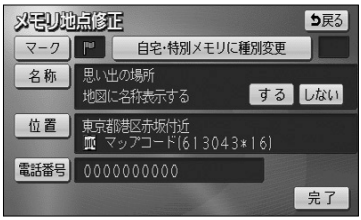
（2） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 他のページを見たいときは、▼ または ▲ にタッチします。
- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

10 メモリ地点の名称を地図上に表示するには

登録したメモリ地点の名称を地図画面上に表示することができます。

（1） P.4-22の **4** の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



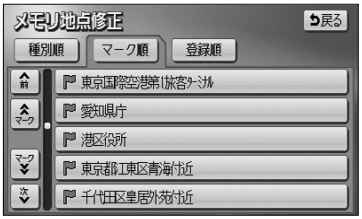
（2）「地図に名称表示する」の **する** または **しない** にタッチします。

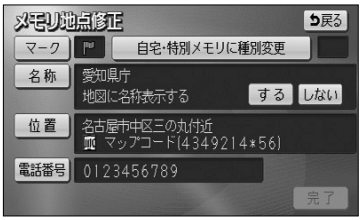
お知らせ

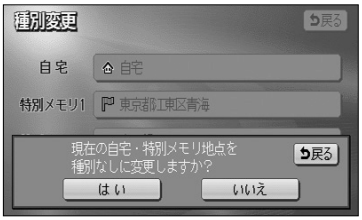
メモリ地点の名称は、 800m および 800m より詳細な地図で表示することができます。

11 登録したメモリ地点を自宅やよく行く場所(特別メモリ)に変更するには

自宅に登録すると、ナビメニュー（P.2-7参照）からワンタッチで自宅までのルートを設定することができます。よく行く場所(特別メモリ)に登録すると、目的地を探す画面（P.2-30参照）から目的地までのルートを設定することができます。







（1） メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の**3**の（2）の画面で、 修正 にタッチします。

（2） 種別を変更したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - ・ 種別順 にタッチすると、自宅、よく行く場所（特別メモリ）、メモリ地点の順に並び替わります。
  - ・ マーク順 にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - ・ 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

（3） 自宅・特別メモリに種別変更 にタッチします。

（4） 自宅またはよく行く場所(特別メモリ)1～3のいずれかにタッチします。

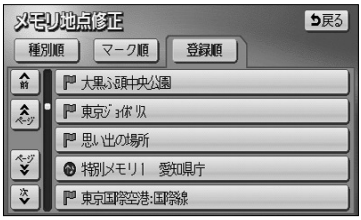
- すでに自宅またはよく行く場所(特別メモリ)が登録されているときはメッセージが表示されます。現在の登録地点を種別なしに変更して登録するときは はい にタッチします。現在の登録地点を種別なしに変更しないときは いいえ にタッチしてください。

お知らせ

自宅1ヵ所、よく行く場所(特別メモリ)3ヵ所はメモリ地点登録数106ヵ所に含まれます。すでに106ヵ所登録されているときはメモリ地点を消去してから登録してください。

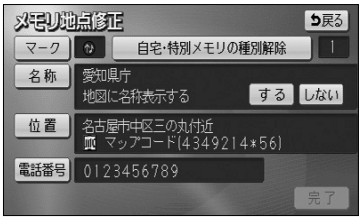
12 自宅やよく行く場所(特別メモリ)を解除するには

自宅やよく行く場所(特別メモリ)に登録した地点をメモリ地点に変更することができます。



(1) P.4-21の **3** の（2）の画面で、 **修正** にタッチします。

(2) 自宅・よく行く場所(特別メモリ)を解除したい地点の名称にタッチします。



(3) **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。

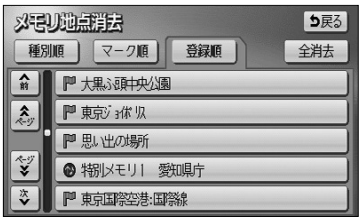
(4) **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると（3）の画面に戻ります。

13 メモリ地点を消去するには

登録したメモリ地点を消去することができます。

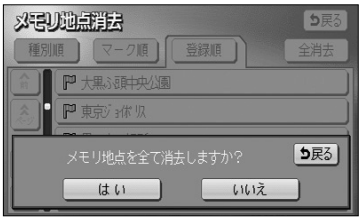
（1） メモリ地点が登録されているとき、P.4-21の**3**の（2）の画面でメモリ地点の 消去 にタッチします。



（2） 消去したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、3種類の並べ方をさせることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、よく行く場所(特別メモリ)、メモリ地点の順に並び替わります。
  - マーク順 にタッチすると記号の種類別に並び替わります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。
- 全てのメモリ地点を消去するには 全消去 にタッチします。

（3） はい にタッチするとメモリ地点が消去されます。
いいえ にタッチすると、メモリ地点の消去を中止して（2）の画面に戻ります。



迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

目的地までのルートで、迂回したい地点およびエリアを登録することができます。
迂回メモリを登録しておくと、登録した地点またはエリアを回避するルートを探索することができます。また、登録した迂回メモリは位置修正したり消去することができます。

1 迂回メモリを登録するには

（1） 設定画面（P.2-8参照）で メモリ地点 にタッチします。

（2） 迂回メモリの 登録 にタッチします。

（3） 地図の呼び出し方を選択します。

- 名称 P.3-26
- 住所 P.3-35
- ジャンル P.3-30
- 電話 P.3-32
- 登録リスト P.3-37
- 周辺検索 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

(6) または にタッチして、迂回メモリのエリアを選択します。

- 最下段の を選択すると、(5) で セット にタッチした地点が迂回メモリとして登録されます。

お知らせ

詳細 または 広域 操作により地図縮尺を切り替えると、エリアを示す正方形枠の大きさが固定したまま地図が切り替わります。

(7) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。
- 登録した迂回メモリは、地図画面上に または □（範囲）で表示されます。

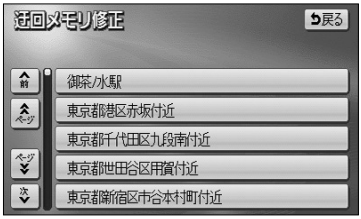
お知らせ

●迂回メモリは10ヵ所まで登録することができます。
●次のような場合は、迂回エリア内を通るルートが探索されることがあります。
・迂回エリア内に自車または目的地（通過道路も含む）が存在する場合。
・自車位置から目的地（通過道路も含む）までが一本道であるなどの理由により、迂回エリアを回避するルートが探索できない場合。
●迂回エリア内に存在する高速道路は、迂回する対象にはなりません。
高速道路を迂回するルートを探索するには、P.4-34の 1 の（6）で迂回メモリのエリアを に設定してください。

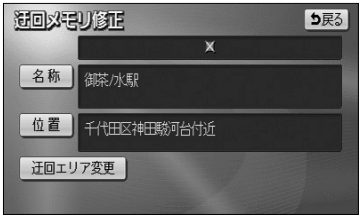
2 迂回メモリに名称を付けるには

登録した迂回メモリの名称を変更することができます。

（1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-33の 1 の（2）の画面で迂回メモリの 修正 にタッチします。



（2） 迂回メモリの名称にタッチします。



（3） 名称 にタッチします。

（4） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

● 文字の入力方法はP.4-27～4-28を参照してください。

（5） 文字を入力したあと 完了 にタッチします。

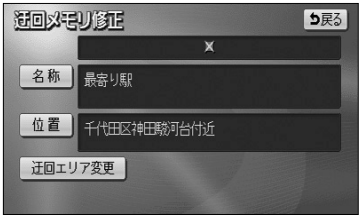
お知らせ

迂回メモリの名称は、最大12文字（半角24文字）まで文字を入力することができます。

3 迂回メモリの位置を修正するには

登録した迂回メモリの位置を変更することができます。

（1） P.4-35の**2**の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 位置 にタッチします。

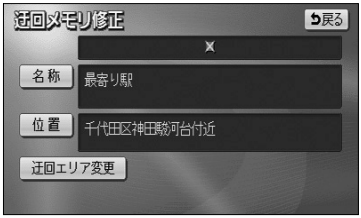
（3） にタッチして、迂回メモリを登録する位置に地図を動かします。

（4） スケール表示 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチすると、 の位置に迂回メモリが登録されます。

4 迂回メモリのエリアを変更するには

登録した迂回メモリのエリアを変更することができます。

（1） P.4-35の2の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 迂回エリア変更 にタッチします。

（3） ▲ または ▼ にタッチして迂回メモリのエリアを選択します。

- 現在登録されている迂回メモリは ■ または □（範囲）で表示されます。

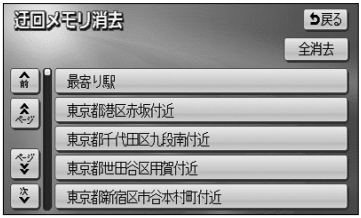
（4） セット にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。

5 迂回メモリを消去するには

登録した迂回メモリを消去することができます。

（1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-33の 1 の（2）の画面で迂回メモリの 消去 にタッチします。

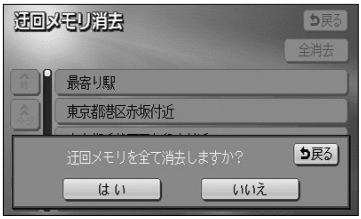


（2） 消去したい迂回メモリにタッチします。

- 全ての迂回メモリを消去するには 全消去 にタッチします。

（3） はい にタッチすると迂回メモリが消去されます。
いいえ にタッチすると、迂回メモリの消去を中止して（2）の画面に戻ります。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。

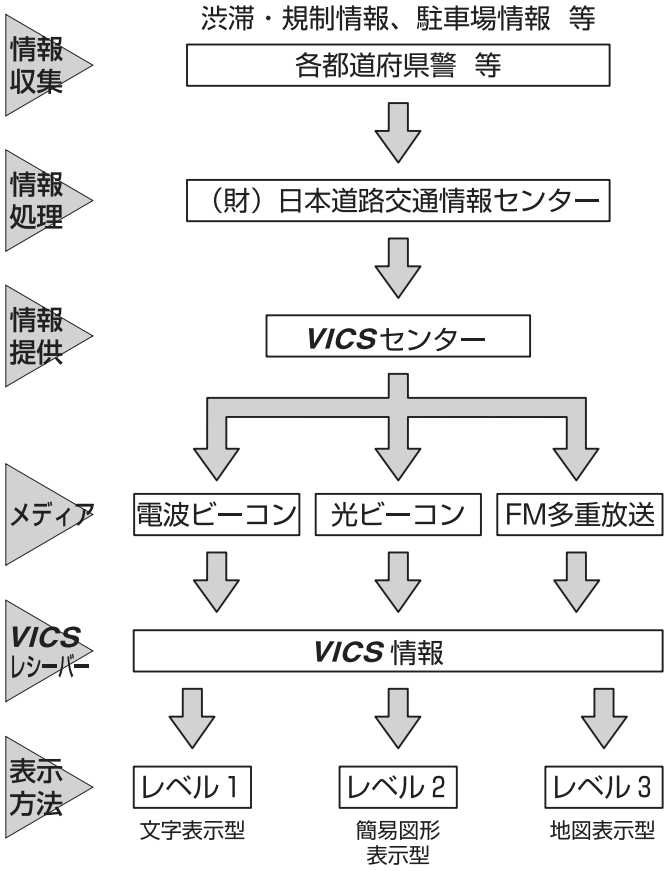


*VICS*を使うには

●*VICS*について

VICS (Vehicle Information and Communication System ：道路交通情報通信システム)は、渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に表示するシステムです。また道路交通情報の提供を通して、安全性の向上、交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。
本機に付与された VICS のロゴマークは、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（***VICS*** センター）の登録商標です。

●*VICS*サービスのしくみ



VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会、財団法人 日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

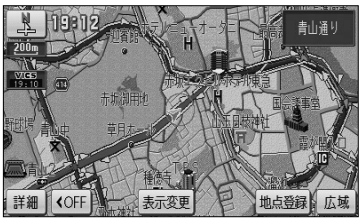
●*VICS*情報の表示

注意

VICS情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

文字による***VICS***情報を表示します（レベル1）。

図形による***VICS***情報を表示します（レベル2）。



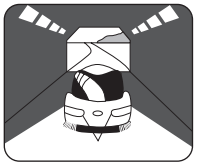
地図上に***VICS***情報を重ねて表示します（レベル3）。

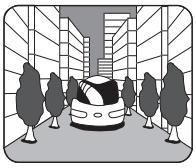
お知らせ

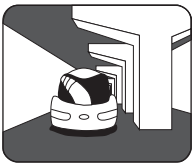
- 本機は、FM多重放送の***VICS***情報を受信できます。
- FM多重の電波の弱い地点では、***VICS***情報を受信するのに時間がかかる、または受信できないことがあります。
- 本機は、電波ビーコン、光ビーコンによる***VICS***情報の受信には対応しておりません。

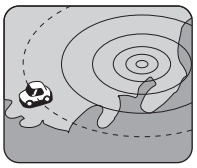
FM多重放送の受信について

● FM多重放送は、放送局からの電波が届く広い範囲の車両に情報の提供をおこないます。
● 次のような場所では受信できないことがあります。


トンネルの中


密接するビルなどの間


高架道路の下


サービスエリア外

注：FM多重の場合、一定周期で情報が更新されますので揃うのに時間がかかる場合があります。（約 3 分程度）

30分以上経過した古い情報は自動的に消去されますのでご注意ください。

●*VICS*サービスエリアと地図データについて

・***VICS*** サービスエリア
　・***VICS*** のサービスエリアの詳細については、別紙の**「地図データベースについて」**をご覧ください。
・***VICS*** による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除されます。削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。より正確に情報を表示するためには、最新の地図データをご使用いただく必要があります。地図データに関しては、最寄りの販売店にご相談ください。

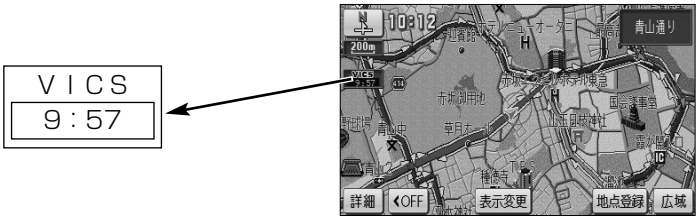
●*VICS*の運用時間

情報提供時間　・FM多重：24時間（但し、第1、第3月曜日の午前1時から5時までは、保守の為に放送を休止いたします。時間につきましては、あらかじめ ***VICS*** FM多重放送の「お知らせ」メニューでご案内いたします）
※ 運用時間は予告なく変更されることがあります。

●*VICS*の問い合わせ先

・***VICS*** サービスエリアに関するもの
・その他、上記に類するもの
これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
・***VICS*** の概念、計画、または表示された情報内容に関することは（財）***VICS*** センターへお問い合わせください。（但し、地図表示型の表示内容は除く）
（財）***VICS*** センター
（サービス・サポート・センター）
電話受付 <受付時間 09：30～17：45（土曜、日曜、祝祭日を除く）>
電話番号 0570 - 00 - 8831
※全国から市内通話料金でご利用になれます。
※携帯・PHSからはご利用できません。
FAX 受付 <受付時間24時間>
FAX 番号 03 - 3592 - 5494

●*VICS*タイムスタンプ表示について



・***VICS***情報を表示するように設定してください。
（P.4-44の「***VICS***情報を地図に表示・消去するには」を参照してください）

・タイムスタンプは***VICS***情報を受信すると自動的に現在地画面・地図画面の左中央に情報提供時刻が表示されます。また、***VICS***情報が継続受信できないと約30分で自動的に消去され、表示が−−:−−になります。

・***VICS***情報が受信されていても、表示している地図およびその周辺に表示する情報がないときは、表示が−−:−−になります。

・ルート上に渋滞情報が存在する場合、***VICS***の渋滞情報にしたがってタイムスタンプ内の時刻表示の背景色が切り替わります。手動による再探索が行われたあとのルート上に、***VICS***の渋滞情報が存在しなくなるとタイムスタンプ内の時刻表示の背景色は無色になります。

・タイムスタンプ内の時刻表示の背景色とスイッチ表示については以下のとおり。
　赤色・・・・ルート上に渋滞情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると渋滞情報を音声で案内します。
　橙色・・・・ルート上に混雑情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示になりません。タッチすると地図が移動します。
　黄色・・・・ルート上に規制情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると規制情報を音声で案内します。

・タイムスタンプの時刻表示は、***VICS***情報が提供された時刻を表しており、***VICS***情報を受信した時刻ではありません。

・本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や長時間バッテリーを外しておいた場合などは、「***VICS***情報を地図に表示・消去するには」（P.4-44）を確認して新しい***VICS***情報を再度受信するまでお待ちください。

●地図上に表示される*VICS*情報について

1 渋滞情報

渋滞度	表　示	内　容	表示縮尺
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態	25m～800m
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	水色	交通の流れが良い状態	

※スケール表示が 800m の地図を表示しているときは、渋滞情報は全て「━」（矢印なし）で表示します。

2 事象・規制情報

①代表的な ***VICS*** マーク

マーク	規制内容	表示縮尺
	通行止め・閉鎖	25m～800m
	入口閉鎖	25m～800m
	事　故	25m～200m
	工　事	25m～200m

※上記以外の***VICS*** マークの種類については、右表を参照してください。

②規制範囲

マーク	内　容	表示縮尺
黒色	通行止めの区間	25m～800m

3 駐車場・PA情報

渋滞度	表　示	内　容	表示縮尺
空車	P PA 青色	利用が可能な状態	25m～800m
満車	P PA 赤色	ほぼ満車の状態	
混雑	P PA 橙色	利用率が高い状態	
不明	P PA 黒色	駐車場情報がない状態	25m～400m
閉鎖	P PA	閉鎖されている状態	

参考：***VICS*** マークの種類

マーク	内　容
	故障車
	路上障害
	凍結
	作業
	大型通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐行
	入り口制限
	オフランプ規制
10	速度規制（10km/h）
イベント	イベント（行事など）
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	火災
	雨
	雪
P	駐車場
PA	パーキングエリア
	注意

1 *VICS* 情報を地図に表示・消去するには

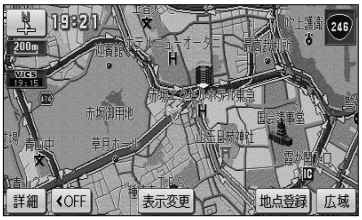
表示している地図に渋滞情報や規制情報を表示・消去することができます。

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) VICS にタッチします。

(3) *VICS* 情報を表示させたい道路のタッチスイッチにタッチします。

- 一般道のみ にタッチすると、一般道路に関する *VICS* 情報のみを表示します。
- 高速道のみ にタッチすると、高速道路に関する *VICS* 情報のみを表示します。
- 全て にタッチすると、一般道路と高速道路に関する *VICS* 情報を表示します。



- 初期設定では、全て が強調表示されています。
- 渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが表示されます。(P.4-43を参照してください)
- *VICS* 情報が画面に表示されているときは、その *VICS* 情報が提供された時間を示すタイムスタンプが表示されます。

お知らせ

VICS 情報は 800m よりも広域な地図には表示されません。

(4) ***VICS*** 情報を消去する場合は **非表示** にタッチします。

● 「***VICS*** の情報を消去します」のメッセージが表示され渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが消去されます。

2 *VICS* 情報の詳細情報を表示するには

地図上に表示されている ***VICS*** マークの詳細情報を確認することができます。

(1) ***VICS*** 情報が表示されている現在地画面(P.2-12参照)または地図画面(P.2-13参照)で、***VICS*** マークにタッチします。

● 規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

お知らせ

●詳細情報は一定時間後、自動的に消去されます。
●施設マークが表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。
●駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。

3 高速略図画面に*VICS*情報を表示するには

高速略図画面に渋滞情報や規制情報を表示することができます。

（1） 高速略図画面表示中(P.2-24参照)にP.4-44の **1** の（3）の画面で、***VICS*** 情報を表示させたい道路にタッチします。

- 高速略図画面には、どの道路にタッチしても高速道路の***VICS*** 情報が表示されます。
- 渋滞情報、規制情報マークが表示されます。（P.4-43を参照してください）

4 *VICS*文字情報を表示するには

（1） 設定画面（P.2-8参照）で VICS にタッチします。

（2） FM文字 にタッチして、文字情報メニュー画面を表示させます。

- 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の文字情報が表示されます。

（3） 文字情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチすることでページを送ることができます。

- 自動送り にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。中止するときは、停止 にタッチします。
- 目次 にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。

お知らせ

- 走行中に自動送りを行うことはできません。
- 図形 にタッチすると図形情報メニュー画面が表示されます。

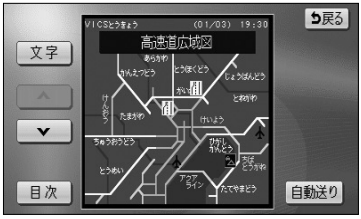
5 *VICS* 図形情報を表示するには

(1) 設定画面（P.2-8参照）で ＶＩＣＳ にタッチします。

(2) ＦＭ図形 にタッチして、図形情報メニュー画面を表示させます。

● 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の図形情報が表示されます。

(3) 図形情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチすることでページを送ることができます。



● 自動送り にタッチすると一定時間表示後、自動的に次のページを表示します。

● 目次 を押すと図形情報メニュー画面を表示します。

お知らせ

●走行中に自動送りを行うことはできません。
● 文字 にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。

注意

VICS 文字・図形情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6 割込情報（緊急情報）を受信したときには

(1) 割込情報を受信するとビープ音が鳴り、直ちに画面が表示されます。

● 表示消 にタッチするとメッセージは消去されます。

● 文字 または 図形 にタッチすると、文字情報または図形情報に表示を切り替えます。

アドバイス

割込情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを変えることができます。

7 割込情報（緊急情報）を再表示するには

（1） P.4-46の 4 の（2）の画面で 割込情報 にタッチします。

- P.4-47の 6 で受信した割込情報が再表示されます。

お知らせ

再表示させた場合の割込情報画面には 表示消 スイッチは表示されません。

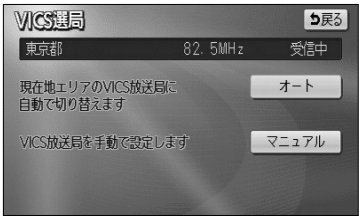
アドバイス

割込情報が複数ページあるときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを変えることができます。

8 自動選局するには

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると自動的に放送局が切り替わります。

（1） P.4-46の 4 の（2）の画面で ＶＩＣＳ選局 にタッチします。



（2） オート にタッチします。

- 初期設定は、オート（自動選局）に設定されています。

9 エリア選択で選局するには

選択した都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

(1) P.4-46の 4 の（2）の画面で ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

(2) マニュアル にタッチします。

● 選局できる放送局エリアがリスト表示されます。

(3) 受信したい放送局のあるエリアにタッチします。

● ▲ ・ ▼ にタッチして希望する放送局エリアを選択します。

10 周波数を指定して選局するには

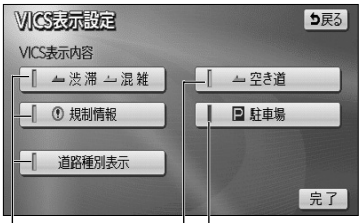
選択した周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても放送局は切り替わりません。

(1) P.4-46の 4 の（2）の画面で ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

(2) マニュアル にタッチします。

(3) ▼ TUNE ・ ▲ TUNE にタッチして希望する周波数を指定します。

11 地図に表示する*VICS*情報を設定するには



作動表示灯
点灯（黄色）

作動表示灯
非点灯（灰色）

（1） P.4-44の 1 の（3）の画面で 表示設定 にタッチします。

（2） それぞれの項目に対してタッチします。

- タッチすると作動表示灯が点灯し（黄色）、表示設定ONになります。
- 初期設定では、駐車場の表示設定のみOFFになっています。
- それぞれの情報については、P.4-43を参照してください。

（3） 完了 にタッチします。

●*VICS*情報表示中の道路色について（道路種別表示）

VICSレベル3情報表示中に、***VICS***表示対象道路と非対象道路を色分けして表示する（道路種別表示「OFF」）か、***VICS***情報非表示時と同様に、道路の種類（国道、高速道路、主要地方道、一般都道府県道など）で色分けして表示する（道路種別表示「ON」）かを設定できます。

お知らせ

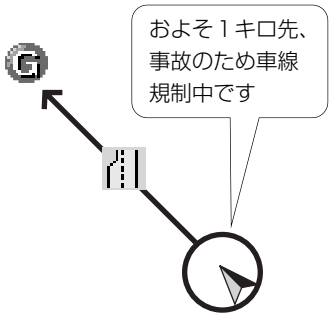
道路種別表示「OFF」時は、***VICS***情報表示時、地図上の高速道路は紫色、***VICS***情報提供対象道路は緑色、それ以外の道路は灰色で表示されています。

12 *VICS* 情報の音声案内をもう一度聞きたいときは

案内ルート上に渋滞や規制が発生したときに発声される ***VICS*** 情報の音声案内を再び聞くことができます。

（1） ***VICS*** 情報を表示しているときに、タイムスタンプ（P.4-42参照）にタッチします。

● ***VICS*** 情報の音声案内が発声されます。



お知らせ

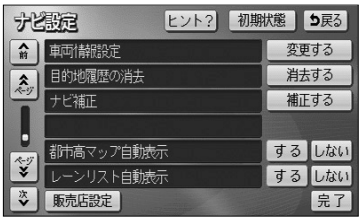
- 案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した ***VICS*** 情報を自動で音声案内することができます（P.4-1参照）。
- ***VICS*** 情報の音声案内は、 ***VICS*** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10ｋｍまでの情報です。
- ***VICS*** の表示設定（P.4-44）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も音声案内されます。（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が音声案内されます）

補正機能

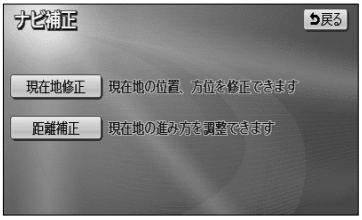
1 現在地を修正するには

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているとき、このズレを修正することができます。

（1） 設定画面（P.2-8参照）で ナビ設定 にタッチします。



（2） ナビ補正の 補正する にタッチします。



（3） 現在地修正 にタッチします。

（4） にタッチして マークを修正したい位置に移動させます。

- スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

（5） ・ にタッチして自車マークの方向を修正します。

- にタッチすると反時計回りに、 にタッチすると時計回りに自車マークが回転します。
- スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

お知らせ

GPS電波を受信すると修正された位置、方位とは関係なく、正しい位置および方位に修正されます。

2 タイヤを交換したときには

タイヤを交換した際などには自車位置の表示がズレる場合があります。また、地図上の自車位置と実際の現在地がズレているとき、このズレを自動補正し、精度よくお使いいただくことができます。

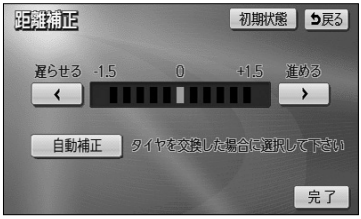
（1） P.4-52の 1 の（3）の画面で 距離補正 にタッチします。

（2） 自動補正 にタッチします。

- 自動補正のときは、タッチスイッチが強調表示されます。

3 自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときには

走行中、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときにこのズレを手動で調節することができます。



（1） P.4-52の 1 の（3）の画面で 距離補正 にタッチします。

（2） 地図上の自車マークが実際の進み方よりも進みすぎのときは ◀ にタッチし、遅れすぎのときは ▶ にタッチして調節します。

（3） 完了 にタッチします。

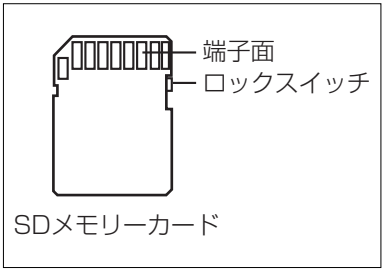
- 初期状態 にタッチすると初期設定の状態に戻ります。

お知らせ

- GPS電波を良好に受信している場合には、常に最適化するように距離補正係数を自動的に修正していますので、距離補正係数の調節は不要です。人工衛星の保守・点検などの影響で、GPS電波の受信が良好でない場合などにお使いください。
- GPS電波を受信すると自動的に距離補正係数を修正します。
- 2 で 自動補正 にタッチしたあとは、しばらくの間 ◀ ・ ▶ を操作することはできません。

地図SDメモリーカードについて

本機には地図SDメモリーカードが付属しています。地図SDメモリーカードには、起動時に必要なプログラムおよび地図データなどが格納されています。
通常は、地図SDメモリーカードをディスプレイ部に挿入した状態でご使用ください。(P.1-20参照)
また、地図SDメモリーカードの内部データを編集したり、誤って消去しないように注意してください。データを編集したり、誤って消去すると、ナビゲーションの機能が使用できなくなったり、本機が起動できなくなることがあります。
万一、付属の地図SDメモリーカードを破損・紛失した場合は、購入販売店にご相談ください。



アドバイス

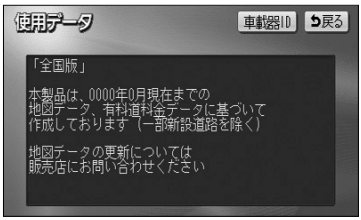
- 付属の地図SDメモリーカードは、本機専用です。紛失・破損には十分注意してください。
- データを誤って消去しないために、地図SDメモリーカードのロックスイッチは「LOCK」の位置にしてご使用ください。

ご使用の地図SDメモリーカードの情報を確認することができます。

1 使用地図SDメモリーカードの情報を確認するには

（1） 設定画面（P.2-8参照）を表示します。

（2） 使用データ にタッチします。



● ご利用になられている地図SDメモリーカード情報（地図のバージョンなど）の画面が表示されます。

お知らせ

●地図SDメモリーカードの作成時期・種類などによって表示内容が異なります。

●このナビゲーションシステムの1回目のバージョンアップキット（地図更新版）の発売は2010年12月頃を予定しております。それ以降、年1回の更新を計画しております。
地図の更新は予告なく終了する場合があります。

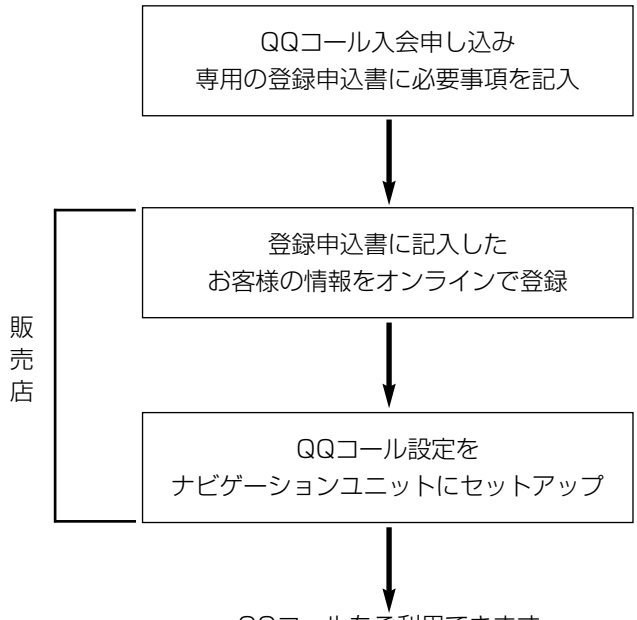
（3） 車載器IDにタッチします。

● 本機のID番号が表示されます。

QQコールについて

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHondaディーラーやサービス工場など、Hondaのネットワークでお客様をサポートするシステムです。
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。
「QQコール」は、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページhttp://premium-club.jp/QQcallをご覧ください。

1 QQコール（有料オプションサービス）を開始するまでの流れ



2 QQコールを表示するには

(1) 設定画面（P.2-8参照）で QQコール にタッチします。

(2) 現在地画面にQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。

(3) (1) の画面で QQコール にタッチするとQQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードの表示が解除されます。

お知らせ

- 走行中はQQコールセンターの電話番号とマップコードは表示されません。
- QQコールセンターの電話番号とマップコードを表示中にエンジンスイッチをOFFにすると表示が解除されます。

メモ

情報画面について

情報機能には、「FM多重放送」、「メンテナンス」、「TEL」、「カレンダー」、「設定」があります。
「ETC」はオプションのETC機器を接続すると、設定・操作することができます。

1 情報画面を表示するには

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で 情報 にタッチして、情報画面を表示します。

（2） 操作したい機能のタッチスイッチにタッチします。

●情報画面から下記の操作を行うことができます。

タッチスイッチ	機　　能	ページ
設定	画面切り替え時の動画表現の設定、画面の表示設定、操作音の設定	1-29
FM多重	FM多重放送の表示	5-2
メンテナンス	消耗部品のメンテナンス案内時期設定・更新、販売店の設定	5-6
TEL	電話帳の表示	5-16
カレンダー	カレンダーの表示	5-17
ETC※1	ETCの設定	6-1

※1 機器が接続されていない場合は、タッチスイッチが表示されません。

ＦＭ多重放送を見るには

■ＦＭ多重放送の番組について

ＦＭ多重放送は１つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

ＦＭ音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号などの音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

ＦＭ音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

1 ＦＭ多重放送を表示するには

（1） ナビメニュー（P.2-7参照）で 情報 にタッチして、情報画画面を表示します。

（2） FM多重 にタッチします。

● ＦＭ多重画面が表示されます。

● 走行中に表示できない情報があり、放送局によって異なります。

お知らせ

- ＦＭ多重放送を表示中にＦＭ多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
- ＦＭ多重放送を表示中のＦＭ音声は、受信している放送局の番組の音声になります。
- オーディオ機能の電源がOFFのとき、またはAM放送（交通情報を含む）を受信しているときやＦＭ多重放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、FM多重放送を表示させることはできません。

2 放送局を切り替えるには

（1） 自動選局 にタッチします。

- ＦＭ音声を聞いているときは、 TUNE TRACK の左右を押しても選局できます。

3 番組を切り替えるには

（1） 目次 にタッチします。

- 番組連動 にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。（連動情報番組を表示中はタッチスイッチが強調表示されます）

（2） 表示させたい番組の番号にタッチします。

アドバイス

▲ ▼ が表示されたときは ▲ ▼ にタッチしてページを送ることができます。

4 独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など１回の受信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます）が送られる独立情報番組はページを送ってご覧ください。

（1） ▲または▼にタッチするか、自動送り にタッチします。

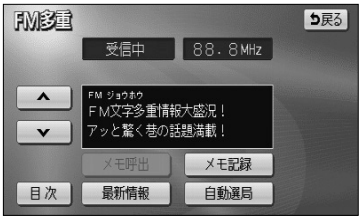
- ▲または▼にタッチすると、文字情報のページを１ページずつ送ることができます。
- 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 に切り替わります）、文字情報が自動（約9秒おき）で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページに戻ります。
- 文字情報の自動送りを中止するときは、 停止 にタッチします（タッチスイッチが 自動送り に切り替わります）。また、自動送り中に▲または▼をタッチして文字情報を送ったときも、自動送りは中止されます。

お知らせ

緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

5 連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度みたいときは▲にタッチすると過去に受信した情報を見ることができます。



（1） ▲または▼にタッチして見たい文字情報をさがします。

- 文字情報の自動切り替えが中止され 最新情報 が表示されます。
- 最新の文字情報に戻すには、 最新情報 にタッチすると、もとの状態（文字情報が受信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

6 文字情報の記録のしかた

(1) 記録したい文字情報を表示させ、 メモ記録 にタッチします。

- 記録できる項目は最大20件です。

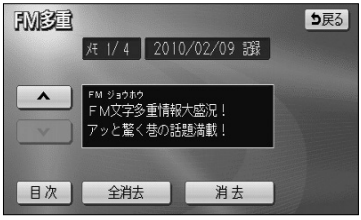
お知らせ

- 記録する内容によっては、20件記録できない場合があります。
- バッテリーやヒューズの交換などで、ナビゲーションとバッテリーの接続が断たれたときは、記録されていた文字情報はすべて消去されます。

7 記録した文字情報の呼び出し・消去

(1) メモ呼出 にタッチします。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

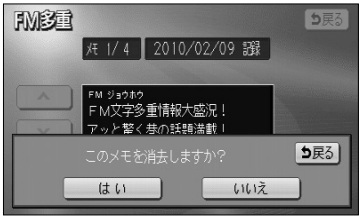


(2) ▲ または ▼ にタッチすると記録した文字情報のページを送ることができます。

- 目次 にタッチするとP.5-3の 3 の（2）の画面を表示します。

(3) 消去 にタッチすると、呼びだした文字情報を消去することができます。

- すべての文字情報を消去するときは、 全消去 にタッチします。



(4) 消去するときは はい にタッチします。

- 消去を中止するときは、 いいえ にタッチします。

メンテナンスを使うには

車の消耗部品（エンジンオイル、タイヤなど）の交換時期や各種点検時期などのイベント時期を案内することができます。

1 メンテナンス時期を設定するには

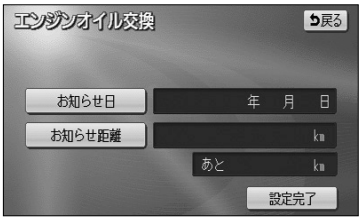
情報画面（P.5-1参照）で メンテナンス にタッチするとメンテナンスメニュー画面が表示されます。

（1） メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- （パーソナル項目未設定）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。
- （パーソナル項目未設定）以外にタッチしたときは、（3）の画面が表示されます。
- ●設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。

（2） （パーソナル項目未設定）にタッチすると、メンテナンス案内（P.5-9の 3 参照）が行われるときに表示される名称やマークの設定を行うことができます。

P.5-8の 2 を参照してください。



（3） お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

(4) 日付および距離を1文字ずつタッチして入力します。

- 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。
- 年 ・ 月 ・ 日 にタッチすると入力した文字を確定します。

(5) 完了 にタッチします。

お知らせ

メンテナンス時期を設定しても、メンテナンス案内の自動通知設定を「する」にしないとメンテナンス案内は行われません(P.5-9の3参照)。

(6) 入力が完了したら 設定完了 にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときは、P.5-6〜P.5-7の1の(1)〜(6)を繰り返します。

2 パーソナル項目を設定するには

パーソナル項目（マーク）に、お好きな名称やマークを設定することができます。パーソナル項目を設定しておくと、メンテナンス案内が行われるときに設定した名称やマークが表示されます。

（1） P.5-6の**1**の（1）の画面で（パーソナル項目）にタッチします。

（2） メンテナンス案内（P.5-9の**3**参照）が行われるときに表示したいマークにタッチします。

（3） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、P.4-27～4-28を参照してください。

（4） 完了 にタッチします。

（5） お知らせ日、またはお知らせ距離をP.5-6の**1**の（3）にしたがって設定します。

（6） 入力が完了したら 設定完了 にタッチします。

お知らせ

- 修正 にタッチすると、名称を変更することができます。（3）、（4）の操作を行ってください。
- マーク にタッチすると、マークを変更することができます。（2）の操作を行ってください。

3 メンテナンス案内を設定するには

案内の自動通知設定を「する」にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。

- メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、 する にタッチします。
- 案内の自動通知設定を解除する場合は、 しない にタッチします。
- 初期設定は「する」に設定されています。

お知らせ

- すでに設定されている項目は「緑色」、案内時期を過ぎている項目は「オレンジ色」で表示されます。
- 車の使用状況などにより、設定した時期と実際の案内が行われる時期に誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じることがあります。

4 メンテナンス案内を表示するには

エンジンスイッチをONにし、ナビゲーションが立ち上がったあとに同時に4つまで表示されます。

メンテナンスお知らせ案内

- 5つ以上の項目の案内があるときは、 その他 （その他）が表示されます。

お知らせ

P.5-8の 2 の（3）で設定した名称は案内画面の中央部に表示されます。

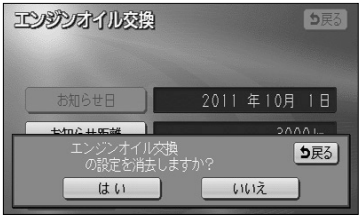
- 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときに案内が表示されません。

5 メンテナンス設定を消去するには

(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、設定を消去する項目にタッチします。

● 設定全消去 にタッチすると、すべての設定を解除します。

(2) 設定消去 にタッチします。



(3) はい にタッチすると設定が消去されます。

● 消去を中止するときは いいえ にタッチします。

6 メンテナンス設定を更新するには

(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で、案内時期を過ぎている項目にタッチします。

● 案内時期を過ぎているすべての項目を更新するときは、 自動全更新 にタッチします。

(2) 自動更新 にタッチします。

(3) はい にタッチすると前回設定された日付けや距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。

● 更新を中止するときは いいえ にタッチします。

お知らせ

●新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。(項目により、計算方法は異なります)

●案内時期を過ぎている項目がないときは、 自動全更新 は表示されません。

メンテナンスマーク一覧

	エンジンオイル交換		ブレーキパッド交換
	オイルフィルタ交換		車検
	タイヤローテイション （タイヤ位置交換）		冷却水（LLC）交換
	タイヤ交換		ブレーキフルード交換
	エアクリーナー交換		ATF（オートマチックトランスミッションフルード）交換

パーソナルマーク一覧

その他のマーク

	案内項目が5つ以上の場合		

7 利用する販売店を設定するには

メンテナンス機能でご利用される販売店を設定できます。

(1) メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で 販売店設定 にタッチします。

(2) 地図の呼び出し方を選択します。

- 名称 P.3-26
- 住所 P.3-35
- ジャンル P.3-30
- 電話 P.3-32
- 登録リスト P.3-37
- 周辺検索 P.3-40
- 郵便番号 P.3-34
- 履歴 P.3-38
- マップコード P.3-39

※それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 登録済みのよく行く場所にタッチすると、よく行く場所周辺の地図が表示されます。

(3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(4) スケール表示が 800m および 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

(5) 販売店名を入力する場合は 販売店名 にタッチします。入力後、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法については、P.4-27～4-28を参照してください。

(6) 電話番号を入力する場合は、電話番号の横にある 電話番号 にタッチします。

(7) 数字を１番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１番号ずつ消去されます。

(8) 完了 にタッチします。

(9) 販売店に行く にタッチすると、そのまま目的地を販売店に設定することができます。

- すでに目的地が設定されている場合は、 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-31を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-4を参照してください。

お知らせ

ジャンル から販売店の地図を呼び出し、地図を動かさずに設定すると、表示した施設の名称・電話番号が自動で入力されます。

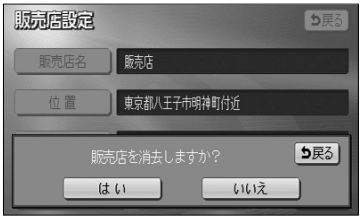
8 利用する販売店を修正・消去するには

(1) 販売店設定後、メンテナンスメニュー画面(P.5-6参照)で 販売店設定 にタッチします。

(2) 修正したい項目の横にあるスイッチにタッチします。

- 販売店名を修正する場合は 販売店名 にタッチします。
  P.5-14の 7 の (5) の操作を行ってください。
- 販売店の位置を修正する場合は、 位置 にタッチします。P.5-13の 7 の (3) ～ (4) の操作を行ってください。
- 電話番号を修正する場合は、 電話番号 にタッチします。P.5-14の 7 の (7) ～ (8) の操作を行ってください。

(3) 販売店を消去するときは 販売店の消去 にタッチします。



(4) はい にタッチすると販売店が消去されます。

- 消去を中止するときは いいえ にタッチします。

電話帳を見るには

ＪＡＦや道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定・登録した地点に電話番号が登録されていれば、メモリ地点、目的地の電話番号を表示することができます。

（1） 情報画面（P.5-1参照）で TEL にタッチします。

（2） 見たい項目にタッチします。

- 目的地 にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます。（複数の目的地が設定されているときは設定されている目的地がリスト表示されます。この場合、見たい目的地にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます）
- メモリ地点 にタッチしたときは、登録済みのメモリ地点がリスト表示されます。この場合、見たいメモリ地点にタッチすると、メモリ地点の名称と電話番号が表示されます。

（3） 見たい施設の所在する都道府県にタッチします。

（4） 見たい施設名称にタッチすると、施設の名称と電話番号が表示されます。

お知らせ

- メモリ地点に登録された電話番号に“ー”（ハイフン）は表示されません。
- 目的地、メモリ地点の電話番号は、9桁以上の電話番号が存在する場合にのみ表示されます。

カレンダーを見るには

カレンダーを表示することができます。

(1) 情報画面（P.5-1参照）を表示します。

(2) カレンダー にタッチします。

- 現在の日付のカレンダー画面が表示されます。
- ▲月 ・ ▼月 または ▲年 ・ ▼年 にタッチすると、過去の年月、未来の年月を表示することができます。過去の年月、未来の年月を表示したときは 今月 にタッチして現在月を表示することができます。

メモ

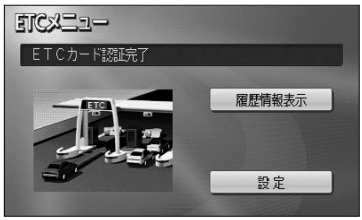
ＥＴＣシステムの操作

1 ＥＴＣシステムの概要

ＥＴＣ（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
本機能は別売のナビ対応のＥＴＣユニットを接続した場合に表示・操作できます。
詳しくはＥＴＣユニットの取扱説明書をご覧ください。

・ＥＴＣユニット ……ＥＴＣカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
・ＥＴＣカード ……ＩＣチップを搭載した、ＥＴＣユニット用カードのことです。ＥＴＣカードでは、このＩＣチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
・車線表示板 ……料金所のＥＴＣ車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況（ＥＴＣ車線・混在車線・一般車線の区別）が表示されます。
・発進制御装置（ゲート）…料金精算を確実にするために、料金所のＥＴＣ車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
・路側表示器 ……料金所のＥＴＣ車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
・路側無線装置 ……料金所のＥＴＣ車線に設置されています。料金精算のため、ＥＴＣユニットとの通信を行うためのアンテナです。

●情報画面（P.5-1参照）で、 ETC にタッチすると、ＥＴＣメニュー画面になります。



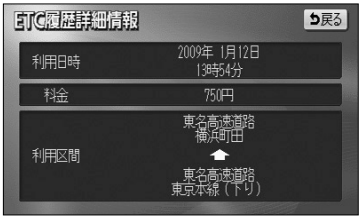
①ＥＴＣカードメッセージ
現在のＥＴＣシステムの状態が表示されます。
「ＥＴＣカード未挿入」……ＥＴＣカードが挿入されていません。
「認証中」……ＥＴＣカードを読み込んでいます。
「ＥＴＣカード異常」……ＥＴＣカードを読み込むことができません。
「ＥＴＣカード認証完了」……ＥＴＣカードが挿入された状態です。
「システム異常」……ＥＴＣシステムに何らかの異常が発生しています。（含む、ＥＴＣアンテナ外れ検知時）
「未セットアップ」……ＥＴＣがセットアップされていない状態。
「セットアップ完了」……ＥＴＣがセットアップ完了している状態。

2 履歴表示

(1) ＥＴＣメニュー画面で、 履歴情報表示 にタッチします。

(2) 次に表示された画面で、 ▲前 ・ ▼次 にタッチして表示させる履歴を切り替えます。

- 履歴を切り替えたとき 最新 にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

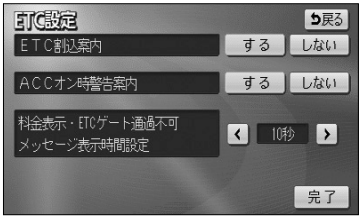


(3) 詳細 にタッチすると、利用区間が表示されます。

お知らせ

●表示させることができる履歴は、最大100件までです。
●ＥＴＣゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

3 ＥＴＣの設定



（1） ETCメニュー画面で、 設定 にタッチします。

（2） 次に表示された画面で、 する または しない にタッチしてETCの項目を設定します。

- ETC割込案内

  ETCカードを差し込んだとき、有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに、割り込み情報の表示や音声が発声されます。

  「ETCカードが挿入されました」

  「ETCに異常が発生しました　ETCがご利用できません」

  「ETCゲートを通過できません」「支払い料金は○○○○円です」

- ACCオン時警告案内

  エンジンスイッチを0（OFF）から Ⅰ（ACC）の位置にしたとき、カードの差し忘れを画面表示と音声で警告します。

  「ETCカードが挿入されていません」

（3） ◀ または ▶ にタッチすると、ETCゲート通過時に表示される徴収料金の案内メッセージとETCゲートが通過できないときに表示される通過不可案内メッセージの表示時間を調整することができます。

- 表示時間を長くするときは ▶ 、短くするときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます）

（4） 設定が終ったら 完了 にタッチします。

ETC割込案内

ACCオン時警告案内

お知らせ

- ETC割込案内は、表示させている画面により割り込み情報が表示されず音声のみの案内となることがあります。また、ETCゲートを通っても表示されないことがあります。
- ETC音声と他の音声のタイミングが重なった場合、音声案内されないことがあります。
- 本機は料金表示の最小単位は1円ですが、音声案内の最小単位は10円となります（料金が257円の場合、250円と音声案内されますが実際に徴収される料金は257円です）。
- メッセージの表示時間の調整で最長（30秒）にすると ▶ 、最短（5秒）にすると ◀ の色が反転して、タッチしても操作できません。

フロントカメラからの映像を見るには

別売のフロントカメラを装着した場合、停車時または低速走行時に本機のモニター画面に自動で前方のカメラ映像を映すことができます。

注意

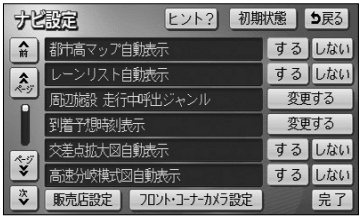
●本機（フロントカメラシステム）は障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
●カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。
●雨滴などがレンズ前面カバーに付着時、夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
●カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
●寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。

お知らせ

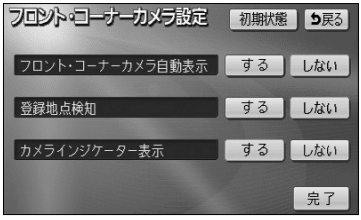
●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
●夜間または暗所ではフロントカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
●広角レンズを使用しているため、ナビ画面上に表示される映像は、実際の距離感覚とは異なります。

1 フロントカメラの設定をするには

（1）設定画面（P.2-8参照）で ナビ設定 にタッチします。



（2） フロント・コーナーカメラ設定 にタッチします。



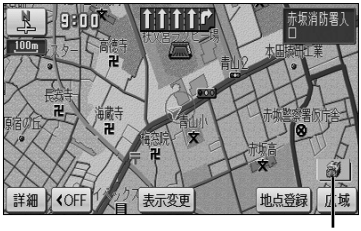
● フロントカメラの設定画面が表示されます。

（3） する または しない にタッチしてフロントカメラの項目を設定します。

● フロント・コーナーカメラ自動表示
停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

● 登録地点検知
自車が、指定した地点（P.6-7参照）から半径100m以内に存在し、停車または低速走行するとフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

● カメラインジケーター表示
現在地画面にカメラインジケーターを表示します。カメラインジケーターが点灯している場合は、停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ることを示しています。



カメラインジケーター

（4） 設定が終ったら 完了 にタッチします。

お知らせ

フロント・コーナーカメラ自動表示および登録地点検知がどちらも「する」に設定されている場合は、フロント・コーナーカメラ自動表示の設定が優先されるため自車が存在する場所に関わらず停車時または低速走行時にフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

2 前方の映像を映すには

（1）停車または低速走行します。

- フロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。
- 映像表示が可能な走行速度を超えると通常画面に戻ります。
- [▶] を2秒以上押しても通常画面に戻ります。再度、[▶] を2秒以上押すとフロントカメラの映像に切り替わります。

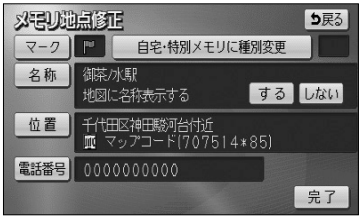
お知らせ

- 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。（P.1-26参照）

3 フロントカメラの映像を表示する地点を指定するには

（1）指定したい地点をメモリ地点に登録します。

● メモリ地点の登録方法については、P.4-20を参照してください。



（2）登録したメモリ地点の修正画面（P.4-22参照）で マーク にタッチします。

カメラマーク

（3） マーク2 にタッチして、カメラマークを選択します。

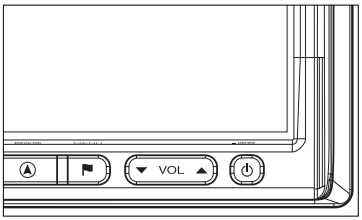
● P.6-5の 1 の（3）の画面で登録地点検知を「する」に設定しているとき、カメラマークで登録したメモリ地点の半径100m以内で停車または低速走行するとフロントカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

お知らせ

●指定した地点の半径100m以内でのみカメラ映像を自動で表示させたい場合は、P.6-5の 1 の（3）の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」、登録地点検知を「する」に設定してください。
●指定する地点はメモリ地点で登録するため、最大106件まで登録することができます。

4 予約モードに設定するには

P.6-5の1の（3）の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」に設定しているとき１度だけ、停車時または低速走行時にフロントカメラの映像に切り替えることができます。



（1） を2秒以上押します。

- 予約モードに設定され、停車時または低速走行時に１度だけ自動でフロントカメラの映像に切り替えます。

- 再度、 を2秒以上押すと予約モードを解除します。

アドバイス

- 予約モードは、次に停車するときフロントカメラの映像に自動で切り替えたいなど、必要なときだけ自動で切り替えたいときに利用すると便利です。
- 停車中または低速走行中に を2秒以上押した場合は、予約モードに設定せず、その場でフロントカメラの映像に切り替わります。

コーナーカメラからの映像を見るには

別売のコーナーカメラを装着した場合、停車時または低速走行時に本機のモニター画面に自動でコーナーカメラの映像を映すことができます。

注意

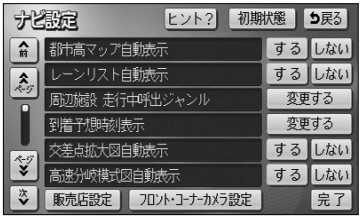
●本機（コーナーカメラシステム）は障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
●雨滴などがレンズ前面カバーに付着時、夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
●カメラ使用時も目視による安全確認を行いながら運転してください。
●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
●カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
●寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。

お知らせ

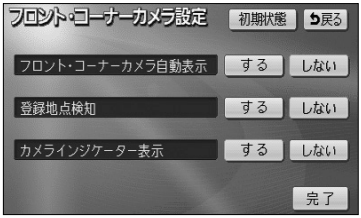
●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
[CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
●夜間または暗所ではコーナーカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。

1 コーナーカメラの設定をするには

（1） 設定画面（P.2-8参照）で ナビ設定 にタッチします。



（2） フロント・コーナーカメラ設定 にタッチします。



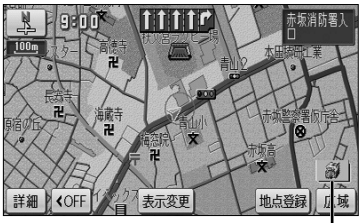
● コーナーカメラの設定画面が表示されます。

（3） する または しない にタッチしてコーナーカメラの項目を設定します。

● フロント・コーナーカメラ自動表示
停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

● 登録地点検知
自車が、指定した地点（P.6-14参照）から半径100m以内に存在し、停車または低速走行するとコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

● カメラインジケーター表示
現在地画面にカメラインジケーターを表示します。カメラインジケーターが点灯している場合は、停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ることを示しています。



カメラインジケーター

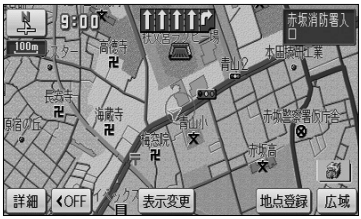
（4） 設定が終ったら 完了 にタッチします。

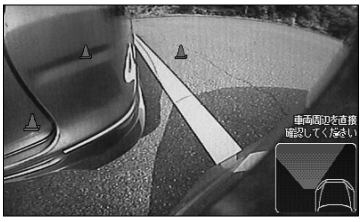
お知らせ

フロント・コーナーカメラ自動表示および登録地点検知がどちらも「する」に設定されている場合は、フロント・コーナーカメラ自動表示の設定が優先されるため自車が存在する場所に関わらず停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像が自動でモニター画面に映ります。

2 前方の映像を映すには

現在地画面





（1） 停車または低速走行します。

- 前方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 映像表示が可能な走行速度を超えると通常画面に戻ります。
- [▶] を2秒以上押しても通常画面に戻ります。再度、[▶] を2秒以上押すとコーナーカメラの映像に切り替わります。

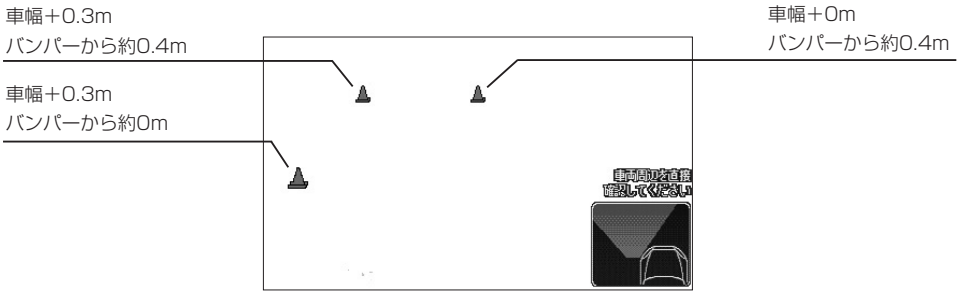
お知らせ

- 前方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。（P.1-26参照）

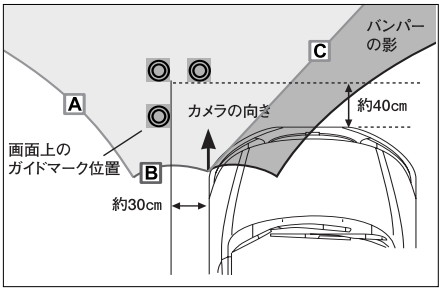
3 画面の見方について

■ガイド表示の見方

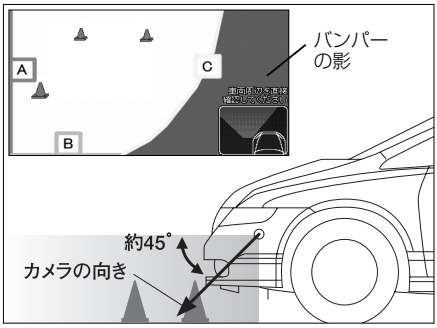
停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うマークが表示されます。



■自車の状況



※A、B、Cのラインは説明のためのイメージです。



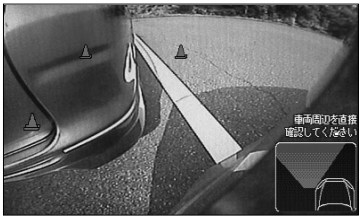
お知らせ

●ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
- ●図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
- ●次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
  - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
  - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。

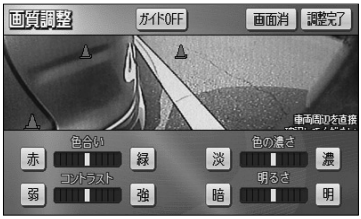
●ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

4 コーナーカメラ映像の操作

コーナーカメラ映像のガイド表示を消去したり、再び表示したりすることができます。

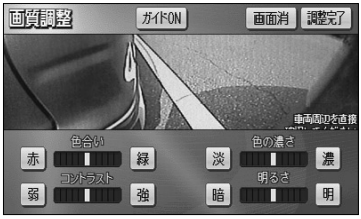


（1）コーナーカメラ映像を表示しているときに ⏻ を"ピッ"という音が鳴るまで押します。



（2） ガイドOFF にタッチすると、コーナーカメラ映像のガイド表示が消去されます。

● 消去したガイド表示を再び表示するには ガイドON にタッチします。

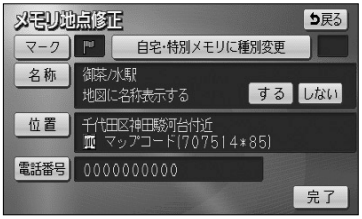


（3） 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

5 コーナーカメラの映像を表示する地点を指定するには

（1）指定したい地点をメモリ地点に登録します。

● メモリ地点の登録方法については、P.4-20を参照してください。



（2）登録したメモリ地点の修正画面（P.4-22参照）で マーク にタッチします。

カメラマーク

（3） マーク2 にタッチして、カメラマークを選択します。

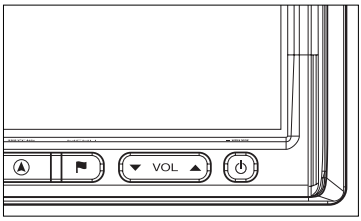
● P.6-10の 1 の（3）の画面で登録地点検知を「する」に設定しているとき、カメラマークで登録したメモリ地点の半径100m以内で停車または低速走行するとコーナーカメラの映像が自動でモニターに映ります。

お知らせ

●指定した地点の半径100m以内でのみカメラ映像を自動で表示させたい場合は、P.6-10の 1 の（3）の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」、登録地点検知を「する」に設定してください。
●指定する地点はメモリ地点で登録するため、最大106件まで登録することができます。

6 予約モードに設定するには

P.6-10の1の（3）の画面でフロント・コーナーカメラ自動表示を「しない」に設定しているとき１度だけ、停車時または低速走行時にコーナーカメラの映像に切り替えることができます。



（1） を2秒以上押します。

- 予約モードに設定され、停車時または低速走行時に１度だけ自動でコーナーカメラの映像に切り替えます。
- 再度、 を2秒以上押すと予約モードを解除します。

アドバイス

●予約モードは、次に停車するときコーナーカメラの映像に自動で切り替えたいなど、必要なときだけ自動で切り替えたいときに利用すると便利です。
●停車中または低速走行中に を2秒以上押した場合は、予約モードに設定せず、その場でコーナーカメラの映像に切り替わります。

リアカメラからの映像を見るには

別売のリアカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

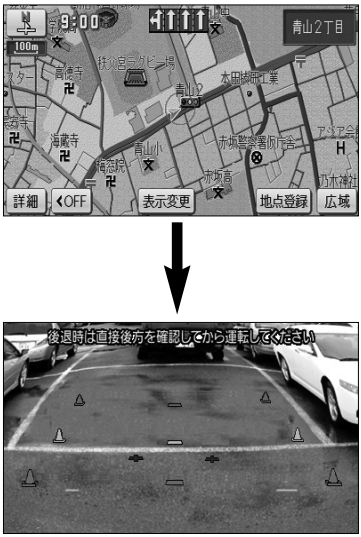
注意

- ●本機（リアカメラシステム）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- ●リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認して下さい。
- ●雨滴などがレンズ前面カバーに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
- ●自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド表示の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因になります。
- ●カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったり等は、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線等、故障の原因になります。
- ●寒いときにお湯をかける等、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。

お知らせ

- ●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
  [CCD素子特有の現象（スミア現象）です。強い光が無くなると消えます。]
- ●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- ●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- ●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- ●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- ●本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- ●夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- ●カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

1 後方の映像を映すには



（1）バックギアにシフトします。

- 後方の映像が自動でモニター画面に映ります。
- 他にシフトすると通常画面にもどります。

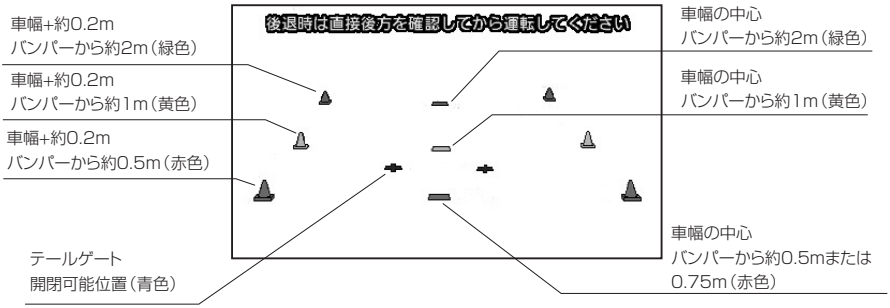
お知らせ

- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。（P1-26参照）

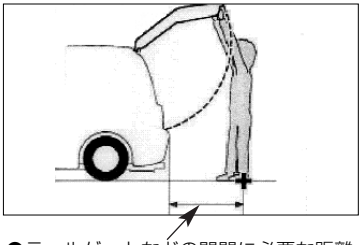
2 画面の見方について

■ガイド表示の見方

バックギアにシフトすると、モニターがリアカメラ（CCDカメラ）の映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うマークが表示されます。

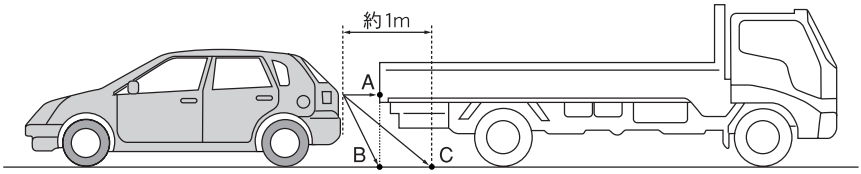


●テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

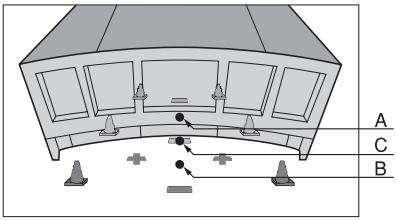


●テールゲートなどの開閉に必要な距離は各販売店にて設定されます。

■自車の状況



■画面の状況



実際には、AとBは自車から同じ距離で、CはAおよびBより遠い距離なのですが、画面上では、手前よりB、C、Aの順に映し出されます。

従って、画面上では、Cの位置(自車から約1m先)に駐車車両(トラック)があるように見えていますが、実際には、Bの位置まで後退するとトラックに接触してしまいます。

お知らせ

●ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
- ●図に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
- ●次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
  - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
  - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。

●ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映しだされた場合は実際の距離感とは異なります。

●ガイド表示は車種により異なります、販売店にお問い合わせください。

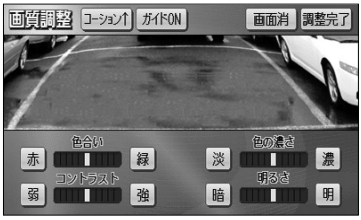
3 リアカメラ映像の操作

リアカメラ映像のガイド表示を消去したり、再び表示したりすることができます。
また、画面を見やすくするため、リアカメラ映像に表示されるコーションの表示位置を調整することもできます。

（1）リアカメラ映像を表示しているときに ⏻ を"ピッ"という音が鳴るまで押します。

（2） ガイドOFF にタッチすると、リアカメラ映像のガイド表示が消去されます。

- 消去したガイド表示を再び表示するには ガイドON にタッチします。



（3） コーション↓ にタッチすると、コーションの表示位置が画面下側に移動します。

- コーションを画面上側に移動するには コーション↑ にタッチします。

（4） 調整が終了したら 調整完了 にタッチします。

お知らせ

昼画面 はライト点灯時のみ表示されます。（P.1-25参照）

注意

コーションを画面下側に表示すると、車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。
その場合はコーションの表示位置を調整してください。

後席ディスプレイの操作

本機の後席ディスプレイ出力端子に後部座席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。別売の後席ディスプレイを接続した場合にご覧になれます。
詳しくは、後席ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

1 後席ディスプレイに表示される画面について

●後席ディスプレイには、テレビ・ビデオ機器の映像のみ表示します。
●オーディオOFF、またはテレビ・ビデオ機器以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
●ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。

お知らせ

後席ディスプレイでは、走行中／停車中に関わりなく映像が表示されるため、走行中でもテレビ・ビデオ機器の映像をご覧になることができます。

2 後席ディスプレイに映像を表示するには

本機で、後席ディスプレイの映像表示、または映像の切り替え操作などを行います。
●各映像の表示方法については以下をご覧ください。
・地上デジタル放送を見るには（P.7-16参照）
・ビデオカメラ等のモニターとして使うには（P.7-43参照）

お知らせ

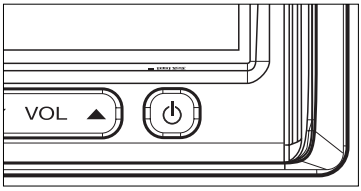
後席ディスプレイでは、映像出力のみを行います。オーディオの切り替えや画面の操作を行うことはできません。

電源の入れ方・音量調整のしかた

オーディオ機能のオン・オフや音量の調整ができます。

1 電源の入れ方

オーディオの電源のオン・オフを行うことができます。



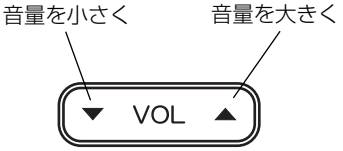
（1） エンジンスイッチを Ⅰ（ACC）または Ⅱ（ON）にします。

（2） ⏻ を押すと電源がオンになります。

● ⏻ スイッチをもう一度押すと電源はオフになります。

2 音量調整のしかた

音量の調整を行うことができます。



（1） ＶＯＬボタンで音量を調整します。

● ＶＯＬ「▲」またはＶＯＬ「▼」を押します。

お知らせ

- ＶＯＬボタンは短く押すと1ステップずつ音量が変わり、長く押すと手をはなすまで音量が変わり続けます。
- ボリュームが最大（最小）になると、それ以上の音量は変わりません。
- テレビ、iPod、AUXのボリュームは、その他のオーディオのボリュームとは別に調整することができます（P.7-16、P.7-63、P.7-74参照）。

注意

走行中の操作は安全運転に支障がないよう十分注意して行ってください。
また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

お知らせ

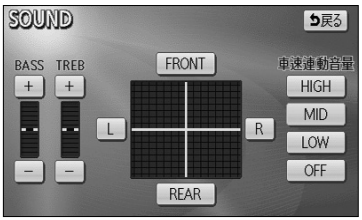
オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが故障ではありません。

音の調整

前後左右の音量や音質の調整を行ったり、自動で音量を調節するレベルを設定することができます。

1 前後音量／左右音量を調整するには

音量のバランスを調整することができます。



（1） 各モードの操作画面を表示させているときに SOUND にタッチします。

■ 前後音量を調整する

前側音量を強調する場合は FRONT 、後側音量を強調する場合は REAR にタッチします。

■ 左右音量を調整する

右側音量を強調する場合は R 、左側音量を強調する場合は L にタッチします。

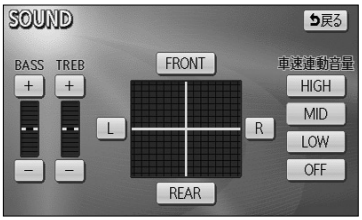
■ 音質を調整する

低音（ＢＡＳＳ）を強調する場合は ＋ 、弱めるときは － にタッチします。

高音（ＴＲＥＢ）を強調する場合は ＋ 、弱めるときは － にタッチします。

2 自動で音量を調整するには

自車の走行速度に応じて音量を自動的に大きくしたり、小さくしたりすることができます。



（1） LOW ・ MID ・ HIGH のいずれかにタッチして、自動的に調整されるレベルを設定します。

- LOW にタッチすると、自車の速度が上がると少しだけ音量を上げます。
- MID にタッチすると、自車の速度が上がると LOW のときよりも音量を上げます。
- HIGH にタッチすると、自車の速度が上がると MID のときよりも音量を上げます。

● OFF にタッチすると、車速連動音量をしない設定にします。

アドバイス

速度が速いときに車外からの騒音が大きくなり、車内のオーディオの音量が聞き取りにくいという場合に使用すると便利です。

テレビ・オーディオの切り替え

1 テレビ・オーディオの切り替え方

以下の操作でオーディオモードを切り替えることができます。

(1) ♪ を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。
- 画面左にオーディオシンプルメニューが表示されます。

(2) オーディオモードを選んでタッチします。

- AM　AMラジオに切り替わります。
- FM　FMラジオに切り替わります。
- TV　地上デジタルテレビに切り替わります。
- DISC　ディスク※1に切り替わります。
- AUX　AUXに切り替わります。
- VTR　VTR※2に切り替わります。
- iPod　iPod※2に切り替わります。
- ・))))　交通情報に切り替わります。

※1 CD、MP3/WMAが該当します。挿入されたメディアによって表示が異なります。

※2 機器を接続時のみ表示します。

●オーディオシンプルメニューに選択したいオーディオモードがない場合

(1) その他 にタッチします。

- ●オーディオシンプルメニューに表示されていないオーディオモード全てを表示します。

(2) オーディオモードを選んでタッチします。

アドバイス

オーディオシンプルメニューは、4つのオーディオモードを自由に設定することができます。設定の方法については、次ページの「オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには」を参照してください。

●オーディオシンプルメニューをカスタマイズするには

オーディオシンプルメニューには、よく使うオーディオスイッチを表示することができます。

（1） ♪ を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

（2） その他 にタッチします。

●オーディオメニュー画面が表示されます。

（3） スイッチカスタマイズ にタッチします。

●オーディオシンプルメニューカスタマイズ画面が表示されます。

（4） 既に設定されてるスイッチの中から、変更したい機能にタッチします。

●タッチした機能の設定が解除され、オーディオシンプルメニューからスイッチが消去されます。

（5） オーディオシンプルメニューに表示したい機能を選択します。

●選択した機能は、タッチした順番に空白スイッチ位置の上から設定されます。

（6） 完了 にタッチします。

アドバイス

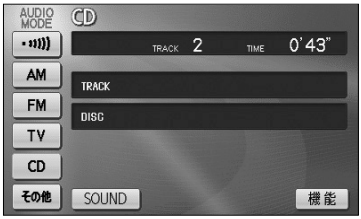
●オーディオシンプルメニューには必ず4つの機能を設定する必要があります。このため、4つの機能を選択していない場合、 完了 が反転して操作できません。

● VTR は販売店装着オプションのVTRコードが接続されていないと表示・選択できません。

● iPod はiPod本体が接続されていないと表示・選択できません。

2 オーディオ操作画面について

●オーディオ操作画面を表示するには



（1） ♪ を押します。

●選択されているオーディオモードの操作画面を表示します。

●オーディオ操作画面の表示設定を行うには

オーディオ操作画面を表示させてから一定時間後に表示を解除して元の画面に戻るか、表示をそのまま継続するかの設定ができます。

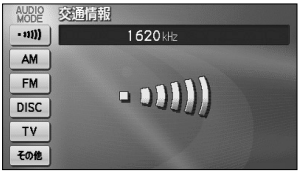
詳細は、P.1-30の 2 「画面の表示設定をするには」を参照してください。

●各オーディオモードの操作画面

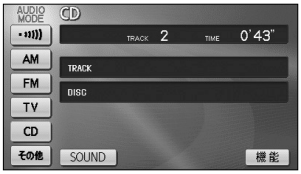
AM（P.7-44参照）

FM（P.7-44参照）

交通情報（P.7-47参照）



CD（P.7-48参照）



MP3/WMA（P.7-51参照）

デジタルテレビ（P.7-16参照）

AUX※1※2（P.7-73参照）

iPod※1※2（P.7-62参照）

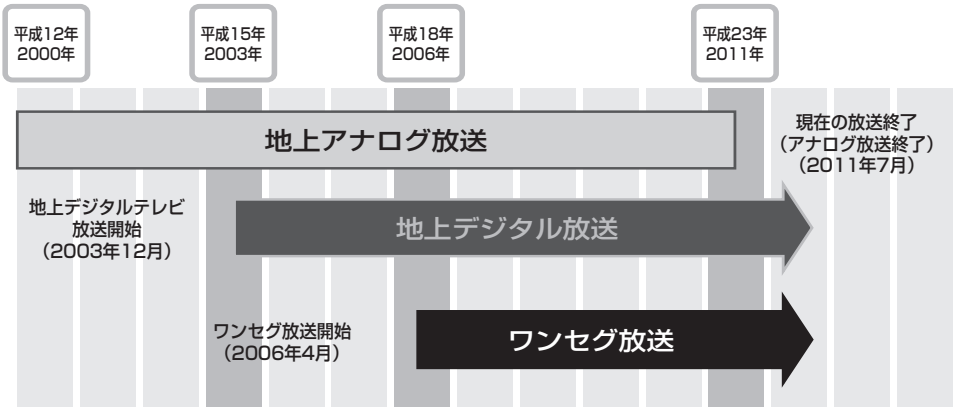
VTR※1※2（P.7-43参照）

※1 接続する各機器は、別途お買い求めください。
※2 接続コードは販売店オプション。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

地上デジタルテレビをお使いになる前に

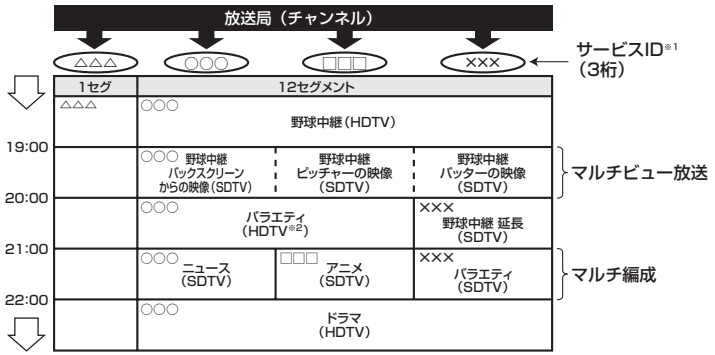
地上デジタル放送について

地上デジタル放送は、UHF帯の電波を使って行う放送で、関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。



地上デジタル放送では1つのチャンネルが、13の「セグメント」という単位で分割されています。そのうち12セグメントを使ってハイビジョン映像（HDTV）や、標準映像（SDTV）の番組を提供しています。

標準映像は1つのチャンネルで複数の番組を同時に提供することができます（マルチ編成）。残りの1セグメントは、移動体向けのワンセグ放送に使用されます。



※1 サービス内容によって、サービスIDが変更、追加される場合があります。

※2 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

サービスID・リモコンチャンネルの表示について

本機は受信している番組を、サービスID※1で表しています。また、リモコンチャンネル※2も表示します。

※1 サービスIDとは各放送局に割り当てられた2桁のチャンネル番号と、1桁のサービス番号を組み合わせたチャンネルのことをいいます。
（地上デジタル放送では1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。サービスIDとは、これらの番組（サービス）を区別するための番号です。）

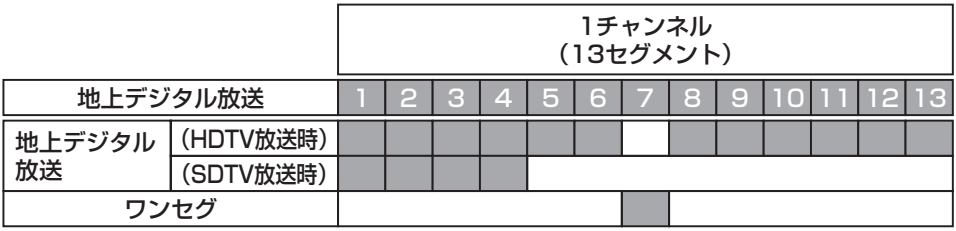
※2 リモコンチャンネルとは、家庭のテレビなどのリモコンに割り当てられているチャンネル（放送局）のことです。

アドバイス

- サービスIDの切り替えについてはP.7-17の 3 の「●TUNE・TRACKボタンで選ぶには」を参照してください。
- リモコンチャンネルの切り替えについてはP.7-17の 3 の「●プリセットスイッチで選ぶには」を参照してください。

ワンセグについて

「ワンセグ」とは、携帯、移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。
13セグメントのうち1セグメントを使うため、このように命名されました。



注意

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

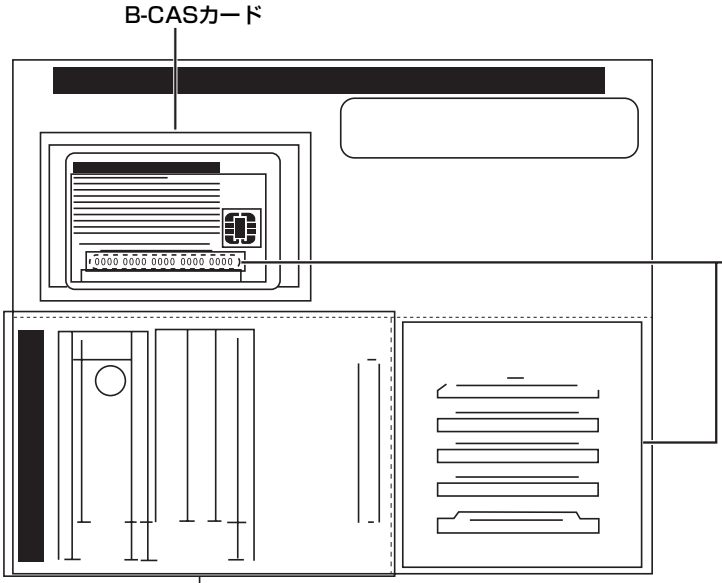
・AVC規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
・ライセンスをうけた提供者から入手されたAVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
http://www.mpegla.com

B-CASカードについて

●B-CASカードとは

B-CASカードとは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタル放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込む必要があります。
B-CASカードの動作確認についてはP.7-36を参照してください

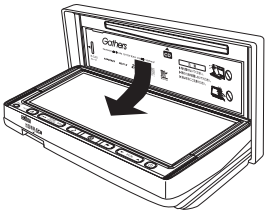


アドバイス

●より詳しい情報は、http://www.b-cas.co.jpをご覧ください。
●バス・タクシーなど、不特定または多数の人を視聴の目的とした業務用途には使用できません。
●車を手放す際のカードの取り扱いについては、販売店にご相談ください

B-CASカードの出し入れ

1 B-CASカードの入れ方

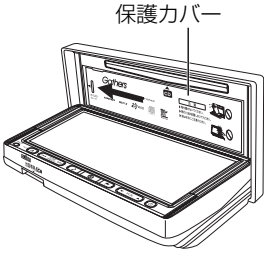


(1) ⏏を押します。

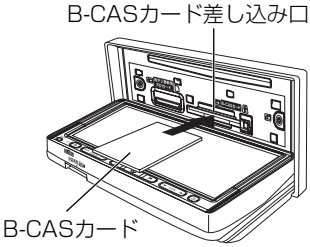
●ディスクの出し入れを行う画面が表示されます。

(2) DISPLAY OPEN にタッチします。

●ディスプレイ部が開きます。

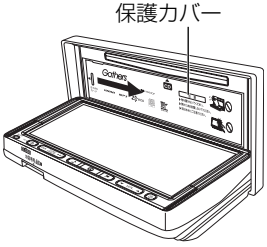


(3) 保護カバーを左にスライドし、引き上げた後、手前に引いて保護カバーを取りはずします。



(4) B-CASカード差し込み口にB-CASカードを差し込みます。

●B-CASカードは、カードの矢印表示面を上面にして差し込んでください。



(5) 保護カバーをはめ込み、右にスライドさせて保護カバーを取り付けます。

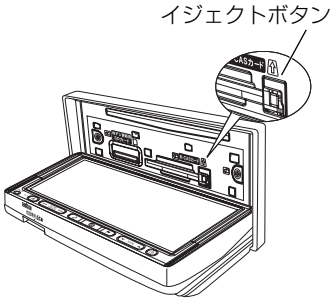
(6) B-CASカードの動作確認をします。

●B-CASカードの動作確認は必ず行ってください。詳しくは、P.7-36を参照してください。

注意

B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。

2 B-CASカードの取り出し方



（1） ディスプレイ部を開けます。（P.7-11の 1 参照）

（2） 車のエンジンスイッチを0（OFF）にします。

（3） 保護カバーを取りはずします。（P.7-11の 1 参照）

（4） イジェクトボタンを押し、B-CASカードをゆっくりと引き出します。

（5） 保護カバーをはめ込み、右にスライドさせて保護カバーを取り付けます。（P.7-11の 1 参照）

注意

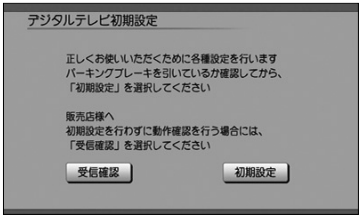
- ご使用中は、B-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- SDカードスロットは販売店専用です。SDカードスロットには何も差さないでください。

初回起動時の設定

正しくお使いいただくために、ご購入後初めてデジタルテレビをお使いになる前に、居住地域の設定、受信チャンネルの設定、B-CASカードの動作確認を行います。画面の指示に従って初期設定を行ってください。

1 初期設定を行うには

●居住地域の設定



（1） デジタルテレビを初めてお使いいただく際に表示される初期設定画面で 初期設定 にタッチします。

●郵便番号を設定する画面が表示されます。

アドバイス

受信確認 は本機を販売店で車に取り付ける際、デジタルテレビ放送のアンテナ入力レベルを確認するために使用します。

（2） 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。

（3） 決定 にタッチします。

●県域の設定をする画面が表示されます。

（4） 左の画面から自宅のある地方にタッチします。

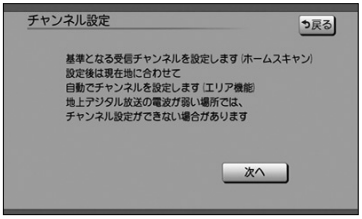
（5） 右のリストから自宅のある都道府県にタッチします。

●チャンネルを設定する画面（P.7-14参照）が表示されます。

アドバイス

●県域を設定する画面は郵便番号の入力に応じて、地方と都道府県が強調表示されます。
●伊豆、小笠原諸島地域は「沖縄・その他島部」の「東京都島部」をお選びください。
●南西諸島鹿児島県地域は「沖縄・その他島部」の「鹿児島県島部」をお選びください。
●引越しなどで居住地域の設定を変更したいときは、P.7-40「3 地域を設定する」を参照してください。

●チャンネルの設定



(1) 次へ にタッチします。

●チャンネル設定の地域を選択する画面が表示されます。

(2) ◀ または ▶ にタッチして地域を切り替えます。

(3) 決定 にタッチします。

●自宅のある地域で受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、リストが表示されます。

(4) 正しく選ばれていることを画面で確認し、 決定 にタッチします。

●B-CASカードの動作を確認する画面（P.7-36参照）が表示されます。

● ▲ または ▼ にタッチして、変更したいチャンネル番号を選択します。

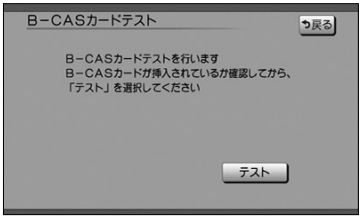
● ◀ または ▶ にタッチして、放送局を変更します。

アドバイス

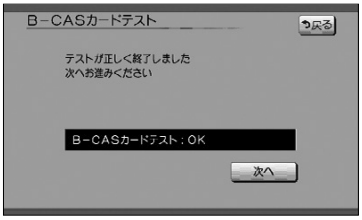
●受信される地域によっては一覧表を表示するまで約5分程度かかる場合があります。

●引越しなどでチャンネルを再度設定したいときは、P.7-20「1 ホームモードでチャンネルを設定するには」を参照してください。

●B-CASカードの動作確認



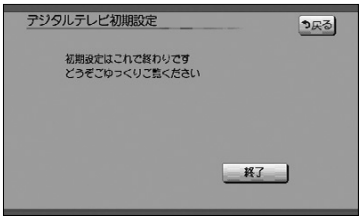
(1) テスト にタッチします。



(2) テストが正しく終了したときは 次へ にタッチします。

アドバイス

B-CASカードの異常を検出したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



(3) 終了 にタッチし、初期設定を終了します。

地上デジタル放送を見るには

本機で地上デジタル放送を楽しむことができます。

●デジタルテレビ操作画面

1 デジタルテレビを見るには

（1） ♪ を押して TV にタッチします。

●オーディオシンプルメニューに TV を設定していない場合は、その他 にタッチしてから TV にタッチします（P.7-3の1参照）。

●デジタルテレビ放送の音声に切り替わります。

●車が停車しているときはデジタルテレビ映像が表示されます。

アドバイス

●初めてお使いになる場合または個人情報の消去を行った後は、初期設定（P.7-13参照）を行います。
●デジタルテレビモード中に音量を調整すると、デジタルテレビモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
●安全のため、車を停車した場合のみデジタルテレビ映像をお楽しみいただけます。
●走行中は安全のため、デジタルテレビ映像が消え、音声だけになります。
●B-CASカードが正しく挿入されていない場合、映像と音声が出ません。
●本機を起動した直後は、すぐに映像が映らないことがあります。
●電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音声が出なくなることがあります。

2 デジタルテレビの操作画面を表示するには

（1） 音声がデジタルテレビのときに ♪ を押します。

●デジタルテレビ操作画面が表示されます。

3 選局するには

選局するには「TUNE・TRACKボタン」、「プリセットスイッチ」、「選局パネル」、「番組表」があります。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには

（1） TUNE TRACK の左右を押します。

●押すたびに番組を順々に切り替えます。

●プリセットスイッチで選ぶには

（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）でプリセットスイッチにタッチして選局します。

●それぞれのスイッチに記憶されたチャンネルがワンタッチで選局されます。

● 全画面 または映像にタッチするとデジタルテレビ映像が表示されます。

●選局パネルで選ぶには

（1） デジタルテレビ画面、またはデータ放送画面にタッチします。

●本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルを一覧表示します。

●チャンネルが７つ以上のときは ▲ または ▼ にタッチすると、リストのページを切り替えます。

● d操作 にタッチすると操作パネル（P.7-31参照）を表示します。

● 番組表 にタッチすると番組表（P.7-27参照）を表示します。

● 番組内容 にタッチすると番組内容（P.7-29参照）を表示します。

（2） 見たいタイトル（番組）にタッチして選局します。

●映像小画面にタッチするとデジタルテレビ映像が表示されます。

●番組表で選ぶには

番組表からの選局についてはP.7-27「番組表を見るには」を参照してください。

アドバイス

●ひとつの放送局で複数の番組が放送されているときは、同じリストに続けてタッチすると、番組を切り替えられます。
●ひとつの放送局で同じ番組を放送している場合があります。
●選局パネルを呼び出すときは、操作パネルを消してください。

4 プリセットモードを切り替えるには

（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **おでかけ** または **エリア** にタッチして切り替えます。

- **おでかけ** にタッチするとプリセットモードがおでかけに切り替わります。
- もう一度 **おでかけ** にタッチするとプリセットモードがホームに切り替わります。
- **エリア** にタッチすると現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。
- もう一度 **エリア** にタッチするとエリアプリセットを解除します。

アドバイス

- プリセットモードについては「チャンネルを設定するには」を参照してください。（P.7-20）
- プリセットモードがホームに設定されているときは **エリア** にタッチできません。 **おでかけ** をタッチしてから **エリア** にタッチしてください。
- デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）から **設定** をタッチした後の画面からでもエリアに切り替えることができます。（P.7-25参照）

チャンネルを設定するには

プリセットモードについて

プリセットモードは「ホーム」、「おでかけ」の2つを状況に合わせて変更することができます。

プリセットモード	説明
ホーム	自宅周辺に車があるときは「ホーム」に設定してください。自宅周辺のチャンネルを設定します。
おでかけ	旅行などのお出かけ先では「おでかけ」に設定してください。ホームとは別にお出かけ先のチャンネルを設定します。自宅周辺に帰ってきたときはホームの設定に戻すことができます。

1 ホームモードでチャンネルを設定するには

初期設定でいくつかのチャンネルが設定されますが、状況に合わせて変更することができます。ホームモードには「初期スキャン」、「再スキャン」、「マニュアル」があります。

設定方法	説明
初期スキャン	今までのホームモードのチャンネル設定をリセットし、チャンネルを再設定します。 引越しなどにより自宅周辺で受信できる※1チャンネルが変わったときに選択します。
再スキャン	今までのチャンネル設定に加えて、新たに受信できる※1チャンネルを追加します。 自宅に隣接した地域で受信できる※1チャンネルを追加したいときに選択します。
マニュアル	チャンネル設定を修正したいときに選択します。

※1 受信できないチャンネルが設定されることがあります。

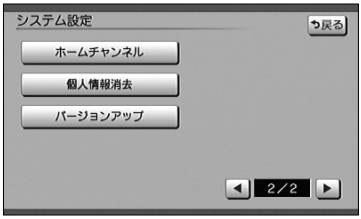
●ホーム初期スキャンでチャンネルを設定するには

(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

(2) プリセットモードがおでかけに設定されているときは ホーム にタッチします。

(3) 情報・設定 にタッチします。

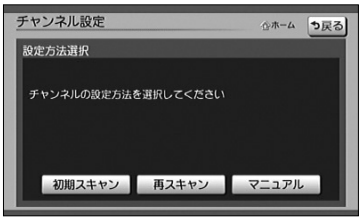
(4) システム設定 にタッチします。



(5) ホームチャンネル にタッチします。

アドバイス

プリセットモードがおでかけになっていると、ホームチャンネル スイッチが反転して操作できません。



(6) 初期スキャン にタッチします。

- 再スキャン にタッチすると自宅に隣接した地域で受信できるチャンネルを追加することができます（P.7-22参照）。
- マニュアル にタッチするとチャンネル設定を修正することができます（P.7-22参照）。

(7) ◀ または ▶ にタッチしてお住まいの地域に切り替えます。

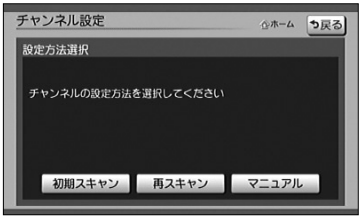
(8) 決定 にタッチします。

- 現在受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、リストが表示されます。

(9) 正しく選ばれていることを画面で確認し、決定 にタッチします。

- 修正したい場合は、P.7-22「●チャンネル設定を修正するには」の（2）を参照してください。

●ホーム再スキャンでチャンネルを設定するには



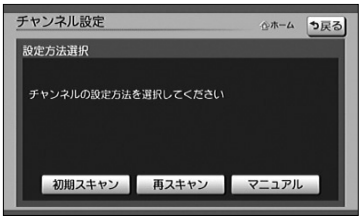
(1) P.7-21の(6)の画面で 再スキャン にタッチします。

●現在受信できる地上デジタル放送の放送局をスキャンし、スキャン終了後、新たに受信できた放送局が追加されたリストを表示します。

(2) 正しく選ばれていることを画面で確認し、 決定 にタッチします。

●修正したい場合は、「●チャンネル設定を修正するには」の(2)を参照してください。

●チャンネル設定を修正するには



(1) P.7-21の(6)の画面で マニュアル にタッチします。

●現在設定されているチャンネルのリストが表示されます。

(2) ▲ または ▼ にタッチして、修正したいチャンネル番号を選択します。

(3) ◀ または ▶ にタッチして、放送局を変更します。

(4) 決定 にタッチします。

2 おでかけモードでチャンネルを設定するには

おでかけモードには「初期スキャン」、「再スキャン」、「エリア」があります。

設定方法	説明
初期スキャン	今までのおでかけモードのチャンネル設定をリセットし、チャンネルを再設定します。おでかけ先で受信できる※1チャンネルを設定したいときに選択します。
再スキャン	今までのお出かけモードのチャンネル設定に加えて、新たに受信できる※1チャンネルを追加します。おでかけ途中で受信できる※1チャンネルを追加したいときに選択します。
エリア	現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。お車の移動に合わせてチャンネルの設定が切り替わります。

※1受信できないチャンネルが設定されることがあります。

●おでかけ初期スキャンでチャンネルを設定するには

(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

(2) 初期スキャン にタッチします。

●おでかけ初期スキャンが開始されます。

●進行状況が確認できます。

●スキャン中に 中止 にタッチするとスキャンが中断されます。

●スキャン終了後、設定されたチャンネル（放送局）のリストが表示されます。

(3) 終了 にタッチします。

●デジタルテレビ映像が表示されます。

アドバイス

デジタルテレビ操作画面（P.7-16）でピッと音が鳴るまで **おでかけ** にタッチしても、おでかけ初期スキャンが開始されます。

●おでかけ再スキャンでチャンネルを設定するには

（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で **設定** にタッチします。

（2） **再スキャン** にタッチします。

●おでかけ再スキャンが開始されます。

●進行状況が確認できます。

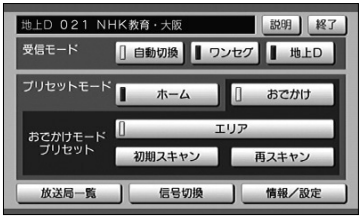
●スキャン中に **中止** にタッチするとスキャンが中断されます。

●スキャン終了後、設定されたチャンネル（放送局）のリストが表示されます。

（3） **終了** にタッチします。

●デジタルテレビ映像が表示されます。

●エリアでチャンネルを設定するには（エリアプリセット）



（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

（2） エリア にタッチします。

●作動表示灯が点灯し、エリアプリセットがONになります。

●現在地付近で放送されているチャンネルを設定します。

●もう一度 エリア にタッチするとエリアプリセットが解除されます。

アドバイス

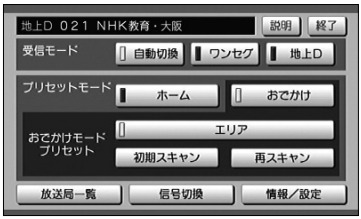
●エリアプリセットに設定している時は、チャンネル設定が現在地に合わせて自動的に更新されます。

●デジタルテレビ操作画面からでもエリアプリセットを設定することができます。（P.7-19参照）

●放送エリア拡大中の為、地域によっては放送が開始されておらず、受信できないチャンネルが設定される場合があります。

●エリアプリセットに登録されている放送局のチャンネルは2008年秋現在のデータに基づいて作成しております。このため、登録されているチャンネルと異なるチャンネルで放送が開始された場合や、データに登録されていない放送局は受信できません。

3 設定されているチャンネル（放送局）を確認するには



（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

（2） 放送局一覧 にタッチします。

●現在設定されているチャンネル（放送局）のリストが表示されます。

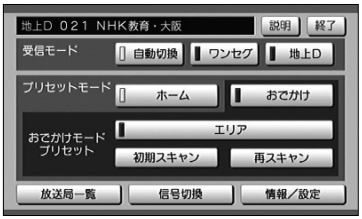
受信モードを切り換えるには

受信モードについて

以下の3通りの受信モードを設定することができます。

設定方法	説明
自動切換	地上デジタル放送のチャンネルを視聴中に、受信状況が悪化したときには、自動的にワンセグのチャンネルに切り換え、地上デジタル放送が受信できる状況になれば、自動的に地上デジタル放送のチャンネルに切り換えます。
ワンセグ	携帯電話などの移動体端末向け地上デジタル放送を受信します。 地上デジタル放送の受信状況が悪いときにご使用ください。
地上D	通常の地上デジタル放送を受信します。 ワンセグ放送は受信できなくなります。

1 受信モードを切り換えるには



（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

（2） 自動切換 、 ワンセグ または 地上D にタッチします。

●受信モードがタッチしたモードに切り換わります。

アドバイス

●自動で切り換わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
●自動で切り換わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
●ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信モードを自動切換にしていても、ワンセグに切り換わりません。

番組表を見るには

1 番組表を表示する

●番組表を呼び出すには

(1) デジタルテレビ画面、またはデータ放送画面にタッチします。

●本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルを一覧表示します。

●チャンネルが７つ以上のときは ▲ または ▼ にタッチすると、リストのページを切り替えます。

(2) 番組表 にタッチします。

●番組表が表示されます。

2 見たい番組を探す

●番組表をスクロールするには

●▲時間 にタッチすると、番組表の放送時間が戻ります。

●▼時間 にタッチすると、番組表の放送時間が進みます。

●◀チャンネル または チャンネル▶ にタッチすると、チャンネル（サービス）が切り替わります。

●別の日の放送の番組表を見たいとき

（1） 前日 にタッチすると前日、 翌日 にタッチすると翌日の番組表を表示します。

●番組表を拡大、縮小したいとき

（1） 拡大 にタッチすると拡大（3チャンネル表示）、 縮小 にタッチすると縮小（5チャンネル表示）します。

アドバイス

- ●受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、その番組情報欄にタッチすると番組情報が表示され、映像小画面がタッチした放送局になります。（数分かかる事があります）
- ●番組表の緑線部分には、短い番組が存在します。タッチすると番組が表示されます。
- ●映像小画面にタッチすると、デジタルテレビ映像を表示します。
- ●放送局名にタッチすると、タッチした放送局の映像を映像小画面に表示します。
- ●地上デジタル放送で表示されるのは最大8日分、ワンセグで表示されるのは最大で10番組です。
- ●現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見れません。

番組内容を見るには

1 番組内容を見るには

番組内容を選局パネルまたは番組表から呼び出すことができます。

●選局パネルから番組表を呼び出すには

(1) デジタルテレビ画面、またはデータ放送画面にタッチします。

●本機に設定されたチャンネルと、現在放送中の番組のタイトルがリスト表示されます。

●受信できるチャンネルが7つ以上あるときは、▲ または ▼ でページを切り替えられます。

(2) 番組内容を知りたいタイトルにタッチします。

●映像小画面がタッチした番組に切り替わります。

●同一チャンネルに複数の番組が放送されている場合は、タイトルにタッチする毎に番組が切り替わります。

(3) 番組内容 にタッチします。

●番組内容が表示されます。

● 今すぐ見る にタッチすると、選択した番組の映像に切り替わります。

(4) 番組の詳しい内容（属性）を見たいときは 属性 にタッチします。

●番組の詳しい内容が表示されます。

● 内容 にタッチすると、番組内容が表示されます。

アドバイス

電源を入れた直後は、番組内容が表示されるまで時間がかかる場合があります（約1分程度）。

●番組表から番組内容を呼び出すには

（1） 選局パネル画面（P.7-18参照）で、 番組表 にタッチします。

●番組表を表示します。番組表の操作方法については P.7-27を参照してください。

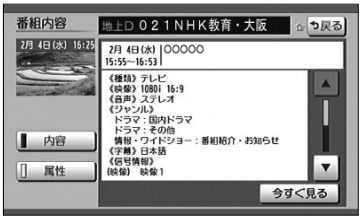
（2） 番組内容を知りたい番組、または 番組内容 にタッチします。

●番組内容が表示されます。

● 今すぐ見る にタッチすると、選択した番組の映像に切り替わります。

アドバイス

今すぐ見る は現在放送している番組の内容を表示しているときのみ表示されます。



（3） 番組の詳しい内容（属性）を見たいときは 属性 にタッチします。

●番組の詳しい内容が表示されます。

● 内容 にタッチすると、番組内容が表示されます。

データ放送を見るには

1 データ放送を見るには

データ放送とはテレビ映像のほかに、図形や文字の情報を付加した放送です。
受信するデータ放送により、番組に連動した情報もしくは独立した情報を見ることができます。

（1） 選局パネル画面（P.7-18参照）で d 操作 にタッチします。

●操作パネルが表示されます。

● 消去 にタッチすると操作パネルを消去します。

（2） d にタッチします。

●データ放送が表示されます。

●データ放送表示中に d にタッチ、もしくは選局を行うと、データ放送を終了します。

2 データ放送を操作するには

画面に表示される説明に従い操作すると、さまざまな情報を見ることができます。データ放送は操作パネルで操作します。操作方法はデータ放送により異なります。

（1） 選局パネル画面（P.7-18参照）で d 操作 にタッチします。

●操作パネルが表示されます。

●カーソルの上下左右や決定、カラーボタン（青、赤、緑、黄）の操作を行うことができます。

●データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させると、自動的に画面キーボード（P.7-32参照）を表示します。

●数字パネルを操作する

（1） 操作パネルで 数字 にタッチすると、数字パネルが表示されます。

●データ放送の番組で数字入力を受け付ける画面を表示しているときは、数字が入力できます。

● 操作 にタッチすると操作パネルの表示に戻ります。

● 消去 にタッチすると操作パネルを消去します。

●パネルを移動する

（1） 操作パネルまたは数字パネルで 位置 にタッチします。

●パネルの表示位置が左/右に切り替わります。

●文字を入力する

（1） データ放送の番組で文字入力欄にカーソルを移動させます。

●自動的に画面キーボードが表示されます。

（2） 文字を入力します。

●入力方法はP.4-27～P.4-28を参照してください。

（3） 完了 にタッチします。

アドバイス

●データ放送の情報量が多いときは、表示に時間がかかります。
●本機は双方向データサービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）には対応しておりません。
●ワンセグのデータ放送・文字スーパーには対応しておりません。

信号を切り換えるには

1つのチャンネルに複数の映像や音声があるとき、それぞれの信号を切り換えることができます。

1 画像を切り換えるには

1つのチャンネルに映像が複数ある放送を受信したとき、映像を切り換えることができます。

(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

(2) 信号切換 にタッチします。

●信号切換画面が表示されます。

(3) 信号切換画面で、映像欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●映像が切り換わります。

(4) 終了 、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

2 音声を切り換えるには

1つのチャンネルに音声が複数ある放送を受信したとき、音声を切り換えることができます。

(1) 信号切換画面で、音声欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●音声が切り換わります。

(2) 終了 、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

3 マルチビューを切り換えるには

マルチビュー放送とは、1つのチャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。
例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。
マルチビュー対応の放送を受信したとき、映像を切り換えることができます。

(1) マルチビュー欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●主番組・副番組が切り換わります。

(2) 終了 、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

4 二重音声を切り換える

二重音声対応の放送を受信したとき、音声を主音声、副音声または主+副音声に切り換えることができます。

(1) 信号切換画面で、二重音声欄の ◀ または ▶ にタッチします。

●二重音声が切り換わります。

(2) 終了 、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

5 字幕を切り換える

字幕データがある放送を受信したときの表示を切り換えることができます。

(1) 信号切換画面で、字幕欄の 第一言語 、 第二言語 または 表示しない にタッチします。

●字幕の表示が切り換わります。

● 表示しない にタッチしたときは、字幕データのある番組でも、字幕を表示しません。

(2) 終了 、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

6 文字スーパーを切り換える

文字スーパーは、視聴者にお知らせしたいことを、番組放送中の画面上に文字で表示します。文字スーパーがある放送を受信したときの表示を切り換えることができます。

(1) 信号切換画面で、文字スーパー欄の 第一言語 、 第二言語 または 表示しない にタッチします。

●文字スーパーの表示が切り換わります。

● 表示しない にタッチしたときは、文字スーパーのある番組でも、文字スーパーを表示しません。

(2) 終了 、または映像にタッチすると、元の画面に戻ります。

アドバイス

●番組によって設定できる項目と設定内容は異なります。

●ワンセグのデータ放送、文字スーパーには対応しておりません。

緊急警報放送（EWS）を見るには

緊急警報情報（EWS）について

緊急警報放送（EWS: Emergency Warning System)とは、大規模災害など緊急なできごとが発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

1 緊急警報放送（EWS）受信時の本機の動作

（1） 視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替わります。

アドバイス

緊急警報放送が終了しても、切り替わったチャンネルはそのままです。元のチャンネルには戻りません。再度、お好みのチャンネルを選局してください。

情報を見るには

1 B-CASカードの情報を見るには

B-CASカードの情報を見たり、動作確認をしたりすることができます。

●B-CASカードの情報を見るには

（1） 情報・設定のメニュー画面で B-CASカード にタッチします。

●カードの情報が表示されます。

●B-CASカードの動作確認をするには

（1） B-CASカードテスト にタッチします。

●テスト結果が表示されます。

アドバイス

「NG」が表示されたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

2 放送メールを見るには

放送局からのお知らせを見ることができます。

(1) 情報・設定のメニュー画面で 放送メール にタッチします。

●放送メールの一覧が表示されます。

(2) メールが7件以上ある場合、▲ または ▼ にタッチしてリストを動かします。

(3) 確認したいメールを選び、リストにタッチします。

●メールの内容が表示されます。

(4) 情報を表示しきれない場合は、▲ または ▼ にタッチすると表示内容をスクロールします。

アドバイス

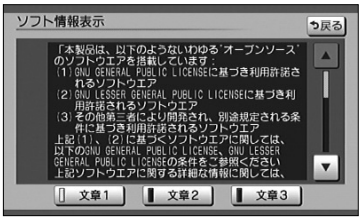
●放送メールには、放送局からのお知らせ（最大31通まで）や、暗証番号削除通知（最新の1通のみ保存）などがあります。
●メールが31件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます（未読も含みます）。
●メールの内容に合わせてスイッチが表示されることがあります。

3 ソフトウェアの情報を見るには

本機に関する情報を見ることができます。

（1） 情報・設定のメニュー画面で ソフト情報表示 にタッチします。

●ソフトウェアの情報が表示されます。

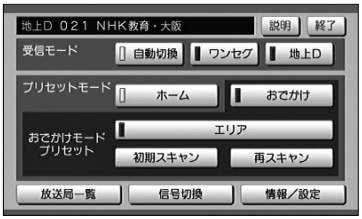


（2） 文章1 、 文章2 または 文章3 にタッチします。

●文章が切り替わります。

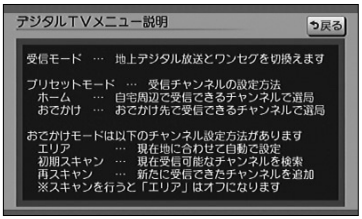
4 設定方法の説明を見るには

設定方法に関する情報を見ることができます。



（1） デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

（2） 説明 にタッチします。



●受信モード、プリセットモード、おでかけモードの設定方法の説明が表示されます。

システムを設定するには

1 オート放送局サーチを設定する

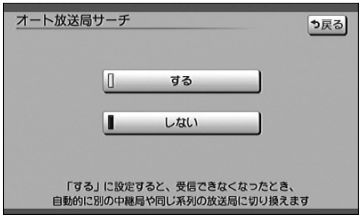
視聴中の放送局が受信不可となった時に、同一放送局の中継局または系列局のスキャンを自動実行するか設定します。

(1) デジタルテレビ操作画面（P.7-16参照）で 設定 にタッチします。

(2) 情報・設定 にタッチします。

(3) システム設定 にタッチします。

(4) オート放送局サーチにタッチします。



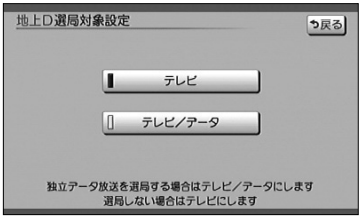
(5) する または しない にタッチします。

- する にタッチすると受信できなくなったとき、自動的に別の中継局または系列局に切り換えます。
- しない にタッチすると放送局の切り換えをしません。

2 地上デジタル放送のサービスを設定する

地上デジタル放送を選局するときに、テレビサービスと独立データサービスの全てを選局するのか、テレビサービスのみを選局するのかを設定します。

(1) システム設定画面（P.7-39の 1 の（4））で 地上D選局対象 にタッチします。



(2) テレビ／データ または テレビ にタッチします。

- テレビ／データ にタッチするとテレビサービスと独立データサービスを選局します。
- テレビ にタッチするとテレビサービスのみを選局します。

アドバイス

- この設定は番組表、選局パネルにも反映されます。
  （例）「テレビ」を設定すると番組表もテレビサービスのみを表示します。
- 「地上D選局対象」を設定できるのは、地上デジタル放送のみです。ワンセグには設定できません。

3 地域を設定する

データ放送でお住まいの地域の情報を受信するために地域を設定します。

●県域を設定するには

(1) システム設定画面（P.7-39の 1 の(4)）で 県域 にタッチします。

(2) 左の画面から自宅のある地方にタッチします。

(3) 右のリストから自宅のある都道府県にタッチします。

●システム設定画面に戻ります。

アドバイス

●伊豆、小笠原諸島地域は「沖縄・その他島部」の「東京都島部」をお選びください。

●南西諸島鹿児島県地域は「沖縄・その他島部」の「鹿児島県島部」をお選びください。

●郵便番号を設定するには

(1) システム設定画面（P.7-39の**1**の(4)）で 郵便番号 にタッチします。

(2) 自宅の郵便番号を1文字ずつタッチして入力します。

(3) 決定 にタッチします。

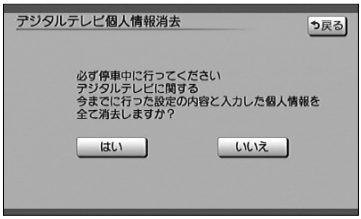
●システム設定画面に戻ります。

4 ホームモードでチャンネルを設定するには

ホームモードでチャンネルを設定するには、「ホームモードでチャンネルを設定するには」（P.7-20の**1**）を参照してください。

5 個人情報を消去するには

地上デジタルテレビの設定を工場出荷状態にします。



(1) システム設定画面（P.7-39の**1**の(4)）で、個人情報消去 にタッチします。

(2) はい にタッチします。

●本機に記録されているお客様の地上デジタルテレビ操作に関する個人情報（データ放送などで入力した個人情報）が、すべて消去されます。

●地上デジタルテレビの設定を工場出荷状態に戻します。

●個人情報消去中は、エンジンスイッチをOFFにしないでください。

アイコン一覧

本機はアイコン（機能表示のシンボルマーク）によって、いろいろな情報をお知らせします。

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール。（未読メール）

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール。（既読メール）

おでかけスキャンでのチャンネル設定時に表示

ホームスキャンでのチャンネル設定時に表示

電波状態を表示

強 ←→ 弱

弱すぎて受信できない、または、電波が届いていない

ビデオカメラ等のモニターとして使うには

市販のビデオ機器との接続でビデオモニターとして使用することができます。
（別売のVTRコードを販売店にてお求めください。）

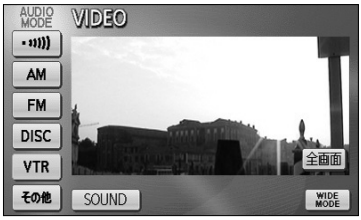
（1） ♪ を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

（2） VTR にタッチします。

●VTR(ビデオ部入力)に切り替わり、ビデオなどの映像が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに VTR を設定していない場合は、 その他 にタッチしてから VTR にタッチします。（P.7-3参照）



●♪ を押すまたは映像にタッチすると、ビデオ操作画面が表示されます。

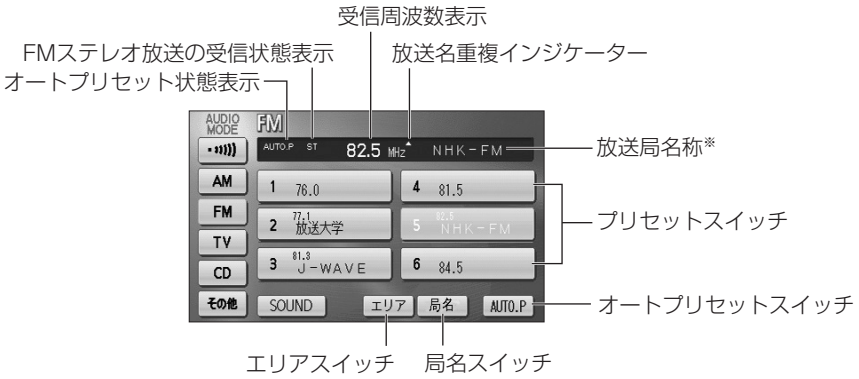
●ビデオ操作画面で 全画面 または映像部分にタッチすると、ビデオ操作画面が消去され、ビデオ映像が表示されます。

お知らせ

●ビデオ機器によっては、ビデオ中継コードが使用できないものがありますので、それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
●VTRからの入力信号が大きい場合には、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
●接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。
●ビデオ映像には、時計が重ねて表示されます。
時計は表示／非表示を設定することができます。P.1-31を参照してください。
●走行中は安全のため、ビデオ映像が消え、音声だけになります。

ラジオを聞くには

AM放送またはFM放送を受信し、聞くことができます。



※放送局名称は自車の位置によって表示されないことがあります。

1 ラジオを聞くには

(1) ♪ を押します。

- オーディオ操作画面が表示されます。

(2) FM / AM にタッチします。

- FM/AM放送の音声に切り替わり、ラジオ操作画面が表示されます。
- オーディオシンプルメニューに FM / AM を設定していない場合は、その他 にタッチしてから FM / AM にタッチします (P.7-3の 1 参照)。

アドバイス

FMステレオ放送を受信しているときは画面にSTが表示されます。

2 選局するには

（1） TUNE TRACK の左右を押すか、ラジオ操作画面でプリセットスイッチにタッチして選局します。

- TUNE TRACK の左右をピッと音がするまで押し続けると、現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を探して受信します。途中で中止するときはもう一度押します。

お知らせ

- 受信電波が弱いと、放送局を探しても受信することができない場合があります。
- ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

3 選局した放送局を記憶させるには

（1） 放送局を選局後、ラジオ操作画面でプリセットスイッチをピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
（マニュアルプリセット）

- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

（2） 自動的に記憶させる場合は、ピッと音が鳴るまで AUTO.P にタッチし続けます。

- 動作が終了するとプリセットスイッチに周波数が記憶されます。
（オートプリセット）
- プリセットスイッチにタッチすると周波数をワンタッチで選択できます。

アドバイス

AM操作画面から交通情報の周波数を設定することができます。詳細は「交通情報を聞くには」（P.7-47）を参照してください。

お知らせ

●電波の強い放送局が6局、記憶されます。
●オートプリセット動作中または動作後に AUTO.P にタッチするとプリセットメモリーは、オートプリセット動作前の状態に戻ります。
●オートプリセットを行った時は画面に「AUTO. P」が表示されます。
●電波が弱く1局もプリセットされなかった場合、プリセット局はオートプリセット動作前の状態に戻ります。

4 エリアスイッチについて

（1） ラジオ操作画面で エリア にタッチします。

● その地域で放送されている放送局名と受信周波数が画面に表示されます。

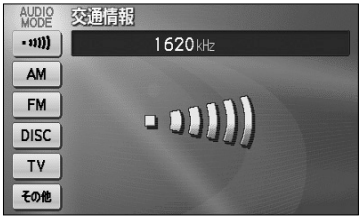
（2） プリセットスイッチにタッチして選択します。

アドバイス

●旅先などで放送局の受信チャンネルがわからないときなどに便利です。
●放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、▲が表示されることがあります。▲が表示されたときは 局名 にタッチすると重複したもう1つの放送局名に切り替えることができます。
●エリアスイッチで放送局表示させた場合は、「AREA. P」が表示されます。

交通情報を聞くには

交通情報を受信し、聞くことができます。



(1) ♪を押します。

● オーディオ画面が表示されます。

(2) ・))))にタッチします。

● 交通情報放送を行っている地域で交通情報を受信できます。

(3) 交通情報の周波数を別の周波数に変更するにはAM操作画面（P.7-44参照）で記憶させたい周波数を選局します。

● 選局する方法については、P.7-45を参照してください。

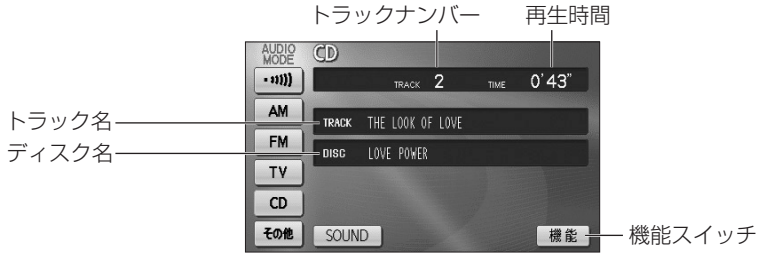
(4) ・))))をピッと音がするまでタッチし続けます。

お知らせ

初期設定では1620ｋHｚにセットしてあります。

CDプレーヤーでCDを聞くには

CDを再生し、聞くことができます。CDの出し入れについてはP.1-16を参照してください。



1 CDを聞くには

●CDが挿入されていない場合

(1) ディスク差し込み口にCDを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

●再生中に ♪ を押すとCD操作画面が表示されます。

●CDが挿入されている場合

(1) ♪ を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

(2) CD にタッチします。

●CD操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに CD を設定していない場合は、その他 にタッチしてから CD にタッチします。(P.7-3の 1 参照)

アドバイス

●本機では、CDエキストラの映像再生はできません。
●マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、最初のセッションに記録されているデータのみ再生することができます。

お知らせ

●録音機種によってはディスクが再生されないことがあります。
●ＣＤ操作画面に表示される文字数は以下のとおりです。
ディスクタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
トラックタイトル・・・半角で最大24文字、全角文字で最大12文字まで、先頭から表示します。
●録音（入力）機種によっては文字（記号）タイトルが表示されないことがあります。
●CD－TEXT情報のあるCDを再生中は、CD－TEXT情報を表示します。

2 曲を選ぶには

（1） TUNE TRACK の左右を押します。

- 右側を1回押すと、次の曲を再生します。
- 左側を1回押すと、曲の先頭に戻ります。
- 左側を続けて2回押すと、前の曲を再生します。

3 早送り・早戻しをするには

（1） TUNE TRACK の左右を押し続けます。

- 右側を押し続けると早送りできます。
- 左側を押し続けると早戻しできます。
- 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

4 再生中のディスクの中から希望する曲を探すには

(1) 機能 にタッチします。

(2) SCAN にタッチします。

- SCAN の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中の次の曲から、曲の始めの部分を約10秒間ずつ、次々に再生します。
- 解除するにはもう一度 SCAN にタッチします。解除されたところから再生を続けます。

5 同じ曲をリピート再生するには

(1) 機能 にタッチします。

(2) RPT にタッチします。

- RPT の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RPT”の文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 RPT にタッチします。

6 曲の順番をランダムに聞くには

(1) 機能 にタッチします。

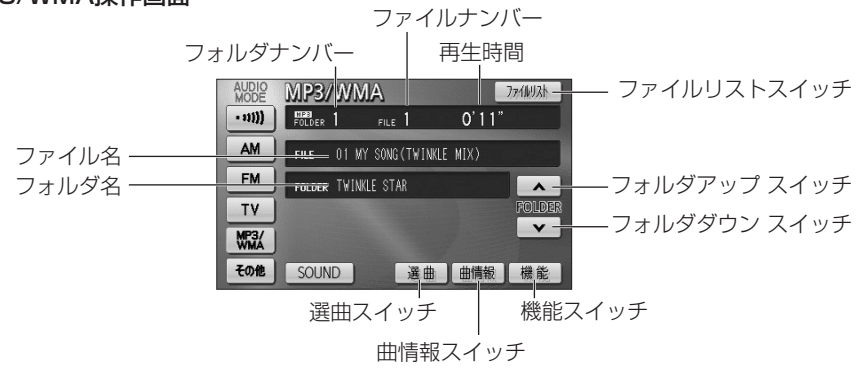
(2) RAND にタッチします。

- RAND の作動表示灯が点灯し、画面左上部に“RAND”の文字が表示されます。
- 解除するにはもう一度 RAND にタッチします。

MP3/WMAプレーヤーで音楽を聞くには

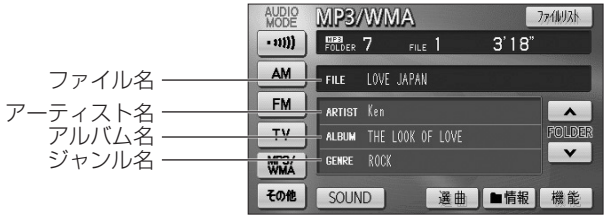
CD-ROM、CD-R/RWに記録されたMP3/WMAファイルを聞くことができます。

●MP3/WMA操作画面



●MP3楽曲情報画面
（WMA楽曲情報画面）

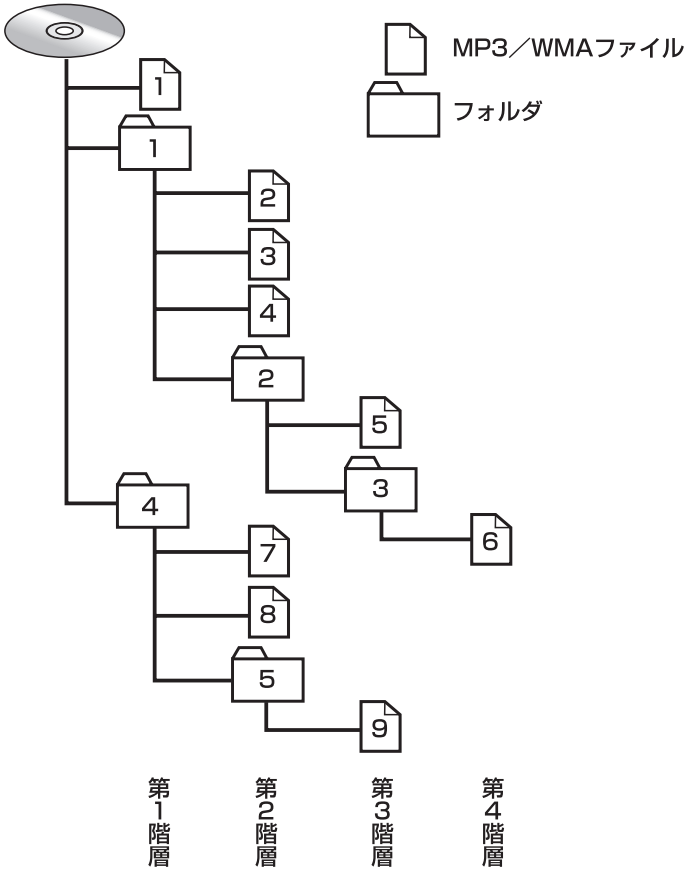
曲情報 ⇅ ■情報



お知らせ

- MP3/WMA操作画面で 曲情報 にタッチすると、再生中の楽曲の情報が表示されます。
- MP3楽曲情報画面では、MP3ファイルのID3タグ情報（P.7-59参照）を表示します。
- WMA楽曲情報画面では、WMAファイルのWMAタグ情報（P.7-59参照）を表示します。
- MP3の楽曲情報を表示するのに、時間がかかる場合があります。
- 画面に表示させることができるフォルダ名、ファイル名の文字数は、最大12文字（半角のみのときは24文字）までです。また、記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されない場合があります。

●MP3/WMA対応ディスクの構造例



お知らせ

●フォルダに格納されずディスクに直接格納されているファイル1は、本機のMP3/WMAプレーヤーで再生する場合に“ROOT FOLDER”という架空のフォルダに格納されます。
●MP3／WMAファイルが直接格納されていないフォルダは、本機では表示されません。
●同じディスク（同一セッション）に音楽CD（CDDA）データとMP3/WMAデータが混在する場合、MP3/WMAデータは再生されません。
●同じディスクにオーディオファイル（WAVEデータ）とMP3／WMAデータが混在する場合には、MP3／WMAデータのみ再生することができます。
●マルチセッションにより複数のセッションが存在するディスクでは、すべてのセッションを再生できない場合があります。

1 MP3/WMAディスクを聞くには

●ディスクが挿入されていない場合

(1) ディスク差し込み口にディスクを差し込むと自動的に電源が入り、再生を始めます。

●再生中に ♪ を押すとMP3/WMA操作画面が表示されます。

●ディスクが挿入されている場合

(1) ♪ を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

(2) MP3/WMA にタッチします。

●MP3/WMA操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに MP3/WMA を設定していない場合は その他 にタッチしてから MP3/WMA にタッチします（P.7-3の 1 参照）。

お知らせ

●通常は 1→2→3→4→5→6→7→8→9（「●MP3/WMA対応ディスクの構造例」を参照）の順に再生します。

●再生中のファイルのモードを、“MP3”または“WMA”で表示します。

2 聞きたいフォルダを選ぶには

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

●操作画面で選ぶには

(1) MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で ▲ または ▼ にタッチします。

● 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

●選曲フォルダリスト画面で選ぶには

（1） MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 選曲 にタッチします。

（2）聞きたいフォルダ（リスト）にタッチします。

● 選択したフォルダに格納されている最初のファイルから再生を開始します。

3 聞きたいファイルを選ぶには

ディスクの中から聞きたいファイルを選ぶことができます。

●TUNE・TRACKボタンで選ぶには

（1） TUNE TRACK の左右を押します。

● 右側を1回押すと、次のファイルを再生します。
● 左側を1回押すと、ファイルの先頭に戻ります。
● 左側を続けて2回押すと、前のファイルを再生します。

●選曲ファイルリスト画面で選ぶには

（1） 2 の「●選局フォルダリスト画面で選ぶには」の(2)の画面で にタッチします。

●走行中はリストのスクロール操作はできません。

(2) ファイル（リスト）にタッチします。

● 選択したファイルの再生を開始します。
● トップ画面へ にタッチすると、MP3/WMA操作画面を表示します。

●ファイルリスト画面で選ぶには

(1) ファイルリスト にタッチします。

●走行中はリストのスクロール操作はできません。

(2) ファイル（リスト）にタッチします。

● 選択したファイルの再生を開始します。

4 早送り・早戻しをするには

(1) TUNE TRACK の左右をピッと音が鳴るまで押し続けます。

● 右側を押し続けると早送りできます。

● 左側を押し続けると早戻しできます。

● 手をはなすと、はなした位置から再生が開始されます。

5 同じファイルをリピート再生するには

(1) MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 機能 にタッチします。

(2) RPT にタッチします。

● RPT の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RPT”の文字が表示されます。

● 再生中のファイルを繰り返し再生します。

● 解除するにはもう一度 RPT にタッチします。

6 同じフォルダをリピート再生するには

（1） MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 機能 にタッチします。

（2） FOLDER RPT にタッチします（フォルダリピート）。

- FOLDER RPT の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RPT”の文字が表示されます。
- 現在再生中のファイルと同じフォルダにあるファイルを繰り返し再生します。
- 解除するにはもう一度 FOLDER RPT にタッチします。

7 再生中のフォルダの中からランダムに再生するには

（1） MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 機能 にタッチします。

（2） RAND にタッチします。

- RAND の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“RAND”の文字が表示されます。
- 再生中のフォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
- 解除するにはもう一度 RAND にタッチします。

8 全フォルダの中からランダムに再生するには

（1） MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 機能 にタッチします。

（2） FOLDER RAND にタッチします（フォルダランダム）。

- FOLDER RAND の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. RAND”の文字が表示されます。
- ディスク内の全フォルダの中からランダム（無作為）にファイルが選択され再生します。
- 解除するにはもう一度 FOLDER RAND にタッチします。

9 再生中のフォルダの中からファイルを探すには

(1) MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 機能 にタッチします。

(2) SCAN タッチします。

- SCAN の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中のファイルの次のファイルから、フォルダ内の全ファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 SCAN にタッチします。解除されたところから再生を続けます。
- 全ファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

10 全フォルダの中からフォルダを探すには

(1) MP3/WMA操作画面（P.7-51参照）で 機能 にタッチします。

(2) FOLDER SCAN にタッチします（フォルダスキャン）。

- FOLDER SCAN の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“FLD. SCAN”の文字が表示されます。
- 再生中のフォルダの次のフォルダから、各フォルダ内の先頭にあるファイルの始めの部分を、10秒間ずつ再生します。
- 解除するにはもう一度 FOLDER SCAN にタッチします。 解除されたところから再生を続けます。
- 全フォルダの先頭にあるファイルの再生が終わると自動的に解除されます。

●MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio Layer3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。
WMA（Windows Media™Audio)はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。
使用できるMP3/WMAファイルの規格や記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

●対応規格

MP3(MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3 LSF)

●対応サンプリング周波数

MPEG-1 Audio Layer3　：32、44.1、48 (kHz)
MPEG-2 Audio Layer3 LSF　：16、22.05、24 (kHz)

●対応ビットレート

MPEG-1 Audio Layer3　：32、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
MPEG-2 Audio Layer3 LSF　：8、16、32、64、80、96、112、128、144、160 (kbps)
※VBRに対応しています。

●対応チャンネルモード　：ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能なWMAファイルの規格について

●対応規格

WMA Ver. 7、8、9

●対応サンプリング周波数

32、44.1、48(kHz)

●対応ビットレート

Ver.7、8、9：CBR 48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
※VBRに対応しています。（Ver. 9の44.1、48(kHz)のみ)
※2ch再生のみ対応しています。

ID3タグ／WMAタグについて

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
本機では、ID3 Ver. 1.0、1.1、2.3、2.4のID3タグに対応しています。
※Riff SIFには対応しておりません。
WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、オーサー名（アーティスト名）を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R、CD-RWおよびCD-ROMです。
なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは通常の音楽CD(CDDA)に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズをつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
一部のCD-R、CD-RW、CD-ROMは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
なお、CD-R、CD-RW、CD-ROMは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

●ディスクフォーマット
CD-ROM Mode 1
CD-ROM XA Mode 2 Form 1

●ファイルフォーマット
ISO9660レベル1、2
Joliet
Romeo

※パケットライト方式には対応しておりません。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

●最大ディレクトリ階層　：8階層
●最大フォルダ名／ファイル名文字数　：全角16文字。半角のみのときは32文字。
●最大フォルダ数　：192（ルート含む）
●ディスク内最大ファイル数　：255

ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“.mp3”/“.wma”がついたものだけです。
MP3/WMAファイルには、“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

本機は、マルチセッションに対応しておりません。1枚のディスクに2つ以上のセッションが記録されている場合は、全てのセッションを再生できない場合があります。

MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが格納されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初のMP3/WMAファイルを再生します。ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
※VBRで作成したファイルの早送り・早戻し動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番について

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは次のような順番で表示します。

1. MP3/WMAファイルを格納しているフォルダにフォルダナンバーが順番に付与されます。この順番は同一階層にあるフォルダよりも下位階層にあるフォルダが優先となります。
2. 次にフォルダ内のファイルがファイル名順（0~9、A~Z等）に並べられます。
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAファイルが存在する場合はMP3を優先して表示します。

お知らせ

MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけないでください。

●MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方について

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合について

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、視聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示どおりにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合について

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/CD-RWに書き込む場合について

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介して、ライティングソフトにてCD-R/RWに書き込みます。

・ISO9660レベル1、2またはJolietまたはRomeoというファイルフォーマットに設定してください。
・CD-RWを消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
・CD-R/RWは、書き込みの設定でセッションとCDの終了処理を行ってください。

※使用方法などはライティングソフトで異なりますので確認してください。

・ライブファイルシステム形式で記録されたディスクには対応しておりません（Microsoft Windows Vistaをご使用の際は設定をご確認ください）。

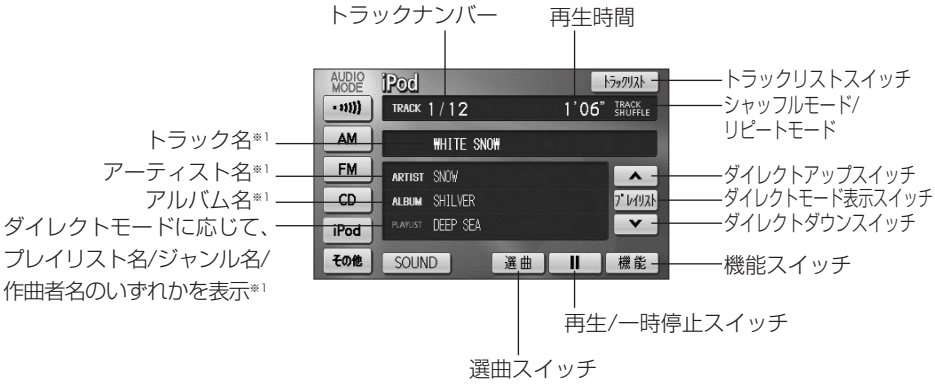
お知らせ

●安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
●CD-R／CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。また、本機ではディスクアットワンス、トラックアットワンスで記録されたディスクをご使用ください。
●MP3/WMAは市場にフリーウェアなど、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
●ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
●Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

iPod®で音楽を聞くには

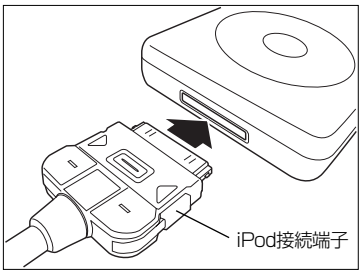
オプションのiPod接続コードを購入した場合、iPodを本機に接続して、iPodの音楽を聞くことができます。また、選曲やシャッフルモードの切り替えを、本機で操作することができます。
iPodは、米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

●iPod操作画面



※1 日本語および英語表記のみ対応

1 iPodを本機に接続するには



（1） iPod本体に接続されているイヤホン、リモコン、ACアダプターなどを、すべて取りはずします。

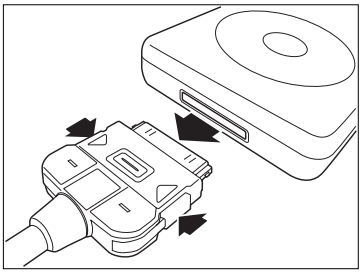
（2） iPod接続端子に、iPodを接続します。

●iPod接続端子の位置は、機種によって異なります。

●iPod再生状態に関わらず、本機に接続すると自動的に一時停止、全曲リピートモードになります。

●本機に接続中、iPodは充電されます。

●取りはずすには



（1） iPod接続端子を矢印の方向に押しながら、取り外します。

アドバイス

- iPodモード中に音量を調整すると、iPodモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- iPodに収録されている曲数、ソフトバージョンによっては、iPodとの通信状態により、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しないことがありますが、故障ではありません。
- iPodにイヤホンやリモコンなどのアクセサリーを挿したまま使用しないでください。その場合、動作保証対象外となります。
- iPodで音楽再生している間は、接続ケーブルを抜かないでください。iPodが故障する場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodを本機から取り外し、iPod本体をリセットしてから本機に再度接続してご使用ください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書をご覧ください。

注意

運転中は、安全のため、ヘッドフォンまたはイヤホンを使用しないでください。

2 iPodを聞くには

(1) ♪ を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

(2) iPod にタッチします。

●iPod操作画面が表示されます。

●オーディオシンプルメニューに iPod を設定していない場合は、その他 にタッチしてから iPod にタッチします（P.7-3の 1 参照）。

3 曲を頭出しするには

(1) TUNE TRACK の左右を押します。

●右側を1回押すと、次のトラック（曲）を再生します。

●左側を1回押すと、トラック（曲）の先頭に戻ります。

●左側を続けて2回押すと、前のトラック（曲）を再生します。

アドバイス

- 前のトラックの再生を行う場合は、トラックの再生時間が3秒以内に左側を押します。5曲前のトラックを再生する場合は、左側を続けて6回押します。
- 右側または左側を押し続けると、早送りまたは早戻しになります。再生するトラックを変更する場合には、短く押してください。

4 早送り・早戻しをするには

●トラックスイッチで選ぶ

（1） TUNE TRACK の左右を押し続けます。

●右側を押し続けると、早送りできます。
●左側を押し続けると、早戻しできます。
●手をはなすとはなした位置から再生が開始されます。

アドバイス

早送りによりトラックの最後まで送った場合は、次のトラックに移り通常の再生を行います。
早戻しによりトラックの最初まで戻った場合は、トラックの先頭から通常の再生を行います。

5 再生を一時停止するには

（1） ⏸ にタッチします。

●一時停止中は、 ▶ が表示されます。
●通常の再生に戻すには、 ▶ をタッチします。

6 同じ曲をリピート再生するには

●1曲をリピート再生するには

（1） 機能 にタッチします。

（2） RPT1曲 にタッチします。

● RPT1曲 の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“TRACK RPT”の文字が表示されます。

●再生対象曲全てをリピート再生するには

(1) 機能 にタッチします。

(2) RPTプレイリスト にタッチします。

●RPTプレイリスト の作動表示灯が点灯し、画面右上部に“PLAYLIST RPT”の文字が表示されます。

7 曲の順番をランダムに聞くには(シャッフル再生)

●曲をシャッフルするには

(1) iPod操作画面（P.7-62参照）で、 機能 にタッチします。

(2) SHUFFLE曲 をタッチします。

●SHUFFLE曲 が点灯し、画面右上部に"TRACK SHUFFLE"の文字が表示されます。

●再生対象となっている曲全てからランダム（無作為）に並べて再生します。

●アルバムをシャッフルするには

(1) iPod操作画面（P.7-62参照）で、 機能 にタッチします。

(2) SHUFFLEアルバム をタッチします。

●SHUFFLEアルバム が点灯し、画面右上部に"ALBUM SHUFFLE"の文字が表示されます。

●再生対象曲をアルバム単位でアルバムの順番をランダム（無作為）に並べて再生します。

アドバイス

再生される順序は、iPod本体の動作に準じます。

8 リストから曲を選ぶには

(1) iPod操作画面（P.7-62参照）で、 選曲 にタッチします。

●選曲画面

(2) 表示したいリストを選んでタッチします。

- ▶ 5個目以降のタブ画面へ切替えます。
- 選択されているタブ以外を選択すると再生曲が切り替わります。
- プレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者を選択した場合は、選択した項目の全曲を再生します。
- ▲ ▼ ⏫ ⏬ リストを動かします。
- ALL 選択したリストの全曲が再生されます。
- 選択した項目に登録されているリストが表示されます。

(3) リストから項目を選びます。

- 選んだ項目の再生を開始します。
- トップ画面へ iPod操作画面に戻ります。

アドバイス

- 各リスト画面に表示される文字数は、半角で最大38文字、全角文字で16文字まで、先頭から表示します。
- iPodを接続後、ダイレクトモードを選択（P.7-67参照）するまでは、選曲画面のリストは表示されません。
- プレイリスト、ポッドキャスト、曲の場合は、 ALL リストは表示されません。
- 曲のリストを表示している場合は、 は表示されません。
- 現在再生しているプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者は強調表示されます。
- リストを表示するときは、現在再生しているトラックを含むプレイリスト、アーティスト、アルバム、ポッドキャスト、ジャンル、作曲者が一番上に表示されます（再生中トラックを含まない場合は、先頭から表示します）。また、リストは再生する順に表示されます。
- スクロールスイッチは表示されているリストを5分割し、タッチした場所に応じたリストを表示します。

9 ダイレクトモードで選曲するには

ダイレクトモードとは、選択したモードを単位として再生対象曲を切り替えることができる機能です。ここでは、ダイレクトモードでプレイリストを選択した場合で説明します。

●選曲画面から選択

●iPod操作画面から選択

ダイレクトモード表示部

(1) 選曲画面からダイレクトモードを選択する場合は、iPod操作画面（P.7-62参照）で、 選曲 にタッチします。
iPod操作画面からダイレクトモードを選択する場合は、iPod操作画面（P.7-62参照）で、ダイレクトモード表示部にタッチします。

(2) プレイリスト にタッチします。

- ●モードを「プレイリスト」に設定して、前回の「プレイリスト」モードで再生していたプレイリストに再生対象曲を切り替えます。
- ● アーティスト にタッチすると、モードを「アーティスト」に設定して、前回の「アーティスト」モードで再生していたアーティストに再生対象曲を切り替えます。
- ● アルバム にタッチすると、モードを「アルバム」に設定して、前回の「アルバム」モードで再生していたアルバムに再生対象曲を切り替えます。
- ● 曲 にタッチすると、モードを「曲」に設定して、先頭曲に再生対象曲を切り替えます。
- ● ポッドキャスト にタッチすると、モードを「ポッドキャスト」に設定して、前回の「ポッドキャスト」モードで再生していたポッドキャストに再生対象曲を切り替えます。
- ● ジャンル にタッチすると、モードを「ジャンル」に設定して、前回の「ジャンル」モードで再生していたジャンルに再生対象曲を切り替えます。
- ● 作曲者 にタッチすると、モードを「作曲者」に設定して、前回の「作曲者」モードで再生していた作曲者に再生対象曲を切り替えます。
- ●初回は先頭リストに再生対象曲を切り替えます。
- ●選択したモードがダイレクトモード表示部に表示されます。

ダイレクトモード表示部

(3) ▲ または ▼ にタッチすると、選択したモードごとに再生対象曲を切り替えることができます。

- ▲ にタッチすると、再生中のプレイリストの次のプレイリストに再生対象曲が切り替わります。
- ▼ にタッチすると、再生中のプレイリストの1つ前のプレイリストに再生対象曲が切り替わります。

アドバイス

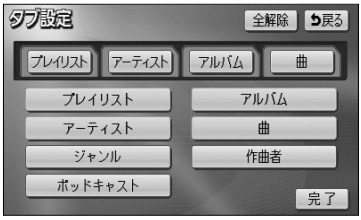
- iPod操作画面に表示されるプレイリスト名、ジャンル名、作曲者名、ポッドキャスト名は、ダイレクトモードでプレイリスト、ジャンル、作曲者、ポッドキャストのいずれかを選択している場合に表示されます。
- ▲ または ▼ をタッチして選曲される順序は、iPod本体の動作に準じます。
- 本機にiPodを接続または再接続、エンジンスイッチをOFFした場合は、ダイレクトモードの選択が解除されます。
- ダイレクトモードで「曲」を選択している場合は、▲ または ▼ が選択できません。

10 タブのカスタマイズをするには

(1) iPod操作画面（P.7-62参照）で、 選曲 にタッチします。

(2) タブ設定 にタッチします。

●タブ設定画面が表示されます。



(3) 選曲画面のタブ表示順番で、1～4番目に配置したい項目にタッチします。

●初期設定は、 プレイリスト ・ アーティスト ・ アルバム ・ 曲 に設定されています。

●選択している項目にタッチすると、選択を解除できます。

● 全解除 にタッチすると選択している項目がすべて解除できます。

(4) 完了 にタッチします。

●選択した項目が、選曲画面の1～4番目のタブに配置されます。

●選択しなかった項目は、選曲画面の5～7番目のタブとして配置されます。

●現在設定されているダイレクトモードのタブが存在する選曲画面を表示します。

11 再生するトラックの一覧を表示するには

スクロールスイッチ

（1） iPod操作画面（P.7-62参照）で、トラックリストにタッチします。

●再生対象となっているトラックが再生順に全て表示されます。

●▲ ▼ ⏫ ⏬リストを動かします。

（2） 表示されているトラックにタッチするとタッチしたトラックの再生を開始します。

アドバイス

●リストは再生する順に表示されます。
●現在再生しているトラックはリストが強調表示されます。
●リストを表示するときは、現在再生しているトラックのリストが一番上に表示されます。
●スクロールスイッチは表示されているリストを5分割し、タッチした場所に応じたリストを表示します。

12 対応iPod機種一覧

2009年3月現在

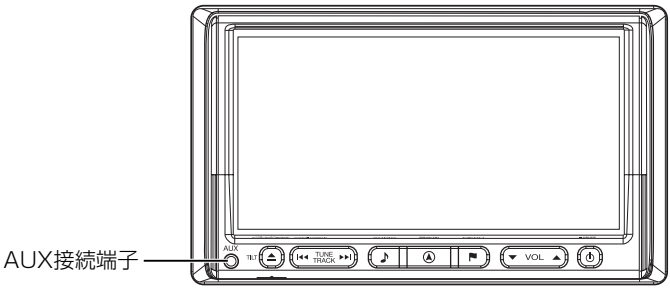
機種	世代	バージョン
iPod	第5世代	1.3 以降
iPod classic	第6世代	1.1.2 以降
iPod nano	第1世代	1.3.1 以降
	第2世代	1.1.3 以降
	第3世代	1.1.2 以降
	第4世代	1.0.2 以降
iPod touch	第1世代	1.1.5 以降
	第2世代	2.2.1 以降

アドバイス

●iPodのバージョン情報は、iPod本体で確認できます。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。
●iPodで再生できる動画や静止画は、本機で再生できません。
●オーディオブック機能には対応していません。

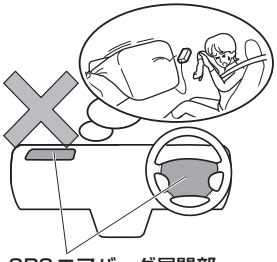
ポータブルオーディオ機器を接続して使う（AUX）

市販のポータブルオーディオを接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を聞くことができます。
ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「AUX接続コード」をご使用ください。
※本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえご使用ください。

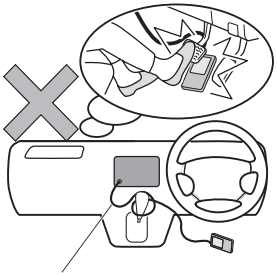


●ポータブルオーディオをお使いになる前に

⚠注 意



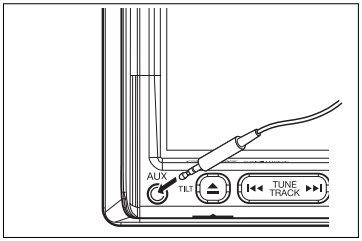
●接続したポータブルオーディオやAUX接続コードを、インストパネルの上などに設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどのおそれがあります。



●ポータブルオーディオやAUX接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。
運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

1 ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

●ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
●オーディオのモードがAUX以外になっている、または本機の電源がOFFになっていることを確認してください。



（1） AUX接続コードを接続します（取りはずします）。

お知らせ

●抵抗付きコードは使用できません。
●モニター開閉時、コードを挟み込まないように注意してください。
●今後発売される機器に関しては、動作の保証はいたしません。

お願い

●ディスプレイが開いている、または傾いた状態（P.1-22参照）では、AUX接続コードの抜き挿しはしないでください。
●AUX接続コードに手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
●運転中はポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。

2 ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

（1） 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

（2） ♪ を押します。

●オーディオ操作画面が表示されます。

（3） AUX にタッチします。

●AUX画面が表示されます。
●オーディオシンプルメニューに AUX を設定していない場合は、その他 にタッチしてから AUX にタッチします（P.7-3の 1 参照）。
●ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。
●再生中に ♪ を押すとAUX操作画面が表示されます。

3 ポータブルオーディオを終了する

（1） ⏻ を押すか、他のオーディオモードに切り替えます。

●もう一度 ⏻ を押すか、 AUX にタッチすると再生が再開されます。

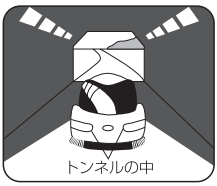
お知らせ

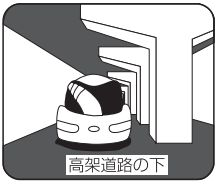
●AUXモード中にAUX接続コードを抜き差しすると、雑音が発生しスピーカー破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
●AUXモード中にポータブルオーディオの電源を切り替えると、雑音が発生しスピーカ破損の原因になる場合があります。必ず本機の電源をOFFにするか、他のモードに切り替えてから行ってください。
●接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
●接続した機器の入力音量が大きい場合は、音が歪む場合があります。この場合は、接続した機器側で音量を調整してください。
●AUXモード中に音量を調整すると、AUXモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
●本機の電源がONの状態の時にAUX接続端子からコードを抜く、または本機の電源がOFFの状態の時にAUX接続端子からコードを抜いてそのまま本機の電源をONした場合、音量は初期設定値に戻ります。
●本機に接続したポータブルオーディオの音量を変更したときは、本機との接続を解除したあと、音量をもとに戻してください。
●ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリーなどを使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

自車位置精度について

GPSを受信できない場所

GPS衛星からの電波は直進性が強いため、次のような場所では受信できないことがあります。

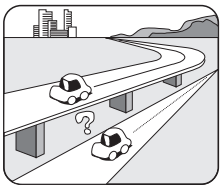




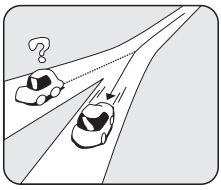
●GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがズレることがあります。

本システムは、以下のような走行環境やGPS衛星の状態により自車マークが正しい位置を表示しないときがありますが、故障ではありません。また新設道路など地図データが実際の道路形状と異なっている道路を走行後、地図データ上の道路に戻ると自車マークがズレることがあります。

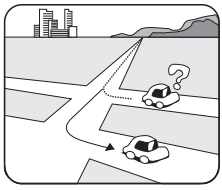
そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して現在位置を自動的に補正します。



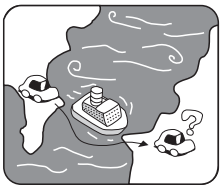
高速道路を走行しているのに、その側道に自車マークがのる場合があります。
また、その逆の場合もあります。



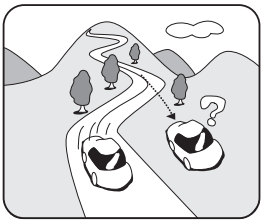
角度の小さなＹ字路を走行しているとき他方の道に自車マークがのる場合があります。



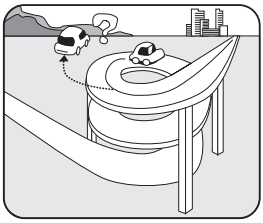
碁盤目状の道路を走行しているとき、隣の道路に自車マークがのる場合があります。



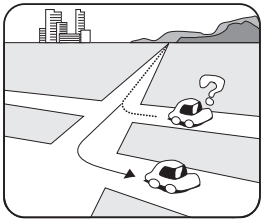
フェリー、車両運搬車などで移動したあと、GPSの受信ができない時、自車マークが移動前の位置になっている場合があります。



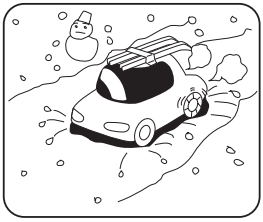
勾配の急な山岳などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



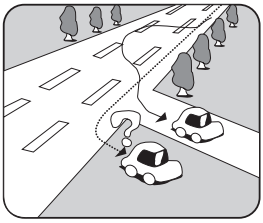
ら旋状の道路などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



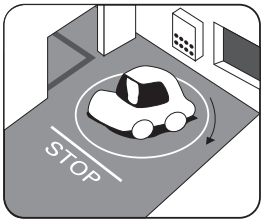
直線路を長い間走行したあとに、右左折した時、手前または先の道路に自車マークがのる場合があります。



雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行している時、自車マークがズレることがあります。
また、タイヤチェーンなどを装着して走行しているときも、自車マークがズレることがあります。



道幅の広い道路で蛇行運転すると、距離が合わなくなり、自車マークがズレることがあります。



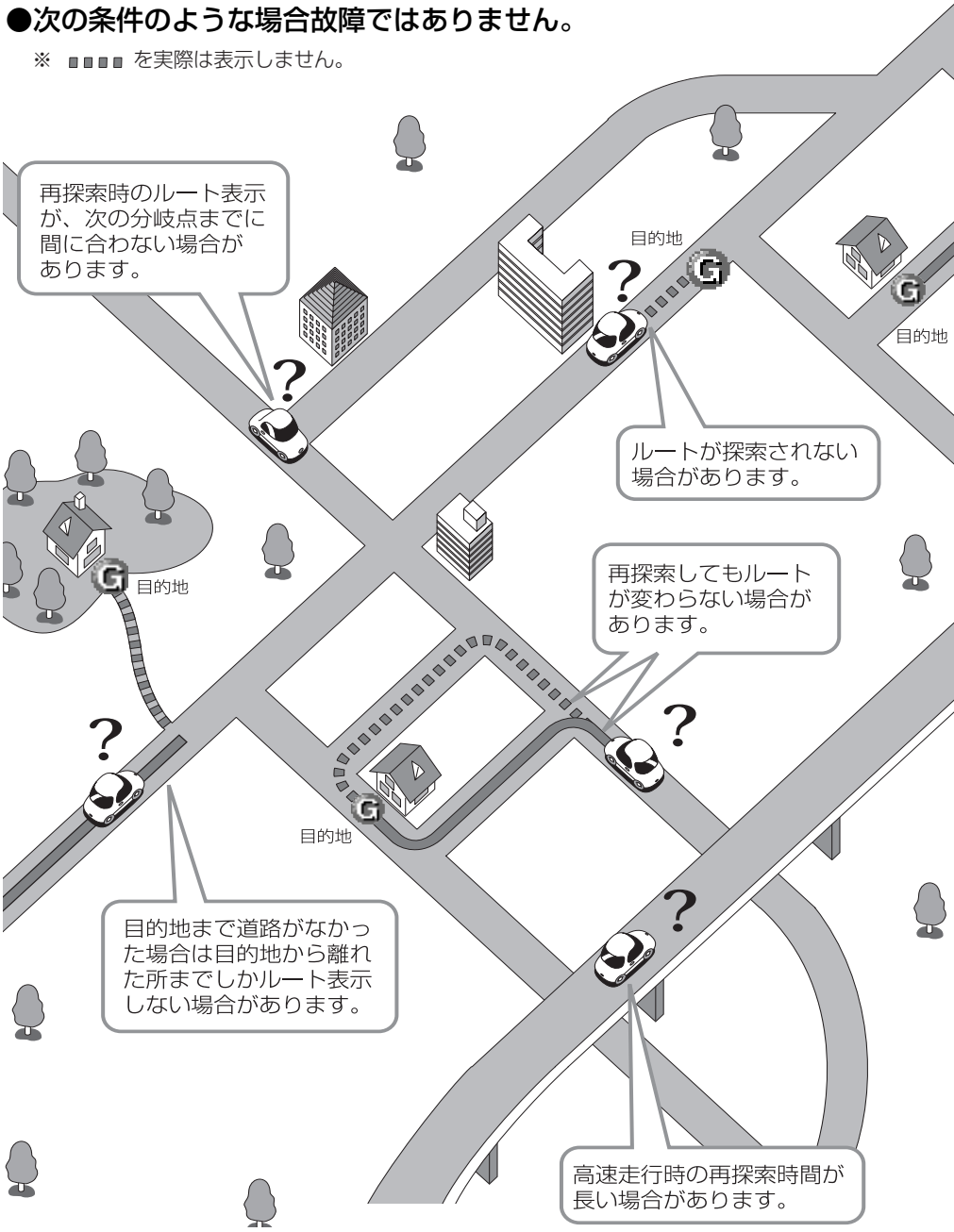
地下駐車場や立体駐車場で、ら旋状の道路を走行したあとや回転したあと一般道にでると、自車マークがズレる場合があります。
イグニッションキーのACC OFFの状態で、ターンテーブルなどでの旋回をおこなうと自車マークの向きが異なることがあります。

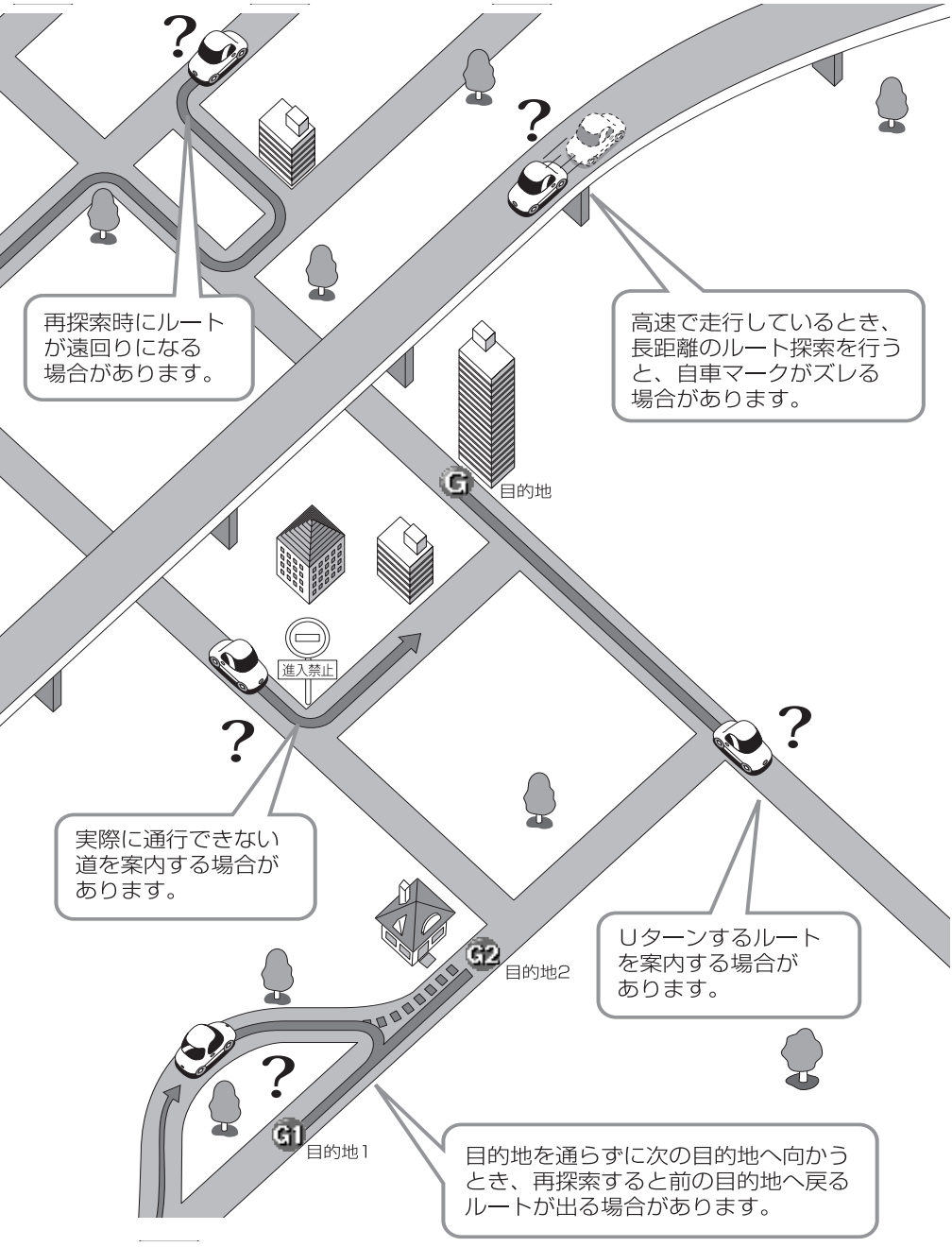
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤ使用時に自車マークがズレることがあります。
- 実際の向きと自車マークの向きが異なった場合はGPS衛星による位置修正が行なわれると自動的に方位修正されます。
- 車庫入れ時の後退や、切り返しにより自車マークがズレることがあります。
- 坂道では、自車マークがズレることがあります。

ルート探索について

●次の条件のような場合故障ではありません。

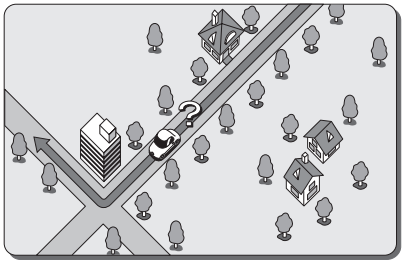
※ ■■■■ を実際は表示しません。



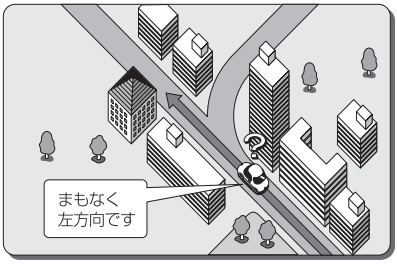

再探索時にルートが遠回りになる場合があります。
高速で走行しているとき、長距離のルート探索を行うと、自車マークがズレる場合があります。
G
目的地
進入禁止
実際に通行できない道を案内する場合があります。
Uターンするルートを案内する場合があります。
G2
目的地2
G1
目的地1
目的地を通らずに次の目的地へ向かうとき、再探索すると前の目的地へ戻るルートが出る場合があります。

ルート案内について

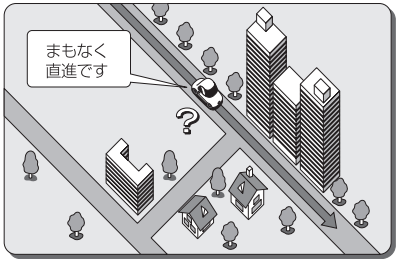
●次のような場合故障ではありません。



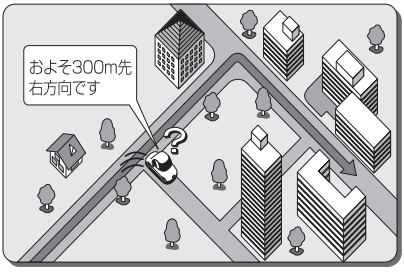
交差点で曲がるときに案内がされない場合があります。



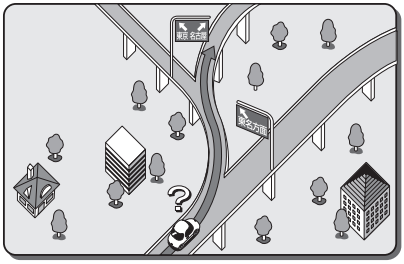
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。



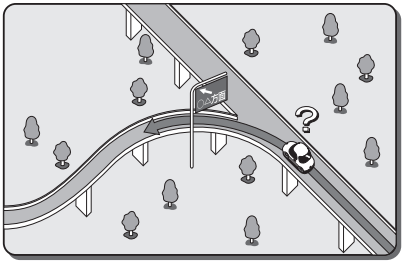
直線道路走行中に、直進案内がされる場合があります。



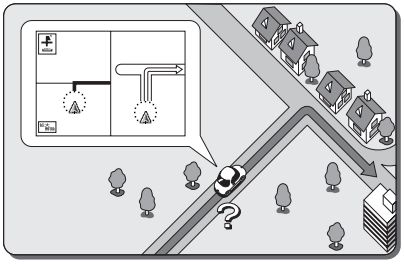
案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内がされる場合があります。



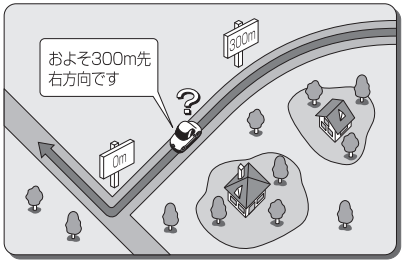
方面案内でいくつもの方面名を表示することがあります。



方面案内が表示されない高速道路・有料道路があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。



案内距離が多少ズレることがあります。

情報の保持について

お車の点検やバッテリーの交換などによりバッテリーとの接続が断たれた場合、本機に保存されている情報（設定）が一部消去（初期化）されますので、予めご了承ください。

情報が消去される項目
本機（SDナビゲーション）のプログラム
目的地履歴（ナビゲーション）
目的地・通過道路・乗降IC指定・案内ルート（ナビゲーション）
音の調整（サウンド設定）
プリセット情報（ラジオ）
（最後に選択していた）オーディオモード
音量（ボリューム）
iPod設定（ダイレクトモード設定、タブ設定）
操作音の設定

こんなメッセージが表示されたとき

ナビゲーション部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
SDカードが入っていません SDカードを入れて下さい	地図SDメモリーカードの差し込み口に地図SDメモリーカードが入っていない場合	地図SDメモリーカードを入れてください。
地図データが読めません SDカードが正しいかご確認下さい	地図SDメモリーカードの差し込み口に地図SDメモリーカード以外のSDメモリーカードが入っている場合、または地図SDメモリーカードの内部データが壊れている場合	専用の地図SDメモリーカードに入れかえてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
パスワードが違います	地図SDメモリーカードのパスワード入力がエラーになる場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
車速信号が検出できません 販売店にご相談下さい	ケーブルの脱落などにより車速信号が検出できない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
周辺に該当する施設がありません	選択されているエリア周辺に該当の施設が見つからない場合	エリアを変更するか、他の施設で検索してください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺に該当の施設が見つからない場合	ルートを変更するか、他の施設で検索してください。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号入力で入力したデータが地図データに収録されておらず、地図表示できない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号入力で入力したデータが地図データに収録されておらず、地図表示できない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコード入力で入力したデータが地図データに収録されておらず、地図表示できない場合	入力したマップコードに間違いがないか、ご確認ください。再入力・検索しても地図が表示されない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
履歴が登録されていません	過去に目的地を設定しておらず、履歴が登録されていない場合	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。履歴が登録されていない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
ルートが探索できませんでした	案内できるルートがない場合	他に目的地を設定するか、あるいは地図を参考に走行してください。
新しいルートが探索できませんでした 前回のルートでご案内します	案内中のルート以外に適切なルートが見つからなかった場合	表示しているルートで走行していただくか、地図を参考にして走行してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	すでに目的地が5ヵ所設定されているときに、さらに設定しようとした場合	不要な目的地を消去してから設定してください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が1ヵ所も登録されていないときに、メモリ地点から地図を表示しようとした場合	メモリ地点の登録を1ヵ所以上行ってからお使いください。

テレビ・オーディオ部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ディスクが入っていません	ディスクの差し込み口に音楽CD、MP3/WMAディスクが入っていない場合	音楽CD、MP3/WMAディスクを入れてください。
ディスクをお確かめ下さい	音楽CD、MP3/WMAディスクが裏返しになっている場合	ディスクを正しく入れ直してください。
	ディスクが汚れているまたは傷がある場合	汚れているときはクリーニングしてください。傷があるときは傷のないものにしてください。
接続状態をお確かめ下さい	AUX接続コードがしっかり接続されていない場合	AUX接続コードをしっかり接続してください。
異常検知により再生を停止します	対応していないフォーマットのMP3/WMA ファイルまたはデータ破損等で再生が不可能なMP3/WMAファイルを使用している場合	再生可能なフォーマット（P.7-58参照）のMP3/WMAファイルを使用してください。
異常検知でDISC停止中です	何らかの原因でCDプレーヤーが動作しない場合	CDプレーヤーからディスクを取り出してください。
高温のためDISC停止中です	CDプレーヤーが高温になり再生が不可能な場合	温度が下がるまでしばらくそのままお待ちください。
放送を受信できません	デジタル放送の受信レベルが低い、電波を受信できない、放送休止など	デジタル放送の電波を正常に受信できる場所に移動してください。
	異なる放送局のサービスエリアに移動した場合もしくは、放送局の送信周波数に変更があった場合	チャンネル設定（スキャン）してください。
視聴できません	B-CASカードが挿入されていない、B-CASカード以外が挿入されているとき	B-CASカードを正しく挿入して下さい。
	B-CASカードの異常	B-CASカードの動作確認を行って下さい。
iPodとの通信に失敗しました	本機とiPodとの通信が正常に行われなかった場合	いったん接続を解除し、再度本機に接続してください。

VICS/FM多重部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ＶＩＣＳの文字（図形）情報を受信中です しばらくお待ち下さい	文字情報、図形情報のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
最新のＶＩＣＳ割込情報は ありません	割り込み情報を再表示しようとしたときに受信した割り込み情報がない場合	割り込み情報受信後、30分以内にご利用ください。
VICSの文字(図形)情報を受信して いません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局してないか、または情報を受信していない場合	選局しなおしてVICSの情報を受信してください（P.4-48～4-49参照）。
受信中です しばらくお待ち下さい	FM多重放送のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
FM多重放送を受信できません	選局したが、FM多重放送番組を一つも受信できなかった場合	受信感度の良い所に車を移動してからご利用ください。
この情報は停車中にご覧になれます	連動情報番組表示中に車が走行した場合	車を安全な所に停車させてからご利用ください。

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
万一異常（ヒューズ溶断など）が起こりましたら、必ずお買い上げの販売店に修理依頼をしてください。ご自身でヒューズの取り換えや修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

症 状	確 認 項 目
画面が次の何れかの状態になっている場合 **●真っ暗で全く光らない** **●光っているが、画面が表示されない** **●画像が乱れる** **●画像の色がおかしい** **●ライトを点灯しても夜画面にならない**	画面消に設定されていませんか？ ⇒[▲]、[▶]などを押してください。 画質の設定は適切ですか？ ⇒[⏻]を“ピッ”という音が鳴るまで押して、設定を確認してください（P.1-26参照）。 解消されないときは、エンジンスイッチを 0（OFF）→ I（ACC）または II（ON）にしてください。 それでも解消されないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
テレビの画面が表示されない場合	車の電源のスイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチを I（ACC）または II（ON）にしてください。 ヒューズは切れていませんか？ ⇒ヒューズの位置は、販売店にお問い合わせください。 車は完全に停止していますか？ ⇒車を完全に停止させてください。
ナビゲーションの画面が表示されない場合	専用の地図SDメモリーカードが正しく入っていますか？ ⇒地図SDメモリーカードを確認してください。
自車を移動させても地図がスクロールしない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒本書の「基本編」を参照して、現在地表示にすると地図がスクロールします。
自車マークが表示されない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒本書の「基本編」を参照して、現在地表示にすると自車マークが表示されます。
目的地が接近しても音声案内がない場合	案内中になっていますか？ ⇒本書の「応用編」を参照して、案内中にしてください。 音量が消音になっていませんか？ ⇒応用編を参照して、聞きやすい音量に設定してください。
地図をタッチしてそのまま押し続けても、連続して地図がスクロールしない場合	走行中に地図をタッチしていませんか？ ⇒走行中は安全のため、連続操作はできません。停車してお使いください。

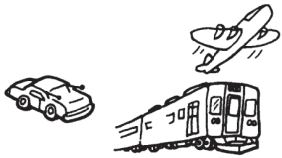
症状	確認項目
地図をタッチしても、地図がスクロールしない場合	地図をタッチした時に、地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。故障ではありませんので、地図をタッチしたまま、しばらくお待ちください。
地図をタッチして、地図スクロール中に途中で地図が止まる場合	スクロール中に地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	故障でありませんので安心してご使用ください。 ⇒液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。
エンジンスイッチをONにした後しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンスイッチをONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。
画面がみにくい場合	画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか？ ⇒P.1-26 を参照して明るさ、コントラストを調整してください。 ディスプレイの角度調整は適正ですか? ⇒P.1-22 を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。
ディスクを入れることができない場合	車の電源スイッチは入っていますか？ ⇒車のキーを「I（ACC）」または「II（ON）」の位置にしてください。
音飛びをしてしまう場合	結露していませんか？ ⇒車室内を換気してからご使用ください。 ディスクがひどく汚れていませんか？ ⇒ディスクをクリーニングして入れてください。
ディスクを取り出せない場合	⏏を10秒間押してください。それでもディスクが取り出せない場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか？ ⇒左右音量調節をして確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない場合	ポータブルオーディオの電源は入っていますか？ ⇒ポータブルオーディオの電源を入れてください。 ポータブルオーディオは再生されていますか？ ⇒ポータブルオーディオを再生してください。 抵抗付きミニプラグコードを使用していませんか？ ⇒別売のAUX接続コードを使用してください。 ポータブルオーディオのボリュームは0になっていませんか？ ⇒ポータブルオーディオのボリュームを確認してください。

症状	確認項目
SDメモリーカードがSDスロットから取り出せない場合	SDメモリーカードを押さずに取り出そうとしていませんか? ⇒SDメモリーカードを押して取り出してください。
SDメモリーカードがSDスロットに差し込めない場合	SDメモリーカードの差し込み方向は正しいですか? ⇒SDメモリーカードの差し込み方向を確認して正しい方向で差し込んでください。 SDスロット内に異物が混入していませんか? ⇒SDスロット内に異物が混入していないか確認してください。
地図画面、オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電気的ノイズを発生させる電装品を本機の傍で使用していませんか? 高電圧を発生させて作動するもの (例)マイナスイオン発生器 電磁波を発生するもの (例)携帯電話、無線機 ⇒本機から出来るだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

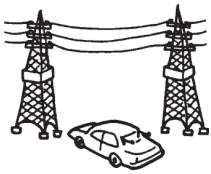
地上デジタル放送の電波について
つぎのような場所では、映像が静止したり音声が途切れる場合があります。

ビルとビルの間

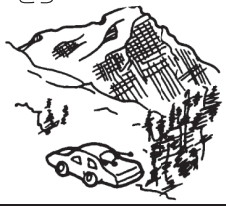
上空を飛行機が通過
電車が近くを通過



送電線の付近



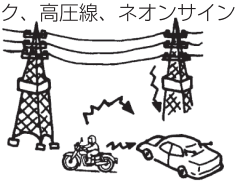
山かげ、放送局から遠いところ

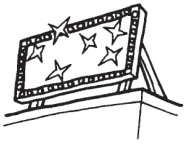


山や木立のかげ

トンネル内

自動車、バイク、高圧線、ネオンサインなどの近く





ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近く

車内の無線機を使用している場合

商標について

●車載器に含まれるMicrosoft Windows Automotive Operating Systemの著作権は米国Microsoft Corporationに帰属します。MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
●SDHCロゴは商標です。

保証とアフターサービス

■保証について

●保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

●調子が悪いとき ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ まず、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

●それでも調子が悪いとき ‥‥‥‥ 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社に修理を依頼してください。

●保証期間中の修理 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理 ‥‥‥‥‥‥‥‥ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

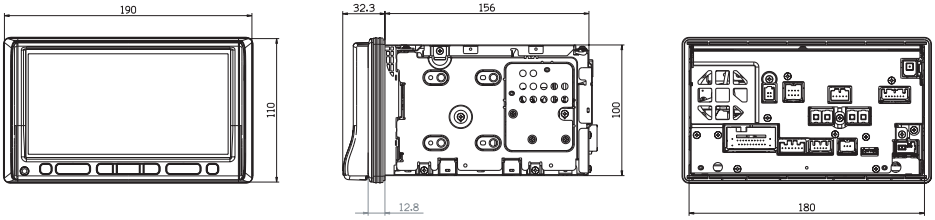
●補修用性能部品 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 製造打ち切り後、最低6年間保有しています

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めの販売店へご相談ください

仕様

デュアルサイズメモリーナビコンポ
寸法　　：190 mm×110 mm×168.8 mm（幅×高さ×奥行き）
質量　　：2600 g
供給電源電圧　：DC 12 V（試験電圧 14.4 V）
消費電流　　：4 A以下（電源電圧 13.2 V、FMモード 0.5 W出力時）

（本体部）



製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

＜共通部＞
電源電圧：DC 12 V（試験電圧 14.4 V）⊖アース
消費電流：4 A以下（0.5 W×4 ch 出力時）
最大出力：35 W×4 ch
定格出力：18 W×4 ch（10 % T.H.D.）
適合スピーカー
インピーダンス：4 Ω

＜FMチューナー部＞
受信周波数範囲：76.0 MHz～90.0 MHz
実用感度：18 dB（μV）以下
信号対雑音比：46 dB以上（30 kHz L.P.F.使用）

＜AMチューナー部＞
受信周波数範囲：522 kHz ～1629 kHz
実用感度：34 dB（μV）以下
信号対雑音比：42 dB以上（30 kHz L.P.F.使用）

＜CDプレーヤー部＞
信号対雑音比：65 dB以上（IHF-A使用）
全高調波歪率：0.3 %以下
周波数特性：20 Hz～20 kHz（±3 dB以内）

＜表示部＞
液晶パネル：7 V型低反射タッチパネル
画面寸法：156.6 mm×180 mm×82.4 mm
（幅×対角×高さ）
ドット数：33万6960ドット
（縦234×横480×3）
有効画素数：99.99 %
表示方式：透過型カラーフィルタ方式
駆動方式：TFT（薄膜トランジスター）
アクティブマトリクス方式

タッチパネル：抵抗膜式タッチパネル

＜TVチューナー部＞
受信チャンネル：UHF13～62チャンネル　地上デジタル（ワンセグ/フルセグ放送）
入力インピーダンス：50 Ω
アンテナ：4ch

用語さくいん

【あ行】
案内再開 …… 3-24
案内中止 …… 3-24
一般優先 …… 2-33
居眠り防止案内 …… 4-15
迂回メモリ …… 4-33
オーディオ操作画面…… 7-5
音量設定 …… 3-25
オンルートスクロール …… 3-20

【か行】
カーブ警告 …… 4-13
拡大表示 ……2-22
画面の設定 …… 1-29
画面の調整 ……1-25
カレンダー …… 5-17
簡単初期設定ガイド ……2-1
季節規制メッセージ …… 4-15
季節規制回避 …… 2-29
距離補正 …… 4-53
距離優先 …… 2-33
緊急警報放送（EWS）…… 7-35
県境案内 …… 4-13
現在地画面 …… 2-12
交差点拡大図 …… 2-36、4-4
高速時の自動音量切替 …… 3-25
高速分岐模式図 …… 2-38、4-5
高速略図 …… 2-24、2-39
交通事故多発地点マーク …… 4-11
交通情報 …… 7-47
コーナーカメラ…… 6-9
合流警告 …… 4-13

【さ行】
再探索 …… 3-1、3-8、3-15
市街図 …… 2-23
シーズンレジャーランドマーク…… 4-9
自車マーク …… 2-12
施設ランドマーク …… 3-45
自宅に帰る ……2-31
自宅の登録 …… 4-30
自動再探索 …… 4-15
自動補正 …… 4-53
使用データ …… 4-55
車両情報設定 …… 4-16
周辺迂回 …… 3-15
周辺施設 ……3-40、4-3
乗降ＩＣ …… 2-32、3-13
ショートカット設定 …… 4-19
推奨 …… 2-33
スケール表示 …… 2-12
全ルート …… 2-32、2-35
走行軌跡 …… 3-23
操作音 …… 1-30

【た行】
タッチスイッチ …… 1-15、2-12
他モード時の案内 …… 4-14
地図スクロール時の地名表示 … 2-13、4-10
通過道路…… 3-8
提携駐車場 …… 3-27
デモ …… 3-19
テレビ…… 7-7
電話帳 …… 5-16
到着予想時刻 …… 2-32、2-34、4-4
特別メモリ地点 …… 4-30
時計表示 …… 1-31、2-12
都市高マップ …… 2-40

【な行】
ナビ設定 ……4-1
ナビ補正 …… 4-17
ナビメニュー ……2-7
ナビメニューカスタマイズ ……4-18
ノースアップ …… 2-17

【は行】
ハートフル音声 …… 4-14
販売店 …… 5-13

番組表 …… 7-27
昼画表示 …… 1-25
ヒント …… 2-11
踏切警告 …… 4-13
フロントカメラ…… 6-4
フロントワイド …… 4-5、4-6
別ルート …… 2-33
ヘディングアップ …… 2-17
方位マーク …… 2-12、2-17
方面名称 …… 2-38
【ま行】
マップコード …… 3-39
右画面 …… 2-21
メモリ地点 …… 3-37、4-20
メンテナンス…… 5-6
目的地 …… 2-28、3-1
目的地消去…… 3-6
目的地直線表示 …… 4-10
目的地履歴 …… 4-17
【や行】
有料優先 …… 2-33
よく行く場所 …… 2-31
夜画表示 …… 1-25
【ら行】
ラジオ …… 7-44
リアカメラ …… 6-16
リアルワイドマップ表示…… 4-7
履歴 …… 3-38
立体交差点拡大図 …… 2-37
立体ランドマーク表示…… 4-9
料金案内 …… 4-11
ルート案内 …… 2-26、3-24、8-5
ルート情報画面 …… 3-18
ルート探索 …… 2-28、8-3
レーンリスト …… 2-37、4-3
【わ】
割込情報 …… 4-47、4-48
【アルファベット/数字】
AM …… 7-44
AUTO.P …… 7-45
AUX ……7-72
CDプレーヤー …… 7-48
ETC …… 6-1
FM …… 7-44
FM図形 …… 4-47
FM多重 …… 5-2
FM文字 …… 4-46
GPSマーク…… 2-12
iPod…… 7-62
MP3/WMAプレーヤー……7-51
QQコール …… 4-56
SDメモリーカード…… 1-20、4-54
SOUND…… 7-2
TILT…… 1-22
VICS …… 4-39
VICSタイムスタンプ …… 4-42
VTR ……7-43
2画面 …… 2-20
2Dツイン …… 2-20
3D交差点拡大図 …… 4-5
3D高速分岐案内 …… 2-38
3Dツイン …… 2-18、2-20
5ルート …… 2-32

凡例

表示①	表示②	内　容
（紫色）	（紫色）	高速・都市高・有料道路
（赤色）	（赤色）	国道
（緑色）	（緑色）	主要地方道
（橙色）	（橙色）	一般都道府県道
（灰色）	（灰色）	その他の道路（巾5.5 m以上）
（灰色）	（灰色）	その他の道路（巾3.0 m以上）
		JR
		鉄道
（水色）	（水色）	水域
		都道府県界・市区町村界
（緑色）	（緑色）	緑地
（灰色）	（灰色）	駅舎・敷地
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23区区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
IC（紫色）	IC	スマートインターチェンジ
IC（緑色）	IC	インターチェンジ
SA	SA	サービスエリア
PA	PA	パーキングエリア
		信号機
P	P	駐車場
		駅
		フェリーターミナル
		港湾
		空港・飛行場
文		学校
		道の駅
幼	幼	幼稚園

表示①	表示②	内　容
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
H	H	ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
卍	卍	寺院
		教会
		霊園・墓地
		城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設
H	H	HONDA Cars店
（橙色）	（橙色）	ボトルネック踏切
（黄色）	（黄色）	踏切
		交通事故多発地点

●表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して１つのマークで表示することがあります。
●表示①はリアルワイドマップ表示（P.4-7参照）で表示され、表示②は通常地図で表示されるマークです。

メモ

メモ

パスワードラベル貼り付け欄

この欄にパスワードラベルを貼付のうえ、大切に保管してください。

■商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店または
（株）ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル

0120-663521

（受付時間 9時～12時,13時～17時／但し、土日・祝祭日は除く）

発売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589　埼玉県新座市野火止8-18-4

製造元　パナソニック株式会社　〒224-8520　神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

PART NO.08A40-5M0-4000-8A
YEFM286170　O0507-0